

関係住民の意見

令和4年4月22日
国土交通省 四国地方整備局
愛媛県

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
1	整備全般	河川整備計画 の推進	1	内子町	平成30年7月の様な災害がいつ起こるか分からない現状がとても不安です。肱川緊急治水対策の堤防整備、河道掘削、山鳥坂ダム建設、野村ダム改良等全ての事を早急に1日も早く完成していただきたい。
			2	大洲市	ダムも含めてあらゆる手段を使って、少しでも氾濫時の水位が下がるように、早急に対応をお願いしたい。
			3	大洲市	平成30年7月のような被害を防止するた為、河道掘削、山鳥坂ダム建設等の肱川治水対策について、早く完成させて欲しい。
			4	大洲市	30. 7 の水害では肱川流域で8名もの人命が奪われた。環境や利水も重要だが住民の生命・財産を守るため治水を最優先に考える必要があり堤防整備や河道掘削、山鳥坂ダム建設、野村ダムの改良など、あらゆる手段を用いて早急に安全・安心を確保してほしい。
			5	大洲市	平成30年7月の水害では肱川流域で多くの人命が奪われた。環境や利水も重要だが住民の生命・財産を守るため治水を最優先に考える必要がある。堤防整備や河道掘削、山鳥坂ダム建設、野村ダムの改良など、あらゆる手段を用いて早急に安全・安心を確保してほしい。
			6	その他	八幡浜市で事業を営んでおります。南予地区の人口減少傾向が顕著である中、洪水等の災害が起こるとさらなる人口流出につながる恐れがある。そのようなことは地域経済に大きなダメージになる上、人材の確保にも支障をきたす。早急にダム建設、河川整備等をすすめていただき、地域の安全安心の確保を推進していただきたい。
			7	大洲市	変更に関しては、残念だが致し方ないと思う。一番悪いのは、停滞してしまうこと。速やかに、粛々と安心安全に向け進んでほしい。確実に更なる災害はやってくる。それに対して後悔しないよう、ベストではないかもしれないが、今現在の中でベターな方向にもっていくのは当たり前のこと。一つの手段にこだわることなく、複合的に、コストパフォーマンスも考えながら自信をもって進めていただきたい。 また、様々な制約があるこの時代にもかかわらず、我々市民のために頑張っていただいているすべての方々に感謝したい。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
1	整備全般	河川整備計画 の推進	8	喜多郡	今回の河川整備計画にある野村ダムの改造、山鳥坂ダム建設及び堤防・河道整備を早急に完成して頂きたい。また、環境の変化や計画と現実との違いが発生した場合は、躊躇する事無く整備計画の変更を行い最善のものとする事により、特に大洲地区を浸水の無い街にして経済活動の発展を促し、大洲喜多地区の過疎をくい止めて下さい。
			9	内子町	平成30年7月に発災した豪雨に関連した被害を二度と起こさないために、山鳥坂ダム建設、野村ダム改良等を早急に実施して1日でも早く安心して暮らせる安全な肱川流域を整えてほしい。今後は気候変動の影響で過去にない災害発生の可能性は極めて高いと考えます。ハード対策として、前向きな計画策定(もちろん環境に配慮したもの)は必要です。
			10	大洲市	平成30年7月豪雨時のような災害が再度起きることのないよう、早急に河川整備計画を実施してほしい。
			11	大洲市	平成30年7月豪雨の再度災害防止の観点から変更原案がまとめられており、将来の豪雨被害への不安が充分に取り除かれている。今後も状況の変化に対応した整備計画の変更を行ってほしい。
			12	大洲市	市民の安全・安心を最優先に適宜見直しながら実施してほしい。
			13	大洲市	複数項目において掲げられた、流域治水への転換、推進、取組。この流域治水といった文言の追記により、従来の河川整備計画がより厚みを増したようです。 従来の〇〇年規模の洪水を防ぐという表記でなく、ストレートに災害の防止・軽減といった文言から本気度が伝わります。 また、河川利用の整備に、稚魚の生育の場の保全を図るといった表記があり、この表現修正に、大規模計画のなかにおける細やかな配慮を感じました。
			14	大洲市	市民が安心して暮らせるように、肱川の治水安全度が向上できる「堤防整備・補強対策」「山鳥坂ダム建設」「野村ダム改良」などの河川整備計画の早期完成を目指して進めて欲しい。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
1	整備全般	河川整備計画 の推進	15	内子町	癒しの場所としての肱川流域が、平成30年7月荒れ狂う様子、その後の甚大な被害を体験して、治水の必要性は強く感じます！私の店舗も水没しました。 ぜひ、肱川流域の住民の為、安全に生活ができるよう、整備していただきたいと思います。 今回の変更がより良くなる為でしたら賛成致します。
			16	-	肱川の直轄管理区間や菅田地区の築堤工事等が順調に進んでいる様子を拝見し工事に関係される方々のひとかたならぬご努力を感じます。肱川治水の要である鹿野川ダムと野村ダムの改造、山鳥坂ダム新設の効果を最大限に発揮するためには、下流河道の整備が最も重要かと思えます。一層の事業の進捗をお願いします。
			17	その他 愛媛県 内	二度と平成30年7月豪雨に伴う水害を繰り返さないためにも、肱川改修事業を促進し、山鳥坂ダム建設、野村ダム改良事業を一刻も早く完成させて下さい。
			18	-	肱川流域の生活者財産を守って行くため、安全な河川整備(築堤、河床掘削、ダム建設及びダム改造)を早く完成してほしい。 平成30年7月西日本豪雨に耐えられる様な、肱川にしてほしい。 肱川水系河川整備計画(変更原案)の早期策定を願う。
			19	大洲市	今後は肱川流域の整備を推進し、必要な情報を速やかに発信して欲しい。
			20	大洲市	<ul style="list-style-type: none"> ・甚大な被害を受けた肱川流域の住民の安全と安心を守るため肱川緊急治水対策を進めいただきありがとうございます。 ・山鳥坂ダムや野村ダムの改良も洪水被害の軽減に繋がると思いますが、通年の河道掘削等による治水対策も願う。 ・激特事業(ホームページ)の進捗は、11.6%で各地区の状況が写真で確認できております。今後も住民への配慮した工事で、早期完成を願う。
21	大洲市	肱川河川整備計画(変更原案)の早期策定と早期実施を願っております。			

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
1	整備全般	河川整備計画の推進	22	大洲市	肱川流域の住民の生命と財産を守るため、堤防整備、河道掘削、山鳥坂ダム、野村ダムの改良を早期に実施し完成してほしい。 「肱川河川整備計画(変更原案)の早期策定と早期実施を願う」
			23	内子町	平成30年の西日本豪雨において、大洲市が水害となり、私の勤務先が約1.6メートル浸水しました。それから毎日毎日真夏の暑い日に会社の復旧作業に追われ、心身ともに疲れ果て、このような苦労は二度と味わいたくないとの思いを強くしました。 一日も早い山鳥坂ダムと河川堤防の整備を願っています。
			24	その他愛媛県内	商業施設が集積する東大洲地区が再び水害に遭うと、今度こそこの地区からの店舗が撤退し二度と戻って来なくなる恐れがある。一刻も早いダムと河川整備を完成させるべきだ。
			25	西予市	肱川の治水安全向上の為、堤防整備等に加えて山鳥坂ダムの建設は、必要不可欠であり、野村ダムの改良も必要である。
			26	大洲市	堤防整備、河道掘削、内水対策、ダム。すべての整備を早急をお願いしたい。
			27	大洲市	一日も早く、山鳥坂ダムの完成と河川の整備を進めて頂きたいです。
			28	大洲市	自然環境へ配慮した治水計画に基づいた建設ならばよいのではないのでしょうか。あの災害には河道もダムも限界突破していたことは明らか。安心した生活の場構築にもダムをはじめ護岸工事を早期に実現してほしい。自分の身すら守れない自然災害は脅威でしかない。
			29	大洲市	肱川の治水安全度向上のため、堤防整備等に加えて山鳥坂ダムの建設も必要。
			30	大洲市	平成30年、豪雨災害で床上浸水にあった当事者として、もう二度とあの様な経験をしたくないので早急に肱川緊急治水対策の整備に着手し完了して欲しい。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
1	整備全般	河川整備計画 の推進	31	大洲市	松山から転職して大洲に引っ越し、そこで結婚し子供も産まれました。 引っ越し時は水害の直後で浸水の被害が無いところをと家を探しました。しかし浸水してない所は数軒しかなく水害の範囲の広さに驚きました。 これから子どもも大きくなり、大洲で根を下ろすことを考え家を建てたいとも思っていますが、また水害があるんじゃないかと思うと憚られます。肱川沿岸でこれからも安心して暮らせるように早期対策の実施を望みます。
			32	内子町	河川整備計画にある野村ダムの改造(利水者との協定による治水容量の確保)、山鳥坂ダム建設は、鹿野川ダムの改造完成と相まって肱川に流入する水量の抑制に有効だと思います。 整備計画にあるダム工事、堤防の整備、河道整備、内水対策出来るところから工事を進めて早期の完成と継続した治水をお願いします。
			33	内子町	今回の河川整備計画にある野村ダム改造、山鳥坂ダム建設、堤防整備および河道掘削を早急に完成して下さい。
			34	大洲市	早く堤防整備、山鳥坂ダム建設及び野村ダム改良を早く実施してほしい。
			35	大洲市	国と県でされているこの計画は良いと思います。
			36	大洲市	肱川沿いで暮らしている人々は、何度も水害にあい、農作物や家が被害を受けています。また平成30年の西日本豪雨では、何人もの尊い命が失われました。その後の急ピッチで堤防が整備され、何とか形になってきていますが、まだまだ安心出来ることころまでは、きていません 早期に堤防ダムを整備して安心して暮らせる地域にして欲しいと思います。
			37	大洲市	堤防整備の早期完成とダムと一体となった被害軽減策を願う
			38	大洲市	肱川の治水安全度向上と住民の負担軽減のためにも、変更される肱川水系河川整備計画に基づき、堤防整備や河道掘削、山鳥坂ダム建設など早期に完成させてほしい。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
1	整備全般	河川整備計画の推進	39	大洲市	堤防整備、強化は大切に思う。早期完成も望まれるがその事業に取り組む人員は莫大なものである。単に堤防が立ち上がるものではなく、それに付随する道であり、施設であるインフラが全て変化していく。それに携わる者は、疲弊しているのではないだろうか？私もその一員として、不安を感じている。整備、強化は、多いに賛成するが、その代償にも、気遣いして頂きたい。
			40	大洲市	平成30年7月豪雨災害のような被害を二度と起こさないために、未来の子供たちが安心して暮らせるよう整備計画の早期実現を願います。
			41	大洲市	肱川の洪水に対して氾濫被害を軽減できる措置として、河川整備計画の変更を行うものと理解します。今までの災害(H30)規模での被害が軽減できるのであれば、中下流域に住む大洲市民として安全・安心の生活ができるものと考えます。 この変更計画を実施することにも大きな気苦労があろうかとは想像しますが、どんどん治水対策を推進していただければと思います。
			42	大洲市	堤防整備、河道掘削等を早急を実施して、住民の安全、安心を確保して欲しい。
			43	大洲市	河川整備計画により、堤防整備、ダム建設等が一体的に整備される事により、肱川の河川氾濫被害が減少する事が見込まれるため、計画を肅々と推進、実施していくことが望ましい。
			44	大洲市	水害のない地域にしてほしい
			45	大洲市	堤防整備及び河床整備は有効な治水の手段だとは思いますが、モグラ叩きの如く、「あちらが良くなれば、こちらが悪くなる」といった事になるのではないのでしょうか？最も有効な治水対策は、ダムに委ねた制御を基本として、それに加えて堤防整備及び河床整備があるのではないかと思います。流域住民が一日も早く、安心して日々の生活が営まれるよう、早々に山鳥坂ダム本体工事に着手される事はもとより、肱川緊急治水対策に掲げられた整備計画を着実に一日でも早く完成させて頂きたい。
			46	大洲市	1日でも早く安心して暮らせるようにして欲しい。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
1	整備全般	河川整備計画 の推進	47	大洲市	今現在、上流、中流、下流において抱えている問題はそれぞれだと思えます。そのためすべての地域に向けた最適解は難しく、それぞれに見合った対策が必要な段階にあると思えます。再度、優先順位を決め、計画に反映していただければと思えます。ダム建設、堤防整備、どれも有益な方策だと思えます。
			48	伊予市	肱川の整備につきましては、現在、激特事業として、各地で工事が行われ、堤防の形が見えるようになり、間もなく沿川住民が安全に暮らせるようになるものと感謝し、一日も早く完成することを願うものです。
			49	その他 愛媛県 内	今まで幾度となく洪水被害に見舞われてきた肱川水系の住民の方は、何度も何度も必ず立ち直っており、本当に我慢強く粘り強いなと感じています。 平成30年7月豪雨から、はや4年が経過していますが、河川を管理する国や愛媛県、流域の市町がもっと連携し、堤防やダムの整備だけでなくもっと多種多様な対策を進め、もっと集中投資して、1日も早く1年ごとに目にわかるように治水の安全性を上げてほしい。 肱川流域の発展には、住民の今までのご苦勞に報いるためにも流域全体で、あらゆる対策を早く進めることが重要だと思えます。
			50	内子町	H30. 7の水害では8名の人命が奪われた。肱川緊急治水対策に定めた堤防整備、河道掘削、山鳥坂ダム建設、野村ダム改良を早急に実施し1日も早く完成させてほしい。
			51	内子町	肱川の治水安全度向上のため、堤防整備等に加えて山鳥坂ダムの建設も必要。また、野村ダムの改良も有効であると考えます。
			52	大洲市	洪水を防ぐためにも早くダムや堤防工事を完成させ、安心して生活できるようにしてほしい。
			53	大洲市	平成30年豪雨の時は高校生で、復旧のボランティアとして活動しました。あのような経験は二度としたくないので、河川整備を早急に進めてほしい。
			54	大洲市	今後、豪雨災害などの被害が大きくなるようにするためにも、国と県と市が積極的に協力して、早急に山鳥坂ダム等の整備事業を推進してほしいです。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
1	整備全般	河川整備計画の推進	55	大洲市	いち早く山鳥坂ダムと堤防整備を進めて欲しい。
			56	大洲市	計画に対して色々な意見があると思うが、災害リスクを考えると早期実行が求められる。優先順位をつけてスピーディーに対応して欲しい。そのためにはいつまでに何をどうするのかスケジュールを決めて期限を切って進めていくべきだ。
			57	大洲市	被災した親類は、物心ともに疲れきっていた。ダムや堤防の整備は必要だと思う。嵩上げやダム建設などで減災につながれば良い。
			58	大洲市	西日本豪雨災害をきっかけに、気候変動に伴う流域治水への考え方の軸足が変わった。肱川の自然景観、環境保全から、人命、生活を守る治水へ移り、実効性のある治水の推進を望みます。
			59	大洲市	平成30年7月の豪雨では、多くの人達が洪水の被害に遭いました。ダムに依存した治水には限界がある事も思い知らされた感が有ります。又洪水は私達に治水のあり方について多くの教訓を残してくれたとも思います。私達が安心して暮らしていけるよう、肱川流域の治水工事等、早急な改善をお願いしたいと思います。
			60	砥部町	大洲地区では過去に何度も洪水の被害に遭ってきました。また平成30年7月の西日本豪雨災害では大変多くの方が洪水の被害に遭いました。肱川は豪雨で洪水になったとき、海にたどりつく前に大洲盆地がそのはけ口となり、流域に住む方々に甚大な被害をもたらします。ここ近年、肱川沿いの堤防設置などの工事が着々と進んでいるのを見かけ、この前の豪雨と同じことが起こらないよう肱川流域の治水工事、野村ダム・鹿野川ダムの早急な改善をやっていただき、今後起こりうる自然災害からも安心できる町づくりをしていただきたいと思います。
61	大洲市	現在の整備計画で完了ではなく、これからも堤防整備や河道の掘削を進めてほしい。			

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
1	整備全般	河川整備計画の推進	62	大洲市	平成30年7月洪水により、自宅が床上浸水となりました。 近年、短時間にこれまでの常識を超える量の雨が降るといような異常気象による他の地域での災害の様子をニュース等で見聞きしていましたが、いざ自分が被災することになり、現状の対策では対応できないほどの自然の脅威を肌で感じるとともにその後の生活再建について強い不安を感じたことを覚えています。 今後については、ダム建設・堤防整備など一体的な河川環境整備により、住民が安心安全に生活できるまちづくりを早急に推進していただくことを期待します。
			63	大洲市	大洲の町で安全に生活ができるように訓練、防災学習を進め、ダムの早期建設や堤防整備をして欲しい。
			64	大洲市	私は建設業を営んでいるが、平成30年の被害時には、当社も肱川沿いで現場をもち、施工中であった為、災害を目の当たりにしたが水害の恐ろしさを痛感させられた災害でした。 現在、激特事業により大きな予算を確保していただき、通常より早いスピードで対策工事も着々と進んでいってはいますが、世界中で起きている気候変更による異常気象がまたいつ起きてもおかしくない状況のなか、早期に肱川河川整備計画の変更原案を策定いただき、築堤や河道掘削の河道整備と野村ダム、鹿野川ダム、山鳥坂ダムの洪水貯留施設の整備をを推進していただきたい。
			65	大洲市	また堤防とダムの整備は肱川治水対策にはどうしても必要です。
			66	大洲市	平成30年7月豪雨の時の様にいつその時以上の豪雨災害が起きるか分からないので、ダム建設、堤防整備を早急に進めてほしい。
			67	大洲市	気候変動に対応できる様、ダム建設と適切なダム操作をお願いしたい。
			68	大洲市	豪雨被害がこの先も起きない様、堤防整備、ダム建設を早急に行って頂きたいです。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
1	整備全般	河川整備計画 の推進	69	大洲市	<p>コロナ禍の中で厚い日も寒い日も工事従事されている皆様方には大変な事だと思います。個人的ですが、通勤途上、山高の向かいのシラサギの巣をみて朝夕癒されておりました。</p> <p>工事途中、シラサギは渡り鳥ではないのでどうなるのか気にしていました。工事を中断され家移りを待たれていたのでしょうか。無事引っ越したようで工事関係者の方々のご配慮があったのだと思います。自然環境と防災工事これも気になる場所ではありますが、毎年田畑が冠水したり平成30年の豪雨被害のようなことが起こらないように安全・安心を住民として第一に強く望むところです。</p> <p>まずはハード面で河辺川ダムは必要で、河床掘作、堤防のかさ上げは継続していただきたい。それと家屋の浸水は今後内水による氾濫が起きることが予想されます。JRなどの架橋下の狭溢な川幅の拡張工事についても検討、将来流木で暗渠が塞がれて氾濫することが危惧されます。</p>
			70	大洲市	<ul style="list-style-type: none"> ・肱川沿川でこれからも安心して暮らせるように ・整備計画の早期実現を願う
			71	内子町	肱川での整備を進めてもらって安全な肱川をつくってほしい。
			72	大洲市	肱川の河川整備の早期推進を
			73	大洲市	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年の西日本豪雨災害における肱川の浸水災害の不安を取り除くためにも、「肱川緊急治水対策」における堤防整備と堤防の浸透水対策、内水氾濫防止による樋門の充実、河道掘削による流量の確保、野村ダムの改良を含む鹿野川ダムと連携。そして山鳥坂ダム早期完成により3ダムでの不安無き利水治水をお願いしたい。 ・「肱川流域治水対策プロジェクト」の早期実施、早期実現を目指し、安全安心な肱川流域になるようお願いしたい。
74	内子町	堤防整備や河道掘削、山鳥坂ダム建設、野村ダムの改良など、事業を粛々と同時に進めて欲しい。			

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
1	整備全般	河川整備計画 の推進	75	-	洪水被害が頻発する肱川流域にはなくてはならない計画となっていると思います。早急に計画を推進していただき、肱川流域全体の安全安心の確保をお願いします。併せて、昨今の地球温暖化に伴う洪水量の増大や地先の激甚災害にも対応できるよう、絶え間なく流域全体の洪水対応能力を高めていただき、また、既存施設が簡単に壊れないように粘り強い構造となるような対策をお願いいたします。
			76	内子町	野村ダム、鹿野川ダムの操作規則の変更がなされた。これにより浸水被害が全て解消されるわけでは無いが、下流域では大幅に解消される。感謝すると同時に、整備計画・緊急治水対策が早期に完成し全ての浸水被害が解消されることを強く望みます。
			77	その他 愛媛県 内	今回の原案について、大いに評価します。早く事業進捗を行い平成30年洪水に対して、安心安全になる事を望むものであります。
			78	その他 愛媛県 内	早期の治水安全度の向上は肱川流域住民の昔からの願い。当整備計画を基に着実に事業を進捗いただきたい。
			79	大洲市	治水対策、堤防工事を早急に進めていただき平成30年のような水害が二度と起こらないように対策していただきたい。
			80	大洲市	ダム位置の変更により完成が遅れ、誠に残念ですがその分、河川整備計画の堤防の早期完成河床掘削の早期完成を望みます。 さらに、我が大洲市を1日でも早く安全な街にして頂く様、望みます。
			81	大洲市	最後に、批判ありきの少数派意見に将来の肱川を託してはいけない、又批判ありきの少数派を取り上げて得をするのはメディアであり評論家だけである。そんな批判ありきの少数派に理解を求めることは時間の浪費につながる。早く全力を尽くして肱川流域の安全度を上げるべきである。
			82	内子町	肱川河川整備計画変更原案を早期策定し、1日でも早く肱川流域で安心安全に暮らせる様にスピードアップして下さい。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
1	整備全般	河川整備計画 の推進	83	その他 愛媛県 内	【肱川水系河川整備計画(変更原案)】への意見 肱川水系の現状をみて、様々な課題がある中で、流域住民の生命と財産は非常に重要であり、この対策を推進することが大切と思います。整備計画変更原案にあるように、堤防の整備、山鳥坂ダムの整備、野村ダムの有効活用、そして近年の洪水危険度の増大に対応する流域治水も重要であると思います。
			84	大洲市	西日本豪雨以降、大雨注意報が出ると、また被害が出るのでは？と不安になります。治水事業の前倒しを希望します。上流のダム建設、河川沿いの堤防整備、非常時のダム放水管理等、科学的根拠を基に災害対策を迅速に進めて頂きたいと思います。
			85	内子町	ダム建設を含め少しでも安心して暮らせる整備を迅速にお願いします。
			86	大洲市	整備計画変更原案について 平成30年豪雨災害では、肱川流域で8名もの人命が奪われました。住民の生命・財産を守るため、治水を最優先に考え、堤防整備・河道掘削・山鳥坂ダムの早期建設、野村ダムの改良等、肱川緊急治水対策の整備を速やかに完了させるように、国・愛媛県・大洲市・西予市が一丸となって推進して頂きたいです。
			87	大洲市	平成30年7月豪雨災害以降各地区で、工事が進められております。けれども全国に目を向けますと毎年のように豪雨による災害がおきており、肱川流域住民は日々洪水の危険と隣り合わせの生活を送っている状況に変わりはありません。 豪雨災害のような被害を二度と起こさないためにも、「肱川緊急治水対策」に定めた堤防整備、河道掘削、山鳥坂ダム建設、野村ダム改良を早急に実施し1日でも早く完成させなければなりません。環境や利水も重要なではありますが、住民の生命・財産を守るためには治水を最優先に考える必要があります
			88	大洲市	安心して生活出来る様、肱川河川整備計画の早期実現を強く望む。
89	その他 愛媛県 内	勤務先が大洲市内なので水害の経験をしているので、早く工事を完成して欲しいです。			

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
1	整備全般	河川整備計画 の推進	90	大洲市	(感謝のことば) 肱川の整備につきましては、現在下流から上流へと各地で工事が開始され、堤防の形が見えるようになり、間もなく安全に暮らせるものと、感謝し、一日も早く完成いただくことを願っております。
			91	大洲市	平成30年7月のような被害を起こさないよう、堤防整備や河道掘削、山鳥坂ダム建設を一日も早く完成させてほしい。 気候変更に対応する治水計画は必須と思うので今後の計画に盛り込むべき。 肱川河川整備の早期推進を。
			92	その他 愛媛県 内	平成30年7月豪雨で肱川町は、甚大な被害を受け、多くの死傷者が出ました。 また、多くの家屋が倒壊や浸水し、私も家族と一緒にボランティアに参加しました。その時感じたことは、「もっと早く山鳥坂ダム建設が完成していたら被害状況が変わっていたかも知れない」でした。 二度と、このような被害が起きない様に、1日も早く山鳥坂ダム建設や肱川緊急治水対策を整備を完成して欲しいと思います。
			93	大洲市	河川整備計画の変更案に賛同します。 肱川流域で安心して生活ができるよう、計画通りに事業を進めていただくようお願いいたします。
			94	大洲市	平成30年7月豪雨災害では、浸水被害を受け、何もかもなくなり、様々な方の協力を受けてやっと生活再建ができた。 このような事が二度と起こらないよう、早急な治水対策を望む。 特に、堤防整備、ダム改造など、あらゆる手段を用いて、安全・安心を確保してほしい。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
1	整備全般	河川整備計画の推進	95	大洲市	<p>今回の河川整備計画変更について賛成しますが、実施に当たっては、この河川整備計画事業に遅れが生じないように努めていただきたい。</p> <p>私の自宅作業場は、平成16年、17年、30年に浸水被害にあいました。今思うことは、鹿野川ダム改造事業や堤防整備が計画通り進捗していれば、平成30年の水害は防げたのではと思っています</p> <p>今後は、このような事が起こらないよう1日でも早い完成を望みます。</p>
			96	大洲市	<p>平成30年の洪水には、ほんとに驚かされました。まさか久米川の堤防を越えて浸水被害を被るとは思ってもいませんでした。</p> <p>当初は、ダム放流が浸水被害を拡大させた原因だと思っておりましたが、色々な方の話を聞くうちに、ダムは、流入量を超える放流を行って無いことから、洪水を増大させることはなかったと分かってきました。</p> <p>今回の変更内容は、堤防強化や、野村ダムの改造、山鳥坂ダムの位置変更等や流域治水の推進であり、賛成します。</p>
			97	大洲市	安心して暮らすためにも、堤防整備とダムの早期完成を望みます。
			98	大洲市	近年、温暖化の影響なのか、大型台風や局地的な集中豪雨などによる自然災害も増加している。今後も大雨の強度や頻度が増加傾向にあると予測され、河川の整備や浸水対策などの更なる取り組みが必要になってくるため、河川整備の変更に対しては理解する。
			99	大洲市	肱川水系河川整備計画が円滑に進み治水対策の向上により肱川流域の住民が一刻も早く安心して暮らせるよう願います。
			100	大洲市	整備計画(変更原案)に賛同します。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
1	整備全般	河川整備計画 の推進	101	大洲市	<p>私は、祖父から教わった大洲藩発祥の日本泳法(古式泳法)主馬神伝馬流を継承し、年の初めの寒中水泳から夏の肱川水泳学校教室など、子供の頃から肱川に慣れ親しんでいるものです。私にとって、自然の恩恵を与えてくれる肱川は、宝であり、貴重な財産です。全国に12流派ある日本泳法の他団体からも、自然豊かで水量水質に恵まれている肱川で泳ぐことに憧れと敬意をいただいています。</p> <p>私の実家は、若宮中2区であり、鹿野川ダムができるまでは、度々、水害にあっていたと聞いています。家には舟や竿を掛ける金具がありましたし、「2階のここまで水が来た！あの時は・・・」などと水害の恐ろしさも聞いて育ちました。</p> <p>そして、平成に入り数々の水害発生。平成30年7月の豪雨災害では、我が家は昭和20年以來の床上浸水となり、その時の迫り来る水の恐怖は今でも怖ろしくて思い出したくありません。そして、家が直るまでに半年掛かりました。</p> <p>もう、そのような災害は2度と起きて欲しくありません。</p> <p>これからも安全安心な暮らしをはじめ、脈々と受け継いだ歴史や文化を継承するためにも、野村ダム・鹿野川ダム・山鳥坂ダムの必要性は勿論の存在と考えています。</p> <p>今後も、ダムをはじめとする流域治水や堤防強化、洪水を防ぐための柔軟な対策を盛り込まれた変更原案を含めた整備計画の早期実現を強く熱望します。</p>
			102	大洲市	<p>私は、生まれも育ちも大洲市長浜町で、冬は肱川特有の「肱川あらし」の中を通学していました。実家は、水害の被害を直接受けたことはありませんが、肱川が運ぶ栄養は、長浜沖での漁業に多大な影響を恵んでくれます。</p> <p>平成30年7月豪雨大害は、私が住んでいた柚木地区のアパートにも大きな被害を受け、公務で多忙だったことも重なり、アパート暮らしの立て直しには大変苦労しました。</p> <p>これからの安全で安心な生活を過ごすためにも、肱川水系による河川整備計画(変更原案)の早期実現を望みます。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
1	整備全般	河川整備計画 の推進	103	大洲市	<p>今回の整備計画(変更原案)に対し、賛成します。</p> <p>計画を早期に策定し、現在進められている堤防の早期完成を図って頂くとともに、山鳥坂ダム建設及び野村ダム改良の早期着手にも努めて頂き、流域住民が一日も早く、安全・安心に住むことの出来る環境整備をお願い出来たらと思います。</p> <p>また、破堤等防止のための堤防強化にも努めて頂きながら、内水対策等にも取り組んで頂きたいと思います。</p> <p>以上、宜しくお願い致します。</p>
			104	大洲市	<p>内水、外水、築堤、河道掘削、ダム建設が、降雨量に応じてどのように作用するのか調査研究しそれに基づいた計画としてほしいが、連携がとれていないように見受けられる。</p> <p>税金を無駄遣いしないよう、計画を立てるのなら綿密にしてもらうことを切に願う。</p>
			105	大洲市	<p>大洲市の水災害は以前より被害が軽減された印象があるが、それは鹿野川ダムの予備放流など、ダム操作のおかげだと聞いている。最近、全国各地で毎年のように自然災害が発生しているので、再び災害が発生しないよう、山鳥坂ダム建設も堤防建設も、できる限り早くに完成させるべきだと思う。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
1	整備全般	河川整備計画の推進	106	大洲市	<p>私が河川の治水について勉強してわかったことは、①河川に流れ込む水の量を減らすこと、②河川に流れ込んだ水が住宅地等に溢れないようにすることが基本であるということである。そして私が肱川の治水について個人的に重要だと考えていることは、③あらゆる手段を尽くして河川が氾濫したときの出水の量を減らす努力をしていかなければならないこと、そして④少しでも治水効果があるのであれば、可及的速やかに計画を実行していかなければならないということである。</p> <p>そういった観点から今回の変更原案を眺めてみると、ダムの新設のみならず、既存のダムの改良や運用の変更によって、河川に流れ込む水の量を減らすようになっている。また、ダムだけに頼るだけではなく、田んぼダムや遊水地の整備、河道掘削等の様々な手段によって少しでも河川に流れ込む水の量を減らすように計画されている。①及び③の観点から満足のいくようなものになっている。</p> <p>次に今回の変更原案では、引き続き堤防の整備と強化が計画されており、排水機場や排水施設の整備も含まれている。②の観点からは少しずれるかもしれないが、出水のリスクの高い地域から低い地域への施設や住宅の移転も計画に含まれている。②及び③の観点から満足のいくものになっている。</p> <p>④の観点については私の消防団での経験に基づいている。豪雨災害の時に避難し遅れた人をボートで救出して回ったが、その中に平屋建ての家で普段は寝たきりの人が必死につかまり立ちして首だけ水から出た状態で救出を待っていた。あと15～20センチ水位が高かったら助からなかったと思う。そのくらいの水位の差で人の生死が分かれる状況は事実として存在する。可及的速やかに計画を実行して欲しい。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
1	整備全般	河川整備計画 の推進	107	大洲市	<p>平成30年7月豪雨は、私達世代が経験したことがない未曾有の洪水となり、肱川流域では各所で濁流が溢れ尊い命が失われました。又商業中心地の東大洲等広大な地域において多くの施設や家屋が浸水し、再建が難しい程の壊滅的な被害となりました。</p> <p>私は水害を防止し肱川流域に住む人々の暮らしがより安全で明るい未来が見通せるようになる為、河川整備・ダム改造や建設等あらゆる手段で短期間に安全度を向上させる必要があると考えています。その為には令和元年の河川整備計画の変更が再度災害防止策の実効性を高めるものと認識しています。</p> <p>現在、その整備計画の変更から2年が経過し、肱川流域の広範囲で工事が進められています。しかし、堤防整備、ダム建設・改造は整備途上です。この度、新たな取組である「流域治水への転換」や事業進捗により具体化が進んだ「既設堤防の補強対策」「山鳥坂ダム建設」「野村ダム改良」が盛り込まれた変更原案が公表されましたが、安全安心な肱川への大切な内容でありこれらをより一層加速化させて整備する必要があると思います。早急に河川整備計画を変更し各事業を早期に完成させ、安全安心な肱川を後世に引き継いでいける様にして頂きたいと思っています。</p>
			108	大洲市	<p>流域治水の推進</p> <p>近年、毎年のように全国各地で大水害が発生しています。肱川も例外ではなく平成30年7月には、これまで経験したことのない未曾有の大洪水が発生し壊滅的な被害が発生しました。</p> <p>このような状況の中、肱川整備計画の変更原案が公表され、堤防強化、野村ダムの改良、山鳥坂ダムの建設予定地の変更が示されましたが、肝心の整備目標は、平成30年7月規模で2年前の計画と変わりありません、しかし堤防強化、野村ダムの改良、山鳥坂ダムの建設予定地の変更を整備計画に反映させて着実に整備を進めることは重要と思います。</p>
			109	大洲市	堤防整備完了までのスケジュールを具体的に示してほしい。(50年以上大洲に住んでいるが、肱川の何が変化して、何が、住民に役っているかよくわからない)
			110	大洲市	整備(工事)の箇所毎の順番や時期が気になります。
			111	大洲市	整備計画を30年としているが、計画途中のことは考えていないのか。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
2	流域の概要	社会情勢の 変化について	1	大洲市	<ul style="list-style-type: none"> ・流域の社会情勢の変化について、どうなっていたか。 ・地域の意向について、住民参加をもっと進めるべき。 ・山鳥坂ダムについて40年経っている。40年前とどれだけ社会情勢が変わったか。今から20～30年後の社会情勢の変化も考慮すべき。 ・今後の社会的な変動について考慮して計画を進めてもらいたい。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
3	河川整備 の目標	目標流量の 妥当性	1	大洲市	又再度の災害防止では、短期の目標であり、30年の長期計画ということであるならば目標流量を上げるべきである。
			2	喜多郡	目標流量について、変化する自然が相手なので予測するのは大変困難な事と思われるが、現時点では過去の記録や自然環境の似た地域での記録に基づいた予測に対してのものとなっており、妥当であると思われる。
			3	大洲市	平成30年7月豪雨を考えると、これ以上の豪雨も起こりうる可能性があり、目標流量を上方修正すべきである。
			4	大洲市	平成30年7月豪雨では、会社が大きな被害を受けた。私の家においても生まれて初めて水が入ってきた。 今回の整備計画では、平成30年豪雨を基準にしているようだが、今後これ以上のことが起こらないとは断定できないので、再発防止の為に目標流量を少しでも上げてもらいたい。
			5	大洲市	平成30年の水害では、大洲市総合福祉センターに避難しましたが、目の前で増水していく様子を見て恐ろしかった。 早く安全な川にしてもらいたい。しかし今回の計画ではその水害時を上限としているので、安全とは思えない。将来のためにより安全な計画を策定して貰いたい。
			6	大洲市	平成30年の水害で、鹿野川に住む友達から自宅の2階近くまで増水した映像が送って来たのを見てびっくりした。避難していた福祉センターの駐車場に増水してきた水が迫ってきたのを見て恐ろしく感じた。 このような事が二度と起こってほしくないなので、平成30年の豪雨に耐えるのではなく、将来を見込んでより安全な計画を作成してもらいたい。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
3	河川整備の目標	目標流量の妥当性	7	大洲市	<p>意見 4(肱川の最大洪水と目標流量について)</p> <p>これまで肱川治水の目標流量は、戦後最大洪水とされる昭和18年、20年洪水の5000m³/sとされてきた。「戦後」といわれるのは文政9年(1826年)、明治19年(1886年)の水位9mを超える記録があるからである。比較的近代の記憶される最大洪水は昭和18年7月の洪水と昭和20年9月の洪水であり、ともに8mを超えるものであった。昭和18年洪水の推定ピーク流量が4850m³/sであることから5000m³/sを想定最大洪水とし治水の目標流量とされてきた。</p> <p>平成30年の西日本豪雨による肱川洪水は、大洲基準点の実績流量は4442m³/sと発表されているが、「氾濫戻し」という考え方で6200m³/sと発表されている。昭和18年洪水はこれまで5000m³/sとされてきたが、「氾濫戻し」という操作によって5400m³/sに変更された。しかし、これまで5000m³/sとされてきた考え方で言えば、西日本豪雨の肱川の洪水規模は約4500m³/sでいいのではないか。なぜなら、昭和18年洪水よりも西日本豪雨の肱川洪水の方が明らかに小さいからである。昭和18年洪水は三日三晩降り続き、総雨量700ミリである。西日本豪雨では洪水後降り止み幸いした。6200m³/sへの変更は過大な数字なのだ。</p>
			8	伊予市	<p>肱川の整備につきましては、現在、激特事業として、各地で工事が行われ、堤防の形が見えるようになり、間もなく沿川住民が安全に暮らせるようになるものと感謝</p> <p>●肱川水系河川整備基本方針の見直しの要望</p> <p>平成30年7月豪雨では、大洲地点で6200m³/sの洪水が発生し、甚大な浸水被害が発生しました。現在の基本方針まであと100m³/sに迫る洪水が現実には発生した訳で、基本方針の点検も必要な時期になっていると感じています。地球温暖化の影響は今後ますます加速化することが予想される中、早急な見直しを要望するものです。</p>
			9	その他	<p>平成30年7月の豪雨以上の豪雨が起こりうるため目標流量を上方修正するべきではないでしょうか？</p> <p>また、暫定堤防の嵩上げを行っているが、内水による大規模な浸水被害への対策を至急行って頂きたい。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
3	河川整備 の目標	目標流量の 妥当性	10	大洲市	平成30年7月豪雨は戦後最大流量を記録している。過去昭和18・20年洪水が取り上げられていたが、今回それ以上でした。今後、今回以上のことが起こり得る想定しておかなければ、次の台風・豪雨等への対応が出来ないと思います。整備計画において、大きな予算で安全対策を行うのであれば、次を見越して対策を計画する必要があると思います。
			11	大洲市	H30.7の6,200m ³ /sの内訳を教えて欲しい。
			12	西予市	野村ダムの下流の川は1,300m ³ /sが流れると聞いている。計画高水流量1,000m ³ /sとの関係は。
			13	大洲市	『肱川水系河川設備計画【中下流圏域】《変更原案》』策定にあたって西日本豪雨災害における肱川の最大流量について『肱川においては、甚大な被害の発生した平成30年7月洪水の基準点大洲における流量規模は、ダムによる洪水貯留をせず、また氾濫がなかった場合に6,200m ³ /s程度と推定される。』としていますが、その根拠が明確にされていません。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
4	堤防の整備	堤防整備の 早期実施	1	大洲市	堤防整備の早期完成をお願いします。
			2	内子町	再び平成30年7月豪雨が起って浸水しない様に堤防整備を最優先に実施して欲しい。
			3	大洲市	平成30年豪雨災害後、堤防整備は着々と進行しています。流域に生活する者としては、堤防整備を最優先に早期の完成を願います。
			4	内子町	台風が来るたびに、平成30年7月豪雨のような水害が起こるのではないかと心配しているので、堤防の整備を早急に行ってほしい。
			5	大洲市	地球温暖化により、豪雨や台風の被害が年々大きくなっており、下流域の堤防整備も早急に完成をお願いします。
			6	大洲市	また、堤防整備について、野村地区、肱川地区、大川地区、菅田地区、暫定堤防9箇所のかさ上げ(=完成堤防化)が上げられているが、早急に出来るところから着手して欲しい。
			7	大洲市	堤防の整備により、上水道水源の治水安全度が高まり、被災の恐れがなくなります。早期の完成を望みます。
			8	大洲市	平成30年豪雨時、勤めていた店舗が水没し、大変な思いをしました。堤防の整備が早期に完成するよう願います。
			9	大洲市	堤防の早期完成をお願いします
			10	大洲市	堤防が整備されることは良いことだと思う
			11	大洲市	肱川流域治水の発展を願います。いち早く堤防整備を進めて欲しいと思います。
			12	内子町	1日も早い堤防の完成を願う。
			13	大洲市	堤防整備こそ最優先すべきである
			14	大洲市	早期の堤防完成を願う。
			15	大洲市	早期の堤防工事をお願いします。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
4	堤防の整備	堤防整備の早期実施	16	内子町	再び平成30年7月豪雨が起こって浸水しないように、堤防整備を最優先に実施してほしい。
			17	大洲市	また豪雨が起こって浸水しないように、堤防整備して治水対策をして欲しい。
			18	大洲市	激特の堤防整備は早急に完成してもらいたい。堤防整備の前の砂州が残ったままである。長浜の下流まで掘削をすべき。
			19	西予市	ダムへの操作には気象予測と事前放流が欠かせず、河道掘削や堤防整備にも力を入れてもらいたい。

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
4	堤防の整備	小田川の整備について	20	その他	私は現在、松山市に住んでいるが、生まれも育ちも大洲市の肱南地区の肱川本流まで歩いて1、2分というすぐ近くで、幼い頃から肱川に親しんできました。 肱川は、本流については堤防整備やダム改良などが進んでいますが、小田川など大きな支流での対策が進んでおらず、今回の変更案にも具体的な対策について、記載が無いと思います。
			21	内子町	しかし、小田川の項目がないことは残念です。平成30年7月豪雨の際も人的被害はなかったが浸水被害は発生していました。是非とも対策を検討してほしい。
			22	内子町	平成30年豪雨では内子の小田川をはじめ中山川等で今までにないような被害がいたる所で発生した。今後、肱川の支流である小田川の堤防建設・改修や河川に溜まった土砂の撤去も継続して計画的に入れる様にお願いします

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
4	堤防の整備	支川の整備について	23	大洲市	合わせて肱川の堤防が完成すれば、内水による被害が心配になる。肱川には支川が多く大変ではあるが、支川の堤防かさ上げなども実施していただきたい。 特に山高川や八河川など県が管理する河川の対策について早急に検討を願う。 支川についても整備計画に記載して事業を推進すべきと思う。
			24	内子町	また、支流の堤防整備や川にたまった土砂を取り除いたり、葦や柳などの木の撤去を続けて頂き浸水被害が起きないようにして下さい。
			25	大洲市	しかしながら、堤防整備が進むことに反して、肱川につながる支川(特に県管理河川)からの越水・溢水が懸念されます。 今回の変更原案には、気候変動に対するべく流域治水への転換の推進が明記されていますが、気候変更の影響により今後、雨の量が増えると考えているのであれば、支川の堤防嵩上げ等についても河川整備計画に位置付け、越水・溢水対策を進めるべきではないでしょうか。 肱川水系の河川整備計画なので、肱川本川の計画にとどまらず、今後においては、支川である県管理河川の整備計画も含めた総合的な計画策定をお願いします。
			26	大洲市	また、本川だけでなく、支川の堤防かさ上げも実施して欲しいと思います。堤防が完成すれば、内水による被害など課題は多いと思いますが、検討をお願いします。
			27	大洲市	平成30年の災害時、山間地区に住んでいるので、直接の被害はなかったが、集落の水道が長らく使えず困った。 河川整備と同時に支川などの整備もしてほしい。
			28	その他 愛媛県 内	小田川や上須戒川などの支川の整備もお願いします。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
4	堤防の整備	支川の整備について	29	大洲市	<p>肱川本川の堤防整備や堤防の嵩上げ及び稼働掘削等を概ね(令和5年)を目指し、事業実施をされておられ、肱川沿川では肱川本川からの外水による家屋等の浸水被害が無くなり、治水安全度の向上が見込まれている。</p> <p>しかし、堤内地側では肱川本川に流れ込んでいる支川からの河川氾濫による家屋等の浸水被害の軽減が見込まれていないため、肱川支川の河川管理者に河川改修を要望する。</p>
			30	西予市	<p>私は肱川の支流である山瀬川治いに住んでいます。今まで説明会等で、河川整備計画について話を伺ってきましたが、ダムの操作規則の変更で1000tまで放流することができる。それに対して川の流下能力を1300tにするとのこと。先日の説明会では三島橋付近で降雨や支流から入ってくる水量を合わせて1300tと言われました。三島橋のすぐ下流の野村大橋の手前で山瀬川は氏宮川との両サイドから入ってきても野村大橋付近は浸水しないのでしょうか？仮に大橋が大丈夫だとしても一段低地にある私たちの住んでいる地域は浸水しないのでしょうか？前の県からの説明では山瀬川の工事はまだ先のことと。うちはまた浸かるのではないかと不安です。地域住民全員が安心できる町に戻して下さい。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
4	堤防の整備	菅田地区の 堤防整備	31	大洲市	菅田地区を暫定堤防として残すのであれば、それは治水事業として、越流時には補償するか、遊水池として地目差分を整備時点で補償すべき。
			32	大洲市	「菅田町付近では15工区の築堤区間がありその内8工区は暫定堤防による段階施工を行う。整備計画完了時点においても一部暫定堤防とする」となっている。これでは整備計画が進んでも、暫定堤防が残る地域は不安が残り、降水状況においては水害が免れない。 その一部の方々だけに水害負担を与えるのはおかしいと思います。その方々には何がしか、補償制度を策定して安心させる方法を考えて貰いたい。
			33	大洲市	菅田地区は、暫定堤防が設置されているが暫定堤防の高さは、平成30年豪雨の水位でなく、今後の異常気象も見込みもう少し上げる計画をしてもらいたい。
			34	大洲市	1日も早い菅田堤防の整備を
			35	大洲市	日頃より肱川流域の治水対策にご尽力いただきありがとうございます。 日常の風景で、堤防整備が目に見えて進捗していることに希望を膨らませております。 私は菅田地区に住んでおり、平成30年の洪水では床上180cmの浸水被害に遭い、財産のほとんどを失いました。地区には平成16、17、23年にも床上浸水の被害を受け、4年に1度のペースで悲惨な思いをされている方も多くいらっしゃいます。それでも地区に残っている皆さんは、国交省や愛媛県が整備いただいている堤防や山鳥坂ダムで安全で安心できる生活が来ることを信じて暮らしています。この期待を現実のものとするために3つの提案させていただきます。 1つめは、「遊水効果」を持たせると定義されている暫定堤防をなくした整備計画に見直していただきたいとくことです。菅田地区は平成7年の洪水時には、人家の被害がほとんどありませんでしたが、その後の中下流域の河川整備により、既述のとおり甚大な被害を受け続けています。「遊水」と明記している以上は、下流域を守るために犠牲になっていると言っても過言ではありません。ダムは上流で遊水機能を担う施設ですので、暫定堤防地域の負担を等しく軽減する効果があると思いますので、3つのダムの持つ機能を最大限発揮できる運用をお願いします。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
4	堤防の整備	菅田地区の堤防整備	36	大洲市	菅田地区等の無堤箇所を整備についても着実に実施して欲しい。
			37	大洲市	愛媛県管理区間では上下流バランスを考慮して、堤防整備後も暫定堤防となる地区があり、不安に思っている。暫定堤防の残る地域の安全度を高めるため、堤防の高さをあげる等の計画を検討して欲しい。

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
4	堤防の整備	堤防の整備効果	38	内子町	堤防整備が目に見えて進んでいるが、堤防が整備されることによって得られる効果を具体的に地域住民に示して欲しい。

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
4	堤防の整備	整備計画にない箇所追加	39	大洲市	平成30年の災害の時に、大和橋から小長浜付近に向かって道路が冠水した為、現在計画にない箇所に関しても計画の追加をお願いしたい。

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
4	堤防の整備	河道断面のみで確保できる流量について	40	大洲市	河川整備について、よく、堤防整備と河床掘削で対応するべき、と言われる人がいるが、はたして河道だけで目標流量が確保できるものなのか疑問を感じる。河道での流量の確保には限界があることの根拠を示していただきたい

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
4	堤防の整備	野村地区の 整備について	41	西予市	ダム再開発に際して、野村ダムの緊急放流時の放流能力を実質的に上げることになると思われるが、下流の流下能力を考慮して、どのような避難対策以外の対策を考えることになるか。さらなる河道改修が必要ではないか。

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
4	堤防の整備	県区間の整備	42	大洲市	堤防は下流からという話があったが、それは昔の話で、今は危険なところからやるべきである。鹿野川ダムの直下は、調査・検討の上、必要に応じて実施するとある。やるのかやらないのかが分からない。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
5	河道の掘削	河道掘削の早期実施	1	大洲市	今後の、肱川メンテナンスについて 現在進行中の河川内の河道掘削により、増水による河道の変化を今後も観察し、定期的に取り除き、河川水位の低減に努めて頂きたい。 肱川河川整備の早期推進をお願いしたい。
			2	大洲市	意見 9(肱川水系河川整備基本方針で残事業とされている掘削) 下記は、肱川水系河川整備基本方針と河川整備計画の違いを表にしたものである。6300 m ³ /sの基本方針は掘削を残事業扱いし、最後の事業としていることである。掘削の効果について数字を明記しないが、河道の項目を見ると掘削を約800m ³ /sと見ていることが分かる。掘削を優先して実施すれば、山鳥坂ダム+鹿野川ダム改造=450m ³ /sは不要ということになる。肱川では半世紀以上掘削がされてこなかった。不要な山鳥坂ダム建設や鹿野川ダム改造のために河道掘削が行われてこなかっただけでなく、上流ダムの操作規則を歪めた改変が行われた。平成16年、17年洪水、西日本豪雨の平成30年と異常洪水時防災操作のダム放流による水害をもたらした。平成16、17年洪水後、平成8年操作規則改正の見直し、河道掘削禁止の見直しの提言にもかかわらず、平成30年の西日本豪雨まで何も見直されることはなかった。平成23年洪水では、ダム放流量は平成16、17年洪水の約半分にもかかわらず、浸水は平成16、17年洪水を超えるものだったが、見過ごされていたことである。 表 整備内容と所要年数
			3	内子町	河底の土砂の撤去も引き続き行ってもらいたい。
			4	大洲市	平成30年7月のような災害を二度と起こさないよう、肱川の治水対策をしっかりと進めてほしい。特に、河道掘削を行い、河川断面の確保をお願いしたい。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
5	河道の掘削	河口部の掘削	5	大洲市	肱川下流域(長浜地区)については堤防整備が完成しつつあるが、河口部において上流から流れてくる土砂等が堆積しているように思える。少しずつ継続的に河床掘削を進めていくべきではないか。
			6	大洲市	長浜大橋付近など河口に土砂が堆積しています。掘削しなくても、流量を流せることを確認しているとの説明ですが、たまっている土砂を除けばスムーズな流れになることは、明白です。半世紀以上前は、毎日のようにジャリ船が航行していました。肱川が肱川でなくなっている状態を掘削によって、流れがスムーズな肱川に戻して下さい。
			7	大洲市	・長浜会場が無くなっているのが気になった。堤防整備をすれば河道水位は高くなる。2, 3年前の長浜会場での説明の際、沖浦地区の方が質問されていた。堤防整備で1. 1m上昇する。河口の浚渫はしないと回答されている。今回の変更案でも浚渫はしないのか。 ・1. 1m上昇することは容認して欲しいということか。
			8	大洲市	・H30.7洪水のとき、上流から土砂が流れてきて、江湖の港が浅くなっている。潮位もあがっている。それでも掘削してもらえないのか。内水で浸水する危険性が高くなっている。 ・河口のはけ口は水を流すようにしないといけない。
			9	大洲市	・河道掘削は上流でやっている。大和橋から下はやっていない。釣りに船で出るか。スクリーンが回らないくらいに溜まっている。なぜ大事な下流の河道掘削をしないのか。その理由を聞きたい。 ・長浜のあたりでは左から右まで歩いて渡れる。昔は大洲のお城まで船があがっていた。埋め立てはするのに河床掘削はしないのか。
			10	大洲市	堤防を高くして、河口の砂を押し出すということを言われたが、全然流せていない。河口の山のようにになっている砂をとらないといけない。台船からの花火が見えるように、赤橋の下に溜まっている砂をとってあげて欲しい。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
5	河道の掘削	河口部の掘削	11	-	肱川には沢山のお思い出があります。日々変り果て嘆いているようです。治水とは色々な面から人間の生命・財産、生活を防御するとなっている。令和3年11月27日新聞、鈴木愛大教授14人官民間問わず流域全体が連携して水害を抑える流域治水、海面水位の上昇見据え整備基本方針の原案(「安」と記載あるが、文脈から推測)①想定し得る最大規模まで洪水に対し軽減する河川等の整備を図る。私は川、海の組合員で肱川●江湖港代表をしている。毎日とっていい位少しでも港に行きます。赤橋付近から海までの間よく知っているつもりです。満潮海水面の上昇がどれほどか、又干潮は今年一年一番低いのは1月4日AM3時頃いままで見た事ない物まで見えました。原案(「安」と記載あるが、文脈から推測)②である惣瀬地区へ行きこれほど砂利など蓄積あり、少し上流は川幅を狭くし堤防の嵩上げ景観が損なう。平成30年7月7日膨大な放流によりアオノリが一度しか取れいません。育ちやすい環境を作ってほしい。

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
5	河道の掘削	河道掘削の効果について	12	大洲市	山鳥坂ダムの効果は、肱川橋のあたりで数10cmの効果があると市長が言っていた。数10cmの効果であればダムよりも掘削をすべき

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
5	河道の掘削	河道掘削土の処分方法	13	その他愛媛県内	大規模に河床掘削をして頂いているようだが、河床掘削により発生した土砂はどのように処分しているのか？下流域、長浜地区の住民は港を埋め立て水族館を復活させたいとの思いを持っているようだがそこに有効利用できないのか？熱海の盛土による土石流災害が記憶に新しいが掘削土砂の処分の安全性は十分か？

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
5	河道の掘削	掘削工事 について	14	大洲市	河川整備について 五郎地区の河川の砂利を除去して川底を下げて、川の容量を増やしているのだらうと工事を見 ていましたが、しばらくすると砂利を除去したところに別の砂利なのか同じものなのかを戻してい るのを見かけました。戻す必要性が理解出来ません。 どんどん川底を深くして容量の確保をして欲しいです。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
6	ダムの整備・管理	山鳥坂ダムに関する意見	1	大洲市	山鳥坂ダムの位置が変わり貯水容量が減ることにより洪水調節容量への影響を心配したが、環境容量の一部を利用する内容となっており安心した。山鳥坂ダムは必要な施設と考えているので少しでも早い完成を望む。
			2	大洲市	兎に角、山鳥坂ダム建設を早期着工し早期完成するべきである。
			3	大洲市	山鳥坂ダム建設を推進し早期完成を
			4	大洲市	平成30年7月洪水は、基準地点大洲で、ダムが無く上流での氾濫が無ければ、6,200t/秒の流量であったとされている。この量を安全に流すため、整備計画では、河道で4,600t/秒、ダム群で1,600t/秒の配分により整備を進めていくとしている。肱川は地形的特性から、河道での流量確保には限界があり、上流での流量をカット(ダムや遊水地等)するしかないもので、この考えについては十分理解できるものである。このため、ダムについては推進の立場であり、1,600t/秒の一翼を担う山鳥坂ダムは平成30年7月洪水を安全に流下させるには必要不可欠である。 今回の地滑り等により山鳥坂ダムの変更が示され、その中で工期が6年ほど遅れることは、本当に残念である。しかし、肱川流域の治水安全度の向上には必要な施設であるため、1日も早い完成を望むものである。 よって、洪水調節容量及び環境容量を有した山鳥坂ダムは必要不可欠であり、早期の完成を望んでいる。
			5	大洲市	山鳥坂ダムの位置が上流部になることにより、119ページの図面によれば、ダムの高さがH=7.0m低下するが、当初計画時の事前放流水位よりも約7m程度事前放流水位を低くすることで洪水調整容量を確保しているという考えと受け取ってよいか。 仮にそういう運用が可能という考えであれば、当初計画時の洪水調整容量も、1400万m3では無く、最低でも総貯水容量の減少分約290万m3を増とした、1690万m3の洪水調整容量の可能性を持っていたダムと言う事で認識してよいか。(当初は過大計画?) 結論として、ダムが上流部に移ったことで、ダム計画変更前後の運用を同一なものと考えた場合、将来的に地球温暖化等により異常気象が進んだ場合にダム運用により洪水調整対応可能であった約290万m3の洪水調整容量を失ったと考えてよいか。 想定質問を考えていると思いますが、ダム建設反対の人が同様な質問をしてきたときに、きちんと回答ができるように望みます。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
6	ダム の 整備・管理	山鳥坂ダムに 関する意見	6	大洲市	山鳥坂ダムも早期実現目指して頑張ってください。
			7	内子町	貯留施設整備はその下流域全域にわたり有効であることから、山鳥坂ダムの建設を早期に完成してほしい。
			8	大洲市	肱川の治水安全度向上のため、堤防整備等のもとより、山鳥坂ダムの建設を早期に完成していただきたい。
			9	大洲市	東大洲や菅田地区堤防整備で締め切るのであれば貯水機能を持つダムの建設は必須である。山鳥坂ダムは早急に建設を進めていくべきである。
			10	大洲市	山鳥坂ダム建設予定地変更により、完成が6年程遅れると聞いています。ダムによる流量調整が下流域の増水に多大な影響を与えますので、少しでも早く完成して欲しいです。
			11	大洲市	山鳥坂ダムの早期完成を。
			12	内子町	頻繁に起きている肱川の水害を二度と起こさないために山鳥坂ダムの建設を早急に実施し一日も早く完成させて欲しい
			13	大洲市	山鳥坂ダムの位置が変わり、工期も延長されたが、大洲市の治水安全度の向上に、山鳥坂ダムは必要な施設なため、一日も早い完成を目指して欲しい。
			14	大洲市	山鳥坂ダム建設を推進し早期完成を
			15	その他 愛媛県 内	肱川流域の治水向上には、山鳥坂ダムの建設は必要不可欠であります。
			16	大洲市	そして、堤防が整備されれば建設予定地を変更し膨大な建設ヒをかけたのダムは造ることに反対です。
17	大洲市	山鳥坂ダムは、肱川の治水安全度の向上には欠かせない治水施設であるため、工期短縮に努め、早期完成となるよう進めていただきたい。			

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
6	ダムの 整備・管理	山鳥坂ダムに 関する意見	18	内子町	河床勾配が緩く、下流域は両岸に山が迫り狭隘な地形で洪水の流れにくい肱川では、ダムや遊水池による洪水貯留が不可欠ではないでしょうか？ 現在、建設に取り組んでいる山鳥坂ダムの早期完成を望みます。
			19	大洲市	豪雨があったのでいまだにふっきゅうできていなかったり、また、豪雨などの災害が起こるのかわからないのでダムを作ることを希望します。
			20	大洲市	今回山鳥坂ダムが予定地の岩盤が悪く、変更になり工事が遅れることは残念ですが、工事の着手前に慎重に検討された変更に沿って早く着手され早い完成をお願いしたい。
			21	大洲市	下流域全域に効果のある山鳥坂ダムの建設を希望します。
			22	大洲市	山鳥坂ダム工事事務所が出来て30年余り立ちますが、今だにダムが完成していません。 本当にダムが必要かどうかわかりませんが、今までの調査や計画は何んだったのか不思議に思います。 専門的な知識のない素人の意見を聞くよりも必要な情報を開示しながら学識者の意見を踏まえてしっかりとした説明が必要だと思います。 早く工事が進まないと同じ様な災害が又いつ来るかわからないので心配です。
			23	大洲市	はやくだむをつくってください。
			24	内子町	肱川町に計画されている新しいダムも早くつくってもらいたい。
			25	大洲市	山鳥坂ダムの早期完成を願う。
			26	大洲市	ダムは必要。山鳥坂ダムは十数cmの水位低減効果しかないと聞いたことがあるが、堤防等からの越水や溢水、堤防決壊による被害を考えると河川水位は少しでも低い方が良いのは間違いない。
27	大洲市	東大洲等の暫定堤防や田など無堤防を堤防で締め切るには、築堤や河道堀削などの河道整備と併せてダムによる洪水貯留が必要である。山鳥坂ダムは遊水機能の一部を代替えるものとして必要だ。			

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
6	ダムの整備・管理	山鳥坂ダムに関する意見	28	その他愛媛県内	肱川の治水安全向上のためには堤防整備等に加えてダムの建設も必要。
			29	内子町	貯留施設の整備はその下流域全域にわたり有効であることから、山鳥坂ダムの建設を早期に完成してほしい。
			30	-	山鳥坂ダムの完成予定位置が上流に変更され、同じ量の洪水調節容量を確保するために、予備放流や事前放流により環境容量の一部を洪水調節容量に充てることになっています。この方法では、気象予測精度の現状や外れた場合のリスクなどの課題もあり、将来的にダム管理者へ負担を強いることになります。 今後の防災操作の高度化に向けて、予測精度の向上に努められると思いますが、山鳥坂ダムは、既設ダムではなく新設ダムなので、運用(実施要領)で対応するのは如何なものかと思いません。
			31	大洲市	山鳥坂ダムの建設について、ダムサイトの建設場所が約400m上流となりました。地すべり対策による事業費や工期の観点から建設位置が変わったとの事ですが、以前から、山鳥坂ダムの完成時期は延長、延長となっている印象があります。 現在進められている堤防整備や河道整備については、山鳥坂ダムの完成があって初めて最大限に効果を発揮するものだと伺っておりますので、情勢の変化など、今後も支障となる事が発生すると思いますが、流域住民の安全・安心のためにもなるべく早い段階での完成をお願いします。
			32	大洲市	大洲に生まれ育って何度も水害を見てきました。 山鳥坂ダム建設は、治水対策のため必要だと思います。
			33	内子町	地権者のためにも、早くダムを完成させてほしい。
			34	大洲市	山鳥坂ダムの計画からずいぶんな時間が経っている。 ダムはいつ頃から稼働するようになるのかよくわからない。 気候変動も激しいので、治水のためにも工事は急いでほしい。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
6	ダムの整備・管理	山鳥坂ダムに関する意見	35	大洲市	<p>2032年にダム完成予定となっておりますが、まだ10年先です。 この先、10年の間に3年前の西日本豪雨災害以上の災害がくるかもしれません。 鹿野川ダムの改造も完成し、既存のダムで対応できるのであれば、山鳥坂ダムを造る必要はないのでは？ このダムは洪水調節と流水の正常な機能の維持が主な目的らしいのですが、鹿野川・野村の両ダムでは洪水調節、流水の正常な機能の維持ができませんのでしょうか？</p>
			36	大洲市	<p>何度も水害を見てきた。 他県で発生した水害は、堤防が決壊したことによりおこることが多い。 肱川流域で堤防が決壊していないということは、長年堤防整備をして頂いてきたからだありがたいと思っている。 肱川の水害を防ぐ方法の中でダムの建設が一番効果があるとするならば、ダムの建設実現に向けてあらゆる方面からお力添えを頂きたいと思う。</p>
			37	大洲市	<p>山鳥坂ダム 山鳥坂ダムにおいては、これまでのボーリング調査により、ダムサイトの右岸側下流部に「ゆるみ岩盤」と推測した箇所が存在していたが、「高品質ボーリング」等を実施した結果、大規模な地すべりであることが判明し、上流サイトへ計画を見直したということですが、通常の「ボーリング調査」と「高品質ボーリング調査」の違いが理解できない住民は、なぜ今更ダムサイトの位置の変更があるの？など疑問を持ち、ダムの必要性は承知しているものの不信感を感じてしまいます。 工事費・完成時期等の問題もあると思いますが、専門家ではない住民に理解しやすい説明をお願いします。</p>
			38	大洲市	<p>さらには、気候変動による影響や危険度などをわかりやすく示し住民の防災意識を高める取り組みを国・県・市・町・住民が一体となって実施することが大切であります。 河床勾配が緩く、下流域は両岸に山が迫り狭隘な地形で洪水の流れにくい肱川の治水安全度向上のためには堤防整備等に加えて洪水貯留が不可欠となり、現在建設に取り組んでいる山鳥坂ダムも遊水機能の一部を代替えるものとして必要なものであります。 肱川沿岸でこれからも安心して暮らせられるように「肱川緊急治水対策」に基づく堤防整備やダム建設の早期実施をのぞんでおります。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
6	ダムの 整備・管理	山鳥坂ダムに 関する意見	39	大洲市	肱川水系河川整備計画【中下流圏域】(変更原案)に対する意見 山鳥坂ダム建設費は、470億円の増により、便益比が悪化し事業効果はなくなる。 現在の便益比は、(1065億円÷845億円=1.26)1.3と算出されている。 便益比が、(1787億円÷1430億円=1.24)1.2と算出されている。 建設地基礎岩盤の問題でダム建設地を400m上流に変更ことにより便益が増加することはない と思われる。便益は0.8程度になり費用対にする効果は無いものと思います。
			40	その他 愛媛県 内	山鳥坂ダム工事事業は市民の安全(治水)、川の環境を守る為にも絶対必要な事業だと思いま す。
			41	大洲市	大洲市の地形から河川氾濫という課題には向き合う必要があるため、山鳥坂ダムの建設は必 要であると考えられる。今後も大洲市の安全安心な暮らしのためにも事業を進めてほしいと考 えている。
			42	大洲市	NHKでダム情報を見る。鹿野川ダムの貯水率が低いが、下流の河川には影響がないように見 える。これで山鳥坂ダムが本当に必要なのか。
			43	大洲市	・上流サイトへの変更で、850億円が1320億円になっている。主な要因は地すべり対策である と考えている。総貯水量は2割ほど減らしており、ダムの規模としては縮小している。集水面積 も小さくなっている。コストの積算に問題がある。 ・現行計画の便益が1.13、今回の便益が1.2。680億円も便益が増えている。なぜ便益が増 えるのか。
			44	大洲市	山鳥坂ダムは中止すべき。堤防も必要であるが、河床の掘削も必要である。
			45	西予市	山鳥坂ダムについて、貯水量が290万m ³ 減って工事費も増える。完成も6年遅れる。地元 の方も地すべりが問題だと言っていた。ダムに頼らずに、河道掘削をすべき。
			46	大洲市	山鳥坂ダムは今年で40年予備調査からかかっている。元は水不足のためのダムであった。途 中で洪水調節が入った。山鳥坂ダムを作って肱川本流にどれだけ洪水調節効果があるのか。千 数百億円かけてやるダムなのか。付け替え工事を完成させて、ダムはいったん中止してはどうか。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見																
6	ダムの整備・管理	山鳥坂ダムに関する意見	47	大洲市	山鳥坂ダムの便益が1.2ということであるが、6年間完成が遅れて何がよいことがあるのか。事業費が470億円増加し、6年間遅れで当初より400億円便益が増える。何かおかしのではないか。																
			48	大洲市	地質が悪いのはもともと分かっていたことである。400m動かしただけで大丈夫なのか。																
			49	大洲市	山鳥坂ダムは多目的であったが、松山市が利水から撤退し、多目的ダムではなくなった。当時は天端が17m高い位置にあった。山鳥坂ダムは中止した方がよい																
			50	大洲市	山鳥坂ダム建設地基礎岩盤の地すべりなどの課題とダムの異常な大きさ山鳥坂ダムは重力式コンクリートダム、貯水池からの水圧をダム(コンクリート)の重量で支える形式のダムの為、ダムの重量を支えるのに十分な基礎岩盤上に建設することが原則。 建設に十分な基礎岩盤と判断するのは、慎重さにかけている。 今後今回のような問題が発生すれば、もっと深刻な問題になる。(ダムの決壊等) 総貯水量は鹿野川ダムの45%しか無いのに山鳥坂ダムの提体積は、約68万m ³ 、鹿野川ダムの4倍、(コンクリート等の量が4倍)山鳥坂ダムの高さ96m、鹿野川ダムの1.6倍																
			51	大洲市	<p>総事業費増により、便益(事業効果)が無くなる便益は、6年完成が遅れても変わらないものとするれば便益比は $1105 \div 1320 = 0.84$ で1以下となる。山鳥坂ダム建設は、便益(事業効果)の無い事業となる。(便益とは、洪水調節による便益及び、流水の正常な機能の維持・増進による便益)</p> <p>完成が6年遅れ、便益(事業効果)が、1105億円から1584億円に増加し変更後の便益比を1.2としているのは理解できない。(総事業費が470億円増加し、便益比が、0.1しか下がらないと算出している。)</p> <p>(参考)</p> <table border="0"> <tr> <td>現在の便益比(事業効果)</td> <td></td> <td>変更後の便益比(事業効果)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>当初便益(事業効果)</td> <td>1105億円</td> <td>変更後便益(事業効果)</td> <td>1584億円</td> </tr> <tr> <td>当初総事業費</td> <td>850億円</td> <td>変更後総事業費</td> <td>1320億円</td> </tr> <tr> <td>当初便益比</td> <td>1.3</td> <td>変更後便益比</td> <td>1.2</td> </tr> </table>	現在の便益比(事業効果)		変更後の便益比(事業効果)		当初便益(事業効果)	1105億円	変更後便益(事業効果)	1584億円	当初総事業費	850億円	変更後総事業費	1320億円	当初便益比	1.3	変更後便益比	1.2
現在の便益比(事業効果)		変更後の便益比(事業効果)																			
当初便益(事業効果)	1105億円	変更後便益(事業効果)	1584億円																		
当初総事業費	850億円	変更後総事業費	1320億円																		
当初便益比	1.3	変更後便益比	1.2																		

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
6	ダムの 整備・管理	山鳥坂ダムに 関する意見	52	大洲市	<p>山鳥坂ダムの推進について</p> <p>肱川流域の洪水は、大洲盆地に集まりやすく、勾配も緩く流れにくい。さらに、河口部は山脚が迫りはけにくい。このため、洪水を堤防だけで処理することには限界があると思います。また、川底を掘ることも考えられるが過度な掘削は再び土砂が堆積し効果が失われる可能性が高い。そして、水中部の掘削は現在の豊かな河川環境を激変させ悪化させる要因になりかねないと考えます。</p> <p>このため、水害を軽減するためには、堤防を速やかに整備して、ダムで洪水を調節し下流への洪水量を減らすしかないと思います。</p> <p>今回の整備計画にも流域治水の取り組みとして、田んぼダムや遊水地の検討がされるとあるが、有益な方法であるかもしれないが候補地も決まらず地元調整も必要であるため時間がかかると思います。</p> <p>このため、洪水量を減らす即効性がある対策は、既設の野村ダムの改良や地元調整が完了し工事に着手している山鳥坂ダムの早期完成しかないと考えます。</p> <p>山鳥坂ダムについては、批判的な意見の報道があるが、30年以上にわたり必要性を巡る議論を続け、民意を重ね、既に結論が得られており、今更疑う余地はありません。</p> <p>12月下旬に山鳥坂ダムの建設位置が地質調査の結果、少し上流へ移り、事業費が増加するとともに、完成年度も令和8年度から令和14年度に遅れることが公表された。非常に残念であるが、位置を移さずに建設した場合は、事業費、工期とも大幅に増加、延伸する計画変更は止むを得ないとする。国にはコストの縮減、特に工期短縮に努めていただき、一日も早く山鳥坂ダムを完成させ堤防強化も併せて進めて欲しい。</p> <p>公表された整備計画の変更原案には、山鳥坂ダムの計画の変更も盛り込まれており今回の変更計画に賛同します。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
6	ダムの 整備・管理	野村ダムに 関する意見	53	内子町	野村ダムでは肱川水系治水協定の締結や新たな放流設備の設置などで有効活用が計画されているようで、少しでも洪水被害が軽減されるよう防災減災に向けた事業を推進してほしい。
			54	大洲市	鹿野川ダムのように、事前放流で確保した洪水調節容量を増やすことのできる野村ダム改良事業を早期に進めて欲しい。
			55	大洲市	野村ダムの改造についても早期に実現し、洪水調節機能の強化を図ってください。
			56	大洲市	野村ダムの治水容量を大きくする事は、大変重要な対策であり、早急に対応していただきたい。
			57	西予市	野村ダムの改良事業を推進してほしい。
			58	大洲市	また、野村ダムの改良を早急に実施し、洪水調節能力を向上させることで、少しでも洪水被害を軽減するように事業を推進して欲しい
			59	内子町	野村ダムの有効活用が計画されているので、少しでも洪水被害を軽減するように事業を推進して欲しい
			60	内子町	野村ダムの改良を早急に実施し、洪水調節能力を向上させることで、少しでも洪水被害を軽減するように事業を推進して欲しい。
			61	その他 愛媛県 内	野村ダムでは、利用者の協力のもと事前放流の協定を結んだようであるが、この容量を効率よく活用するには、洪水調節能力を向上させることが不可欠。少しでも早く改良事業を推進して欲しい
			62	大洲市	東大洲等の暫定堤防や菅田など無堤部を、堤防で締め切るためには、築堤や河道堀削などの河道整備と併せてダムによる洪水貯留が必要である。野村ダムの改良は遊水機能の一部を代替えるものとして必要だ。
			63	その他 愛媛県 内	平成30年7月豪雨では、野村ダムの治水容量が不足したのは事実である。野村ダムの整備について、野村ダムの治水容量を大きくすることは急務であり直ちに必要な対策を実施するべきである。
64	内子町	大雨が予想される時には、事前放流(予備放流)をして、出来るだけ本流の水位が上がらないようにして下さい。			

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
6	ダムの 整備・管理	野村ダムに 関する意見	65	大洲市	野村ダム改良事業について 増設放流設備の設置により洪水調節容量を増やすことは、周辺住民にとっては大変喜ばしいことであるがイメージ図を見るとゲート1基で取り口部分の遮水はどのようになっているのでしょうか。鹿野川ダム洪水吐における破断事故の教訓が生かされているか不安であるがいかがでしょうか
			66	大洲市	【野村ダムの新たな放流施設について】 新たな放流施設がなければ、野村ダムの構造上、十分に事前放流ができないかのような説明であるが、野村ダムに新たな放流施設は不要である。 クレストゲート軒高は157.9メートルであり、他のダムのクレストゲートと比べて、洪水時高水位まで12メートルもある。水位が162メートルになれば、ゲート軒高から4メートルもあるので、毎秒700トン、1000トンを十分に流すことができる。水位が164メートルになればなおさらである。 国の説明において、今の野村ダムの構造では「水位が162メートルの際に毎秒何トンまでしか放流できない。」とか、「水位が164メートルの際に毎秒何トンまでしか放流できない。」という具体的な説明がなされていない。具体的に説明すれば不必要な工事であることが明らかになるからであろう。
			67	西予市	今回の変更原案についての質問 野村ダム再開発の前に、貯水池の掘削などで洪水調節能力を上げる見当がなされていたと思われるが、どうなったのか。
			68	西予市	流域治水の考え方においては、ダムが破綻したとき、堤防や護岸を水が越えた時をイメージして、住民の生命保護を考える。そう考えると、野村ダムの再開発は、ダムの破綻レベルを上げて考えざるを得ず、住民の安全を考えるうえでのメリットは無いのではないかと。
			69	西予市	野村ダムと鹿野川ダムは連携して操作する必要があるが、緊急放流時は下流のダムにより負担をかけざるを得ないこともあり、野村ダムの洪水調節能力を上げる意味はあまり無いのではないかと。鹿野川ダムまでの野村ダム下流の治水効果を考えると、野村ダム再開発への投資は過大とならないかと。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
6	ダムの 整備・管理	野村ダムに 関する意見	70	西予市	放流能力を上げるより、河道の流下能力を上げ、避難しやすい街づくりを行うことを要望する。
			71	西予市	今回の事前放流をするために新たな250トンの追加設備で、既存のコンジットゲートと合わせて500トンが事前に流れることになるが、下流の大洲市は被害が出ないのか。
			72	大洲市	野村ダムの改良工事を早期に進め、計画通りに洪水調整機能の増加を図ってほしい。 また、野村ダム・鹿野川ダムの操作規則の変更、連携を強化し、想定外の豪雨にも対応できるようにお願いしたい。
			73	大洲市	2つ目は、野村ダムの洪水調節容量についてですが、治水協定によりこの容量が増えたことは大変評価できることだと思います。しかし近年の大規模洪水に対応するには十分とは言えません。洪水が頻発する梅雨期限定で、施設機能の全てを治水目的に使用できるようにしてほしいと思います。私の親戚は、吉田町の大規模なみかん農家ですが、平成30年豪雨で被災しています。利水者の理解も得られるのではないのでしょうか？
			74	西予市	野村ダムの改良については、メリットもあると思うが、現状でもゲートフルオープンで2500m ³ /s放流できる。洪水吐を作ると、さらに放流量が増える。下流の河道は1,000m ³ /s～1,100m ³ /sくらい。この差をどうしようとしているのか教えて欲しい。
			75	西予市	野村ダム改良によるトンネルから流す水量はどの程度なのか。
			76	西予市	どれくらいの放流設備を作るのか。
			77	西予市	・洪水吐について質問がある。洪水吐は出水期間と工事期間が交わるところが危険。緊急放流に至る可能性がある。緊急放流の場合、野村の川は1,300m ³ /sで持つのか。 ・ダム本体に穴を開けると、ダムが弱くなる。南海トラフの地震と重なったときに安全性は問題ないか。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
6	ダムの整備・管理	野村ダムに関する意見	78	大洲市	<ul style="list-style-type: none"> ・流下能力が足りないため、改造をするということであるが、緊急操作で1,700m³/sを流したのになぜ足りないのか。クレストゲートの敷高は157.9m、既設コンジットゲートの敷高はさらに低い位置EL136.6mにあり、事前放流水位は160.2mであり、今の施設でも放流できるのではないかと。 ・H30.7豪雨と同規模の洪水は2,000m³/sの水が入ってくる。今回、250m³/sと1割くらいだが、それで効果が出るのか。
			79	西予市	<ul style="list-style-type: none"> ・事前放流のタイミング、どのように761万m³確保するのか教えて欲しい。気象予測に基づくことの危険性をどう考えているのか。 ・1,000m³/sではなく、1,100m³/sでも少ししか被害が出ないなら、1,000m³/sで切ってしまうわずに、1,100m³/sにして欲しい。 ・洪水初期では流入量よりも多く放流しても良いのではないかと。
			80	大洲市	<p>これまで鹿野川ダム本体の洪水調節について最大洪水5000トン(毎秒・大洲地点)の時約70センチとして説明されてきたようである。では、野村ダムではではほぼ何センチ水位を下げ、放流設備ができるとどれだけ水位を下げる効果があるのか分かりやすい説明も必要だろう。</p>
			81	西予市	<p>野村ダムの改良事業については、計画そのものがよくわからないまま進み、昨年にはECIという技術提案・交渉方式でやることが発表された。全国初適用だという。野村ダムが事前放流をするには今あるゲートより下に新たなゲートが必要だというのが、地元の住民に細やかな説明は無い。その運用がどの様な効果を発揮し、効果が数字でどれくらい出ているのか、緊急放流時はどの様な放流能力になるのか、国から住民に説明してほしい。既存のゲートとの操作はどうなるのか、河川の環境に影響は無いのか、山鳥坂ダムが完成すると3つのダムが緊急放流をするような異常洪水が生じるのか、野村ダムが契機ともなるのか。又、ダム再開発の前に貯水池の掘削等の検討はどうなったのか。治水の安全を守る為にはどんなやり方があるのか、もう1度安全度を高めていく取り組みをしてほしい。</p>
			82	西予市	<p>コロナ禍で説明会に行きたくても行けなかった人が大勢いたので、収束してきたころにもう一度野村ダム改良について説明をして欲しい。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
6	ダムの整備・管理	鹿野川ダムに関する意見	83	内子町	鹿野川ダムの予備放流水位は76.3mとなっているが、もっと下げて、治水容量を多く確保すべきであり早急に対応して欲しい。

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
6	ダムの整備・管理	ダム操作に関する意見	84	大洲市	私の勤める会社は、菅田地区にあります。 愛媛県により築堤事業が進められているが、暫定堤防が目の前に有り今後の水害について不安を消す事ができない。 ダムを管理する国土交通省の方々にはより安全な操作ルールを検討して頂きたいと思います。
			85	内子町	但し、ダムの在り方については、利水ダムよりも治水ダムとしての機能を最優先にしたダムの操作規則の制定をお願いします。例えば、利水容量を下げるダム放流操作について、事前放流の開始基準とされる基準降雨量の値を下げる等の、許容量のある対策を講じ、絶対に異常洪水時の防災対策操作を取らなくて済む程度の操作規則を整えて頂くことを要望します。
			86	伊予市	ダム管理に関して、野村ダム・鹿野川ダムの操作に関わる改善はなされたところであるが、引き続き、安全なダム操作を行うと共に、情報提供等適切に実施して欲しい。
			87	内子町	昨年の7月豪雨による被災は、ダムの緊急放流が原因の人災であると主張する人もいるが、野村ダム・鹿野川ダム完成前に比べると洪水被害に遭う頻度は減っている。早急な堤防等の整備と併せて、下流河川の整備状況に応じた適切なダム操作を願う。
			88	西予市	操作規則では、クレストゲートとトンネルゲートの操作の切り替えや同時操作などによって、現在よりさらに危険な放流が行われることにならないか。より分かりにくく避難を迷わせ被害を大きくする緊急放流が行われる可能性があるのではないか。
			89	西予市	ダムの操作には、正確な気象予測と的確な事前放流が欠かせないが、気象予測の精度向上や、事前放流に向けた利害関係者との合意形成について、どのような具体策を講じているのか。
			90	西予市	ダム改良によって操作規則も変更になると思うが、その開示もして欲しい。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
6	ダムの整備・管理	ダム操作に関する意見	91	大洲市	野村は最初は500m ³ /s放流であったが、H8に300m ³ /s放流に改定された。H30.7豪雨でまた改定されたが300m ³ /sのままである。500m ³ /sにできないのか。

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
6	ダムの整備・管理	ダム全体に関する意見	92	大洲市	山鳥坂ダム建設を推進し早期完成を肱川はありとあらゆる洪水防御が必要な河川、特にダム建設やダム改良のように時間のかかる事業こそ地道に進捗を図る必要がある。山鳥坂ダムの建設を地道に進める必要がある。 東大洲等の暫定堤防や菅田など無堤部を、締め切るためには、築堤や河道掘削などの河道整備と併せてダムによる洪水貯留が必要である。山鳥坂ダム建設や野村ダム改良は菅田の遊水地の機能の一部を代替えるものとして必要だ
			93	内子町	ダム建設に批判が多いが、「良かった部分」、現実には、平成30年7月洪水での貯水効果での被害軽減、土砂や流木を防ぎ被害を防いだ事は明確である。 批判ばかりでなく、ダムによる防災効果を広報すべき。 山鳥坂ダム工事に賛成。
			94	内子町	ダムは、下流の河川水位を低下させるので、小田川や支流の水位も低下すると考える。 ダムの流量調整により、ダム下流の内水による被害も水位低下により軽減すると考えられるため。 ダムは必要である。 山鳥坂ダム建設を推進し早期完成
			95	大洲市	ダムは下流の河川水位を低下させるので、小田川や矢落川等の支流の水位も低下すると思う。また、河川水位が低下すると水門等の閉鎖時間が短くなり、内水による被害も軽減すると考えられるので、ダムは必要である。 大洲市の安心・安全を確保するため、堤防整備や河道掘削などの治水対策はもちろん重要であるが、堤防が決壊した場合の危険性や被害を考えると、ダムによる河川水位の低減は有効である。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
6	ダムの 整備・管理	ダム全体に 関する意見	96	内子町	洪水被害を軽減させるためにも、山鳥坂ダム建設や野村ダム改良を早急に実施してほしい。
			97	内子町	肱川の支流では、本流の水位が高くなると水はけが悪くなり浸水被害が出るのではないかと心配です。山鳥坂ダムの建設や野村ダムの改造を早く行ってください。
			98	大洲市	山鳥坂ダムが完成しても、肱川の治水対策が終了とは思っていない。まだ、々、ダムを建設すべきだと思う。
			99	大洲市	併せて野村ダムの改良・山鳥坂ダム建設の早期完成を目指し事業推進を行って貰いたい。
			100	大洲市	肱川緊急治対策等により短期集中的に堤防整備や河道掘削が目に見えて進んでおり大変心強く感じている。目標流量を早期に確保するためにも、1日も早い山鳥坂ダムの完成、野村ダムの改造を望んでいる。
			101	大洲市	肱川の治水は、堤防整備を実施し鹿野川ダム、野村ダム、山鳥坂ダムの3ダムでの洪水調査が一番効果的であると思いますので、山鳥坂ダムの早期完成をお願いするとともに、野村ダム改良事業の早期実施をお願いします。
			102	内子町	野村ダムの改良、山鳥坂ダム建設は、異常気象と言われる昨今において、治水対策の側面から必要だと思えます。
			103	その他 愛媛県 内	平成30年7月洪水では、鹿野川ダム、野村ダムであれだけ貯めて一定の貯留効果があったと思いますので、野村ダム改良、山鳥坂ダム建設等、講ずべき対策を早急に行なって欲しい。
			104	内子町	ダムに関する批判が多いが、ダムが無ければもっと多くの洪水や流木や土砂が流れ下り、被害を大きくしたと思う。 もっとダムの効果を県・市や町を通じて広報すればいいと思う。
			105	大洲市	山鳥坂ダム建設、野村ダム改良を早期完成し安心安全レベルの向上を強く望む。
			106	内子町	平成30年の災害を二度と起こさないようにダムの改良や山鳥坂ダムの完成を早くしてほしい。
107	大洲市	降った雨はなるべく地表に留めて置くように土地のある人は池を掘って、なるべく遅れて流すような案が出された。ダムはそれの公的な方法だと思えます。			

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
6	ダムの 整備・管理	ダム全体に 関する意見	108	その他 愛媛県 内	ダムに関する批判が多いが、ダムが無ければもっと多くの洪水や流木や土砂が流れ下り、被害を大きくした事は明らか。もっとダムの効用を広報すべき。
			109	内子町	平成30年7月洪水では、鹿野川ダム、野村ダムであれたけ貯めたのだから一定の貯留効果があったと思います。山鳥坂ダム建設や野村ダム改良等講ずるべき対策を早急に行って欲しい。
			110	内子町	ダムに関する批判が多いが平成30年7月洪水ではダムの洪水貯留で被害が軽減された事は明らか。批判ばかり目つくがもっとダムの効用を広報すべき。
			111	大洲市	今までのダムの機能としては、治水(治水調整)や利水(上水、かんがい用水、発電)及び、河川環境等の役目を担っているが、鹿野川ダムの洪水吐ができ、概ね10年後(令和10年)には、野村ダムの改良及び、山鳥坂ダムの完成が見込まれている。 今後において、3ダムでの操作規則の変更や、それぞれのダム機能を活かし、肱川の洪水被害の軽減を最優先に考え対応してほしい。
			112	大洲市	肱川の河川整備(築堤、堤防の嵩上げ、河道掘削)は、肱川の治水安全度の向上には重要であるり、肱川流域に降った雨を河口まで流下させるものである。 また、ダムの機能としては、急な気象の変化による大雨等に対して、河道を流れる洪水流量を調整することができるため、下流の河川水位の急上昇ををある程度抑えるため、3ダムでの放流操作には大いに期待している。
			113	大洲市	鹿野川ダムも含めダムがあった方が本当に良いのかどうか、正直よくわからない。 ダムがあれば洪水や水害が起きないという保証がほしい。
			114	大洲市	鹿野川ダムのトンネル洪水吐ができて良かったと思う。 上流にダムができて洪水が起きるとするなら、ダムを造らず自然に任せても良いのではないかと思う。
			115	大洲市	ダムがあまり身近に感じられない。 ダムを積極的にアピールしても良いと思う。 地域経済に寄与する上でも、道の駅等でダムカレーなどを企画してみてはどうか。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
6	ダムの整備・管理	ダム全体に関する意見	116	その他愛媛県内	河川で洪水を安全に流すことはもちろんですが、それでもそれ以上の洪水が来ることが十分に予想されている現在、やはり、流域に水をためることも必要であると思います。流域全体で保水を高める流域治水や山鳥坂ダムや野村ダムの改造を早く完成させ、鹿野川ダム、野村ダム、山鳥坂ダムの3ダムを有効に活用することが必要だと思います。
			117	大洲市	進みが遅いと思う。 ダム完成の実現に向けて頑張ってもらいたい。
			118	大洲市	<p>現行の整備計画及び今回の(変更原案)については、平成30年の西日本豪雨災害の被災状況などを検証した、とされるが、その検証は、ダム直下における八名の犠牲者の死因と真摯に向き合った検証とは言い難い。</p> <p>真因は、想定を超える雨量の流入量に、通常の放流では追いつかず、満水を待たずに、緊急放流(異常洪水時安全操作)を行った結果、爆弾放流とも、ダム津波とも、称される、衝撃波的激流を短時間に発生させ、異常な洪水を生じ、下流の橋や市街地を破壊し、人命を失ったのである。</p> <p>ダム管理者の安全操作は、ダムの安全を守るための緊急操作であった事。更に、同操作を行う事により、下流への影響がどれほどの被害が生じるか、専門官ならある程度想定できたはずであり、未必の故意の殺人・傷害・損害に相当する。</p> <p>また、緊急放送や避難誘導の遅れなど、地元自治体の無策や不作為などが、ダメ押しとなった。(肱川流域の住民が、ダムの安全を妄信したのも遠因である。)</p> <p>肱川は、上流域は比較的急峻な山間にあり、中下流にて曲折し、下流域に勾配が少ないなど、肱川固有の特質がある。(緊急放流は、他の河川でも頻発しているがダム直下や中下流の条件が、肱川流域と異なり、影響は相対的に小さい。)加えて、川沿いに、集落や市街地があるなど、極めて親水性の高い市民生活を享受している。これを前提に、住民の生命や財産と国土を守る治水治山の計画が必須であると考えます。(最悪でも、人命を損なう行政災害は回避すべきである。)</p> <p>異常気象が深刻化する昨今、西日本豪雨を超える線状降水帯や集中豪雨は、どこで発生してもおかしく無く、肱川固有の特質と、ダムの加害リスクを勘案しすみやかに、本(変更原案)のポイント③の山鳥坂ダム建設の停止すること。同ポイント④野村ダム改良工事の一旦中止すること。併せて、野村ダム及び鹿野川ダムの耐越流工事の計画と早期の実施を求めます。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
6	ダムの整備・管理	ダム全体に関する意見	119	大洲市	<p>肱川水系河川整備計画(変更原案)については、平成30年の西日本豪雨災害の被災状況などの検証は、ダム直下における八名の犠牲者の死因と真摯に向き合った内容になっておらず、正しく検証されたとは言い難い。</p> <p>真因は、想定を超える雨量の流入量に、通常の放流では追い付かず、満水を待てず、緊急放流(異常洪水時安全操作)を行った結果、ダム津波とも称される異常な洪水を生じせしめ、下流の橋や市街地を破壊し、人命を失ったのである。</p> <p>更に、緊急放送や避難誘導の遅れなど、地元自治体の無策や不作為などが、深刻な被害をもたらした(肱川流域の住民のダム神話を妄信したのも遠因である。)</p> <p>肱川は、上流域は比較的急峻な山間にあり、中下流にて曲折し、下流域に勾配が少ないなど、肱川固有の特質がある。(緊急放流は、他の河川でも頻発しているがダム直下や中下流の条件が、肱川流域と異なり、影響は相対的に小さい。)</p> <p>加えて、川沿いに、集落や市街地があるなど、極めて親水性の高い市民生活を享受している。これらを前提に、肱川流域の住民の生命や財産と国土を守る治水や治山を含むいわゆる、広域・高次元の流域治水の計画策定が必須であると考えます。</p> <p>異常気象が深刻化する昨今、西日本豪雨を超える線状降水帯や集中豪雨など、どこで発生してもおかしく無い、状況下。急がれるのは、肱川流域固有の特性と、ダムの危険性を考慮して現行整備計画中の河川河道の整備と築堤工事進捗状況を更に推進し、新たに、山鳥坂ダムの意義・目的を精査し、再考することを求めます。自然環境や流域市民の将来を含むダムの功罪と、ダム建設にかかる、公正な事業費と便益の算出、その結果を尊重し、中止の場合現地域の保全と愛媛県立山鳥坂自然公園への転換を図ることを求めます。</p>
			120	大洲市	<p>今回の河川整備計画(変更原案)にある野村ダム改造、山鳥坂ダム建設を早急に完成して下さい。</p>
			121	西予市	<p>新設される山鳥坂ダムと相まって、3ダムが緊急放流するような異常洪水が生じた場合は、さらに下流を危険に陥れることになるのではないかと。野村だけでなく、野村の緊急放流が契機ともなって、大洲などの下流の集落・市街地に大きな被害を及ぼす可能性があるのではないかと。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
6	ダムの 整備・管理	ダム全体に関 する意見	122	西予市	西日本豪雨では、全国でも肱川の2ダムの洪水調節能力の不足が指摘されているが、広い貯水池を形成しにくい肱川の特徴的な地形によるところが大きい。このままでは限界が見えている。自然に逆らうダムに依存した治水から転換する方法は考えてないのか。
			123	西予市	野村ダム改造で治水能力が向上するのは良いこと。しかし、事前放流と予備放流で何が違うのかネットで調べると、予備放流容量はダム計画における治水容量にふくまれるとあり、事前放流により確保される容量はダム計画における治水容量にふくまれないとある。鹿野川ダムは予備放流方式、山鳥坂ダムも予備放流方式に変更を計画しているのに、治水容量を野村ダムもダム計画にふくまれない事前放流方式を採用するのではなく、ダム計画にふくまれる予備放流方式にして、確実な治水対応をお願いしたい。
			124	大洲市	平成30年豪雨の後に肱川ダム統管理事務所をいまさら作るのか。ダムを2つも管理できないのに、3つも管理できるのか。もう一回立ち止まって考えてほしい。所長も何回も変わっている。
			125	大洲市	緊急放流のとき、畑の前橋で50cmくらいの段差がきた。緊急放流によるダム津波であった。これはダムをもっていることのリスクであり、避けて通れない。緊急放流はダムの安全を守る操作であって人命を守るための操作ではない。ダムには限界があるということ。山鳥坂ダムのB/Cについて、こういったリスクが考慮されているのか。越流で壊れたダムは今までにない。ダムは越水に耐えられる改良だけで十分。その他の費用は河川整備に使うことがいいと考える
			126	大洲市	原案(「安」と記載あるが、文脈から推測)③山鳥坂ダム。令和4年2月2日AM5時NHKダム情報 鹿野川ダム14.1% 海拔70m32cm 野村ダム92%、2つのダム操作で手いっぱい 3つになり大丈夫ですか、あまり必要ないのでは。
			127	大洲市	山鳥坂ダム建設事業の即時停止と野村ダム改良事業の一時中止を求めます。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
7	堤防の 浸透対策	浸透対策の 推進	1	内子町	また堤防は洪水時に大丈夫なのか、決壊することはないのか、不安です。 十分な堤防補強も実施してもらいたい。
			2	大洲市	堤防の補強対策は是非進めてもらいたい。
			3	大洲市	JR肱川橋梁下流右岸側(肱川区)については、以前より堤防漏水が懸念されている。 対策済み区間についても、堤防点検を早急に行い、堤防漏水対策を実施してほしい。
			4	大洲市	私は、惣瀬地区に住む50代ですが、記憶を辿りましても平成30年7月豪雨災害において、はじめて地区の県道一部冠水を目の当たりにしたことから、整備の進捗を懸念していましたが、現在は堤防整備が完了し、家族ともども一安心しています。 今回の変更原案におかれましては、その完成堤について点検を行い必要に応じて浸水対策等を実施すると示されている事から、引き続き整備計画の推進に期待するものであります。
			5	大洲市	私が住んでいる中村地区では、肱川が増水すると堤防から漏水し、堤防近くの家では床下浸水が発生している。市役所がポンプ排水をしてくれているが、根本的な解決となっていません。 このため、今回の整備計画の変更で、堤防の補強対策を行うことが記載されることは、大変ありがたいと感じている。 対岸の中島地区では、堤防漏水により建物が倒れる被害をでており、古い堤防の近くで住むのは不安です。 新しく堤防を造ることも大事ですが、古い堤防の補強をしっかりと行い、安心して暮らせるようにしてほしい。
			6	大洲市	近年、台風や豪雨による堤防決壊の災害が増えてきているように思える。堤防が、決壊しないためにも、堤防の定期的な点検を行い、必要に応じて堤防を強化して欲しい。
			7	大洲市	また、堤防の補強対策を実施する旨の方針が位置付けられたことは、大変ありがたいと感じている。 市内の堤防は、古いものがあると聞いており、実際、平成30年7月洪水時に肱南の中島地区の堤防漏水により、建物が倒れる被害が生じている。 市内堤防の調査を早急に進めて、必要箇所の補強対策をどんどん行ってほしい。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
7	堤防の 浸透対策	浸透対策の 推進	8	大洲市	新堤の延伸・暫定堤防嵩上げに伴い、出水時水位の上昇・洪水時に水位の高い状態が長くなることは避けられないものと思われる。早急に堤防点検を行い、必要な対策の実施を望む。
			9	大洲市	整備が進む堤防ですが、締め切られた堤防の破堤による流域への被害は甚大なものと考えられるので、併せて堤防の強化対策もお願いしたい。
			10	大洲市	新堤の延伸・暫定堤防嵩上げに伴い、出水時水位の上昇・洪水時に水位の高い状態が長くなることは避けられないものと思われる。早急に堤防点検を行い、必要な対策の実施を望む。
			11	大洲市	肱川では、下流中流域で築堤事業が進んでいますが、大洲盆地内の老朽化した堤防は、出水時に漏水を地元消防団よりよく耳にします。築堤事業が進むと共に老朽化した堤防の状態が不安です。早い時期にできている堤防について、調査と補強工事を早急にお願ひします。
			12	大洲市	肱川の堤防が嵩上げされ、更に老朽箇所への補強対策が整備計画に位置付けられることは大変喜ばしいことであり、是非、積極的に進めていただきたいと思っています。
			13	大洲市	又、堤防については、漏水が見られる箇所もあるので補強を進めていただきたい。
			14	その他 愛媛県 内	ダム建設や改良も必要だが、下流域の堤防の設備強化を早期推進すべき。
			15	大洲市	東大洲付近の堤防は平成30年の災害時に危険だと感じた為、破堤を絶対にしないような堤防造りが必要だと思う。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
7	堤防の 浸透対策	浸透対策の 推進	16	大洲市	<p>日頃より、肱川水系の河川整備にご尽力いただき、感謝申し上げます。 今回の河川整備計画の変更について大きく分類して4つのポイントがありますが、私からは下記の2項目について、意見いたします。</p> <p>①平成30年の豪雨災害を受けて、現在肱川の堤防整備、河道整備などが進んでおり、令和5年度に完成予定であると伺っています。堤防整備が完了することは流域住民にとって大変喜ばしいことであると思います。しかし、新たな堤防が完成して、今まで中流域で溢れていた水を一気に下流まで流すことで、今まで影響の無かった既存の堤防に影響があるのではないかと危惧しております。</p> <p>この事から、4つのポイントにもある堤防の漏水箇所の調査・点検、強化のための対策工事を今後も積極的に進めて頂きますようお願いいたします。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
8	洪水時の 内水氾濫対策	内水対策の 推進	1	大洲市	また併せて内水対策についても実施してほしい。
			2	大洲市	肱川における堤防整備は、早急に行ってほしいが、内水対策については、排水ポンプ等の設置計画を速やかに行うべき。
			3	大洲市	H30.7月豪雨では、自宅が浸水被害にあった、堤防整備を進めると内水被害が増大することが容易に想定出来るので、内水対策の実施を計画すべきだと思う。早急をお願いしたい。
			4	大洲市	堤防整備により内水被害が大きくなると思われるため、内水対策計画の立案と実施をしてほしい。
			5	西予市	内水による浸水被害が頻繁に起きており、その対策が最優先と考える。
			6	大洲市	堤防整備、山鳥坂ダム建設が完成する事により、内水による冠水浸水箇所が増えると思われます。今の排水ポンプ車の数では対応できないと思われるので主な樋門に排水ポンプを常設してポンプ車の活動範囲を広げる様には。
			7	大洲市	堤防整備により内水被害は、増大すると思われます。堤防整備においては、肱川と内水と双方の安全対策が必要です。堤防で閉め切るだけでなく、内水の排水施設設置も検討して頂きたい。
			8	内子町	内水に対する対応についても、シュミレーション結果を公表するとともに対策が必要な箇所の検討し、周知することを望みます。
			9	大洲市	内水氾濫対策について記載のない他の堤防整備を行う全地区において、至急内水対策を決めて取り組んで欲しい
			10	伊予市	変更原案についての意見 P122 (3)洪水時の内水氾濫対策 関係 内水氾濫対策については、これから検討し、必要に応じて対策を実施するとなっておりますが、すでに内水氾濫解析は検討されているように推察します。もう少し踏み込んで、東大洲地区では堤防の完成に引き続き、令和●年までに●m ³ /sの排水機場を整備する。また、白滝地区では堤防の完成に引き続き、令和●年までに●m ³ /sの排水機場を整備する。と明記していただきたい。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
8	洪水時の 内水氾濫対策	内水対策の 推進	11	大洲市	現在、肱川沿線で堤防整備や川砂利の撤去工事が盛んに行われ確実に安全度が上がっていると思う。しかし整備が進み堤防が完成することで遊水池が締め切られる事により益々、肱川の水位が増すことで水門が閉ざされる時間が長くなり、内水による被害が今まで以上になること事が容易に考えられる。 今回の変更原案に内水被害が想定される箇所に排水ポンプ場の設置を取り入れるべきである。
			12	大洲市	本川だけでなく、支川の堤防かさ上げも実施して欲しい。堤防が完成すれば、内水による被害が心配になる。課題は多いと思うが、早期検討を願う。
			13	大洲市	肱川でおこっている災害は内水が原因での災害が多くみられる為肱川本流だけではなく支川の整備も国が進めていただきたい。
			14	大洲市	また豪雨の時に、内水氾濫もいつも心配であり、合わせて支川、内水対策も進めてもらいたい。
			15	-	現状宅地かさ上げの効果があると思うので、浸水の高リスクの高い地域は宅地かさ上げも検討すべき
			16	大洲市	至急内水対策に取り組んでほしいです。
			17	大洲市	堤防整備の進捗が原因で内水被害が増えると思うので内水対策も実施してもらいたい。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
8	洪水時の 内水氾濫対策	内水対策の 推進	18	大洲市	<p>内水対策について</p> <p>平成30年豪雨災害では、私の住んでいる下新谷地区では、矢落川の増水で樋門を閉じたことにより雨水が行き場をなくし、内水氾濫となり非難場所に通じる市道が冠水し2階への垂直避難を余儀なくされました。</p> <p>ただ、この件については、避難する旨の放送があったにもかかわらず、今までの経験上市道が冠水することはないであろうと自分が勝手に避難しなくても大丈夫！と考えてしまいました。実際には市道が冠水してしまい、避難所に避難することもできなくなり、自分で勝手に判断し避難しなかったことを反省しております。</p> <p>河川整備計画変更案に目を通すと、「東大洲地区(都谷川)、白滝地区(滝川)等において内水対策について検討し、対策を実施する。」との文言はありますが、具体的に、〇〇地区に排水ポンプが何基設置していたが、何基増設した等の具体的な文言が記載されておりません。さらに内水で被害を受けた地区はこの2箇所だけではないと思います。</p> <p>本計画にありますように、堤防等の整備による洪水対策が一番優先されることとは思いますが、内水氾濫へ対応策を具体的な数字で公表して頂きたいと思います。</p>
			19	大洲市	<p>また、内水被害を受けるものとしては堤防整備や河道掘削と共に排水機場の建設を具体的に計画に入れて頂き、並行して実施することにより浸水被害の無い安全・安心な肱川にして下さい。</p>
			20	大洲市	<p>(洪水時の内水氾濫対策について)</p> <p>現在東大洲地区をはじめとして、暫定堤防を完成堤防に整備いただいておりますが、これまでは肱川の洪水が各地区に流れ込み、甚大な被害が発生して来ました。その内の何割かは内水氾濫によるものです。すでに内水氾濫の検討が東大洲地区等では実施されているものと推察します。つきましては、その結果を今回の整備計画に明記していただきたいと思います。具体的には、堤防の完成に引き続き、令和〇年までに$0\text{m}^3/\text{s}$の排水機場を整備する。以上宜しくお願いいたします。</p>
			21	大洲市	<p>肱川水系河川整備計画に賛成しますが、堤防が完成するとともに、今後各地で内水被害が発生すると思われます。内水対策にも力を入れるよう要望します。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
8	洪水時の 内水氾濫対策	内水対策の 推進	22	大洲市	3つ目は、内水対策です。河道整備とダム放流能力が向上すれば、大雨時の初期段階から河道内の水位が高く維持されることが予測され、支流末の樋門が締められる時間が長くなることとなり、結果的に内水による被害が増大するおそれがありますので、これも含めた計画として欲しいです。
			23	大洲市	激特事業にて肱川本川の築堤や、暫定堤防の嵩上げに短期間で取り組まれており、沿川における低所部は、外水からの浸水被害が軽減され、治水安全度の向上が図られることとなりますが、樋門等で閉め切られる堤内地は、肱川本川に流れる支川からの流出も閉切られることとなるため、支川の氾濫により家屋の浸水被害が発生します。 特に、大きな洪水では、河道内の水位が高く、長時間となることが想定され、今まで以上に樋門の閉まる時間が長くなると考えられることから、支川の河川管理者においては、肱川本川を考慮した河川改修を検討していただきたい。
			24	大洲市	堤防及びダム建設が進んでいることにより、河川氾濫による大きな被害が軽減できることは期待できるが、内水による被害が増加することも考えられる。本川からの背水が理由で氾濫する地域も出てくる可能性があるため、被害を軽減する対策を今後進めていただきたい。
			25	大洲市	ダム放流により約1.1m潮位が上がっていた。想定最大規模(最悪ですネ)7月 8月 9月の満潮約海拔2m旧長浜地区では海拔2.5m 2.0m小潮との差は1mあり 大台、大雨 何もなくて満潮の時0.5mしかないのですよ 水位が上がれば 水門樋門が閉まり、生活用水、雨水は溜まり、やがて内水氾濫 国の排水ポンプ車出動。堤防の嵩上げなく内側にもしっかりと目を向けるべきでは 川の水位いかに速く下げる事を考えて下さい。早く海に放出すべきと思います！ (写真添付あり)
			26	大洲市	また、暫定堤防を嵩上げすることにより内水氾濫の危険性が高まるため、都谷川の内水対策として、排水機場の設置を早期に検討して頂きたい。
27	大洲市	堤防整備が進むと、内水被害が発生することも予想されるため、内水対策も進めてもらいたい。			

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
8	洪水時の 内水氾濫対策	白滝地区及び 東大洲地区の 内水対策	28	大洲市	<p>私の住居は市内徳森です。平成16年の水害で床下浸水、平成30年の水害では床上180cmの被害を受けました。毎年6～10月の間は、大雨が降るたびに水害の恐怖を感じています。現在肱川では堤防の嵩上げ、堆積土砂除去等さまざまな対策工事が行われており期待をしております。ただ私共の地域の浸水被害は、肱川本川の流路向上だけでは解決しません。それは原因が支川都谷川の内水によるものだからです。これを解決するためには、大規模な排水施設の早急な建設を求めるものであります。現在も排水ポンプ車による内水排除をされていますが、大きな効果はないように感じます。</p> <p>どうか早期の着工で、東大洲徳森地区の浸水被害が繰り返されないことを望みます。</p>
			29	大洲市	<p>都谷川樋門を閉めると、都谷川や茶屋川が溢れて徳森地区は水につかります。こうした小規模河川についても護岸を嵩上できないものでしょうか。</p> <p>都谷川は毎回最初に氾濫する箇所です。排水ポンプ車ではなく、常設の施設を整備した方がよいと思う。</p> <p>私が子供の頃は畑の前橋の下の河原で泳いでいましたが、いまはそうした光景は見られません。安全を確保したうえで、子供が水辺で遊べるような方法は考えられないか？</p>
			30	大洲市	<p>今回の河川整備変更原案では、私の住む白滝地区での内水対策の記載は「内水氾濫による被害は発生しているため、被害の状況に応じて対策を図る必要がある」と有るだけで何ら具体策も上がっていない。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
8	洪水時の内水氾濫対策	白滝地区及び東大洲地区の内水対策	31	大洲市	<p>私は肱川下流域に住む者です。現在肱川では、堤防の嵩上げを併せて河川の土砂・掘削が行われています。</p> <p>これにより肱川本流の流下能力は増し改善されました。このように広範囲にわたりしかも短期間に出来たことに驚いています。</p> <p>ただこのことで堤防内側の内水の問題はあまり改善されず、むしろ問題は増えるのではと思っています。</p> <p>特に東大洲地区や支流の河川沿いの土地は今でもすぐに冠水し被害がでており、いつも心配しています。</p> <p>現在この対策として東大洲ではポンプ車による排水(その他でも実施)がされています。今後、増●の検討等を含み、この内水問題を考えていただきたいと思う。</p>

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
8	洪水時の内水氾濫対策	内水氾濫のメカニズムの説明	32	大洲市	<p>ソフト対策</p> <p>整備計画変更案に関係ないかも知れませんが、ダム放流により内水氾濫が起こったと考えている住民もおります。ダム放流の仕方、洪水対策についての説明等はよく耳にしますが、内水についてのメカニズム等の分かりやすく説明を記載して頂きたいです。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
9	流域治水・ 気候変動の 取組	遊水地、放水 路等の検討	1	大洲市	加えて肱川流域では難しいとされる遊水地及び放水路を検討していただき、ぜひとも実現して頂きたいと思います。
			2	内子町	平成30年豪雨では小田川の水位は平成16年16号台風より水位は上がらなかったと記憶しているが、 下流では甚大な被害が出た。肱川河川整備計画(変更原案)では、小田川に対しての対策がなく、今回変更するのなら大きな影響を与える小田川に対しても何らかの治水対策が必要だと思う。
			3	内子町	肱川の支流になる小田川は流域面積も広く、また山間部を抱えているので降水量も多く、今まで肱川に大きな影響を及ぼして来ました。私案ではありますが、放水路トンネル(五十崎から長浜)建設など、小田川対策にも取り組むべきと考える。
			4	大洲市	肱川水系流域治水プロジェクトでの対策の中で、内水対策、水田貯留、森林整備等を挙げられていますが、「遊水池整備」は考えられていないのでしょうか？素人考えで申し訳ないですが、肱川の状況から考えると、一番現実的で効果も大きいと思います。
			5	大洲市	堤防、治水対策について 美しい肱川の景観を損なわない堤防整備に努めていただいていると思います。 過去の教訓により予想される水害に備えて堤防による高さを確保しても、それ以上の想定外の水害がくることも否定出来ません。 こちらを高くすれば、その分低くなったところに水が流れます。 大洲市には沈下橋があったり、遊水池と呼ばれていた土地が多くありました。 今ではその遊水池が住宅地になっています。 先の水害で被害が大きかったのは、過去に遊水池として認識されていた場所です。 堤防等の治水対策により被害にあった場所の被害を防ぐのかもしれませんが、しかし繰り返しになりますが、逃げた水は他の場所に流れるのではないかと想像します。 大洲市は水害に弱い土地です。水が流れる場所の特定をして、高台等に住宅地等を整備、移転する等の大規模な計画が必要だと思っています。遊水池計画を提案します。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
9	流域治水・ 気候変動の 取組	遊水地、放水 路等の検討	6	内子町	また、今回の整備計画に支流である小田川についての言及が見られない。H30年7月豪雨では小田川の影響は少なかったみたいだが、気候変動に伴う被害を想定し、洪水調節施設の無い小田川に対するケアも今後は必要ではないでしょうか？小田川全体の河道整備も同時に推進するとともに五十崎地区を遊水地として検討するなど、肱川本流だけでなく、影響を与える小田川についても国の直轄化とすることも視野に入れ、河川整備計画に盛り込んで欲しい。
			7	大洲市	私は、河道だけでは限界を感じているため、上流で、何らかの方法で流量をカットするしかない考えで、現行の河川整備計画には賛同である。しかし、これからの目標流量の嵩上げには、上流でのカットする方策として、新規ダム、遊水地、放水路などが考えられるが、いずれも大きな課題があり、難しいと思うが、将来に渡り安心して流域に暮らせていけるよう、様々な関係者の英知を結集して、策を講じていただきたい。期待しています。
			8	大洲市	<p>一方で、近年の豪雨災害は温暖化や気候変動による影響を受けているといわれており、この肱川流域でも平成30年7月豪雨以上の洪水がいつ襲ってくるとも限りません。このような大規模な洪水に対応するためには、現在実施中の「肱川緊急治水対策」だけでは肱川流域の安全は確保されず、子供達のための明るい未来は到底描けません。</p> <p>気候変動を踏まえた治水対策として、今までの計画にこだわらず、新たな技術を含めあらゆる手だて(遊水地・ダム・放水路など)を検討し実施するとともに、次世代のための長期ビジョンを早急に示すことが必要であります。さらには、気候変動による影響や危険度などをわかりやすく示し住民の防災意識を高める取り組みを国・県・市・町・住民が一体となって実施することが大切であります。</p> <p>河床勾配が緩く、下流域は両岸に山が迫り狭隘な地形で洪水の流れにくい肱川の治水安全度向上のためには堤防整備等に加えて洪水貯留が不可欠となり、現在建設に取り組んでいる山鳥坂ダムも遊水機能の一部を代替えるものとして必要なものであります。</p> <p>肱川沿岸でこれからも安心して暮らせられるように「肱川緊急治水対策」に基づく堤防整備やダム建設の早期実施をのぞんでおります。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
9	流域治水・ 気候変動の 取組	森林や 田んぼダムの 活用について	9	大洲市	上流域の森林が荒廃し保水力が低下しているとおもわれます。森林の雨が降ると一気に増水する。表土も流出し河道に堆積します。整備も必要とおもわれます。
			10	大洲市	肱川の流域治水対策については、河川整備計画に合わせ早急に進めて頂きたい。その中で野村ダム上流域(西予市宇和町)での田んぼダムが効果的であると思われる。(集域面積も広く田んぼもまとまっているため。) また、肱川の下流域では、田んぼダムの機能としては、肱川本川の水位が高いことで田んぼの基面高との差が無い上に、洪水時の早い時間から湛水している田んぼが多く、一時的に降雨を溜め込む機能が乏しいと考えられる。
			11	大洲市	河辺川の両側は昔は田んぼだった。木も杉やヒノキばかりではなかった。森林整備や田んぼを整備した方が効果があつてよい。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
9	流域治水・気候変動の取組	流域治水の具体的取組について	12	その他	最近、よく耳にする流域治水の観点から本流だけでなく支流も含めて流域全体での治水対策を行う必要があり、それらを具体的に整備計画にも明記するべきだと思います。
			13	大洲市	<p>主に流域治水について</p> <p>肱川水系河川整備計画の変更原案によると、全体として流域治水の発想を取り入れることについては、現在の地球環境“激変”の時代にあっては妥当と思うが、その内容は残念ながら詳らかではないのが気に掛かる。</p> <p>今後肱川流域は、かつての人口増加・右肩上がり経済とは全く逆に、人口減少(過疎化)、経済規模の縮小が予想される。つまり、過去において河川整備(ダムを含む)によって、河川の氾濫を抑え込み、都市整備をするという手法は、幻想に帰する恐れが大きい。すでに2018年の野村・鹿野川ダムの緊急放流は、ダム建設により安全と信じて、都市計画区域とされた大州市街を水没させている。更なる河川・ダム整備が必要というのは、もはや通用しない。このことは河川整備に携わる人間には厳しいことであるが、今後の環境的(自然の)・社会的変化を考えれば、これまでの自然(河川)を押さえ込む発想から脱却が求められていると言える。</p> <p>もちろん、日本では直ちに対応はできないであろうが、先進国の一部では「再野生化」ということすら実施されようとしている。源流から河口に至るまでの流域治水を考えるならば、単に河川を押さえ込むのではない施策(河川が氾濫しても耐えられる町づくりなど)。こそ取り入れて行くべきだろう。</p> <p>※追記</p> <p>自然(河川)を押さえ込んで行く発想は、本当の長期的変化には耐えられません。いま、ここで必要と思われていても、10年後、30年後、50年後には変化してしまいます。その時にいまつくった構築物がとんでもない障害物にもなりかねません。自然の改変には、長い未来を視野に入れた施策が必要ですが、残念ながら、この計画はそうはなっていません。時間がかかってもいいから、もっと様々な角度から検討すべきでしょう。</p> <p>また、住民参加は必要ですが、希望する住民に対しては、長期的視点から河川について考えるワークショップへの参加を義務付けることも必要かもしれません。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
9	流域治水・ 気候変動の 取組	流域治水の 具体的取組 について	14	大洲市	気候変動の影響や社会状況の変化を踏まえ、あらゆる関係者が協働して流域全体で行う、流域治水への転換を推進することとなっていますが、流域に住む住民や事業者として具体的に何に取り組まなければいけないのか明確にして欲しいです。 (法律ができて住民が何に取り組まなければいけないのか分からないため。)
			15	大洲市	流域治水の考えは、施設によらない考え方としている。2年前にできたもの。今回の変更案にも反映されているが、流域治水が十分に反映されていないのではないかと。
			16	大洲市	いま国土強靱化加速化5か年計画が実施されているが、流域治水といってもそこに住民が安心できる具体的な治水目標がなければ、いつまで経っても絵に描いた餅にすぎない。
			17	大洲市	流域治水について 『流域治水の推進』が主張されていますが、残念ながらその主張はあまりにも抽象的で何をやりたいのか見えてきません。そして何よりも問題なのは、流域治水を叫びながら、流域の圧倒的面積を占める森林に対し何も触れられていません。『集水域と氾濫域を含む流域全体のあらゆる関係者が協働して行う総合的かつ多層的な治水対策を推進するため』との文言が、であれば整備計画策定にあたっては、被災住民を含む流域住民の参加で策定すべきです。

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
9	流域治水・ 気候変動の 取組	流域治水の 考え方	18	大洲市	流域治水に聞きたい。想定しうる最大規模の洪水までという意味が良くわからない。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
9	流域治水・ 気候変動の 取組	流域治水の 推進	19	大洲市	流域治水の推進が追加されている。 近年の気候変動による雨量の増加を考えると、基本方針を気候変動に踏まえた内容に変更する必要もあると思われますが、その前段階として、今回の変更により流域治水を追加されたと思われ、是非、推進していただきたいと思う。 流域治水を進めるに際しては、特に集水域での理解が必要と思われるため、大洲市の上流にあたる西予市と内子町で、積極的な事業推進となるよう、進めていただきたい。
			20	-	また気候変動を踏まえた肱川の治水計画の見直しが必要と思いますが、河道での流下能力向上は現状でほぼ限界かと思えます。新たな洪水貯留施設、流域全体での流出抑制対策の具体的検討を進めていただければと思います。
			21	大洲市	全国各地で自然災害がおきており、町全体で防災意識を向上する活動・訓練が行われているニュースをよく見るが、大洲市においては平成30年豪雨災害を受けたにも関わらず活動が行われていないように思える。国、県、市が協力をして防災活動を進めていくべきである。
			22	内子町	また、「流域治水」という項目が入っていますが、あらゆる何々、あらゆる何々ばかりで具体性がないので、今後詰めて頂きより安全、安心な肱川にしてください。
			23	大洲市	毎年のように全国各地で大規模災害が発生しており整備計画の目標流量を越える洪水は肱川流域でも必ず起きると思う。超過洪水を想定した流域治水の着実な実施をお願いしたい。
			24	内子町	流域治水、堤防強化、山鳥坂ダム建設、野村ダム改良と、様々な策を講じ、確実に肱川の治水のレベルは上がると思われる。ただ、その中では、流域治水は抽象的に感じた。様々な策があると思うが、個人的には治水ダムと水田貯留、遊水池整備を推奨する。肱川においては最も効果的と考える。
			25	大洲市	近年の気象状況から鑑みるに、元来の治水の考え方では来たる大災害に対処出来ないのではないかという不安がある。その中で、流域全体の関係者で行う流域治水の考え方は素晴らしいと思う。大いに期待する。具体的な策は、まだ検討中だと思うが、できる限り早く推進し安心安全な大洲市にしてほしい。
			26	-	そして、流域治水に取り組み、集水域での山鳥坂ダム建設をはじめ流出抑制対策の取り組み等を推進し、一日も早く肱川流域の安全・安心が図られることを願っています。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
9	流域治水・ 気候変動の 取組	流域治水の 推進	27	西予市	「流域治水への転換」「事前防災対策への加速」というテーマのもの、あらゆる関係者が協働して治水に段組もうという方針が分かりやすく記載されており、いいと思います。
			28	大洲市	近年の異常気象により、局地的な集中豪雨が全国各所で発生し、河川の氾濫による水害・土砂災害が毎年のように起こっている。 肱川についても、今後想定し得るあらゆる洪水に対し、氾濫被害が出ないよう関係者が協議し、流域全体で流域治水への取組を推進していただきたい。
			29	大洲市	いつ災害が起こってもおかしくない現状を鑑みれば、金額よりスピードのほうが重要であることは疑いようがない。そのことを踏まえて、よりベターな判断なのであれば、速やかに進めるべきだ。一つの手段では大きな災害には立ち向かえない。より多くの対抗手段を得て、来るべき時に備えるのは当然のこと。河床掘削、堤防、ダム、遊水地など単独ではなく複合的に備えることは当たり前のことであり、いまだに反対の意見が出るのが不思議でたまらない。我々の現在のことだけを考えるのではなく、未来に生きる子供たちのことを考えれば自ずと答えは出るはずである。子供たちの笑顔を守るためには、今の整備計画でも心もとない。今後の技術の発展、新たなる知恵が出るたびにブラッシュアップすればよい。今回のように整備計画が変更になるたびに、法律に基づいているとはいえこのような手順を踏まなければならないのは、今の時代のスピード感から考えても、コロナで始まった政府が推進する新しい世の中の流れとも逆行しているのではないか？ また、情報の伝達にも問題がある。メディアによる偏向報道が明るみになってる現在、我々市民が正確な情報を得るためには、受け取る側も努力をしなければならなくなっている。メディアは猛省すべきである。さらに、役所側からの情報も、全てを網羅して伝達しなければならないという強迫観念により、一般市民が理解できるとは到底思わない内容である。行動に自信があれば、要点のみの説明で充分である。補足はあくまでも補足である。一部の勢力に遠慮することなく堂々と伝えてほしい。信じていることの足元がぐらつくと、信じている私たちがみじめになる。私たちは完璧は求めていない。しかしながら完璧を目指し続けてほしい。皆で同じベクトルで子供達に未来を指し示すことができることを期待したい。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
9	流域治水・ 気候変動の 取組	流域治水の 推進	30	大洲市	<p>しかし、今後、気候変動の影響により大きくなる洪水を考えれば、整備の目標を大きくすることを考えなければならないと思います。また、目標を大きくした場合は、新たに河道掘削、ダム建設、遊水地などの検討を行ったとしても、完成までには長い期間が掛かり洪水を溢れないようにすることは難しいと思います。</p> <p>氾濫を許容するような治水とまちづくりをセットで考え、あらゆる機関の行政と住民が一体となって、人の命を一番に考え、流域治水を進め、社会経済活動への影響を最小限にとどめることが重要だと思います。</p> <p>河川整備計画を変更して、現在実施している堤防やダムの整備を着実に進め、平成30年7月洪水を安全に流せるようにしなければならないのは言うまでもありません。</p> <p>さらに、気候変動の影響を考慮した目標規模に見直したうえで、ハード整備、ソフト対策にまちづくりの視点を加えた流域治水対策が展開できるような河川整備計画を望みます。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
9	流域治水・気候変動の取組	気候変動に対応した目標流量等	31	大洲市	気候変動に対応する治水計画は必須であり、今後の計画に盛り込むべきである。
			32	その他愛媛県内	さらに、気候変動を踏まえて治水計画を検討し、肱川の治水安全度の維持、向上をお願いします。
			33	大洲市	気候変更に対応する計画を策定することも重要と思う。
			34	大洲市	地球温暖化による異常気象による自然災害は国内外を含めて頻繁に発生しており、計画では目標流量を平成30年7月豪雨時の6, 200m ³ /s 流量としているが、今回計画を見直すのならば、最低でも1割増の6, 800m ³ /sとし、安全幅を持たせた計画を作成すべきだと思う。
			35	内子町	気候変動に対応する治水計画は必須であり、今後の計画に盛り込むべきである。
			36	その他愛媛県内	気候変動に伴う大規模災害が頻発しており、肱川流域でも計画以上に被害が大きくなる量の出水が起こる可能性が高く根本的な見直しが必要だと考える
			37	-	気候変動による豪雨のさらなる頻発化・激甚化が確実視される中、気候変動に適応した治水計画への転換が必要で、それに向けた河川整備計画の見直しを進めて頂きたい。気候変動によってさらに降雨が増加した場合も想定し、可能な限り手戻りが少なくなるように検討が進められることを期待しています。
			38	大洲市	現行の河川整備計画では、基本方針が概ね1/100の治水安全度で、基準地点大洲の目標流量が6,300m ³ /秒。基本計画が概ね1/90の治水安全度で、目標流量が6,200m ³ /秒となっており、これは平成30年7月洪水を安全に流下させる目標である。しかしながら、近年の気候変更などを考えると、平成30年7月洪水を守る目標で安心してはいけなと考える。次の世代、さらには次の世代と、子々孫々まで安心して流域に暮らせるようにするには、次の目標を掲げる時期にきていると思う。まして、現在、国において気候変動を踏まえ、流域治水の考えを取り入れ、計画の立案を進めている状況である。このため、現在進めている流域治水と連動して、河川整備計画の目標流量の嵩上をするべきである。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
9	流域治水・ 気候変動の 取組	気候変動に 対応した 目標流量等	39	大洲市	<p>平成15年10月に肱川水系河川整備基本方針が作られ基本方針の目標流量は、6,300t/sと定められている。</p> <p>最近、COP21 パリ協定で地球温暖化のシナリオが示され、気候変動を踏まえた治水計画のあり方が必要と言われている。</p> <p>RCP 代表濃度(Co2)RCP2.6、4.5、6.0、8.6 と温室効果ガス濃大洲市の安全で安心な暮らしに山鳥坂ダム建設は必要であるが、それは、下流住民の安全安心が上流ダム建設の地権者等の犠牲の上に成り立っていることである。そのことを私たちや後世の市民が忘れないよう、肱川治水史の編纂、流域住民の上下流交流、学校教育などを通じて伝承していく必要がある。</p> <p>山鳥坂ダムの計画変更によって、洪水時に環境容量を活用することが示されたが、洪水調節容量についても、洪水時以外は環境容量として利用できるようにし、少しでも下流の水量を増やして欲しい。</p> <p>平成30年7月豪雨災害を経て作られた河川整備計画が変更され河川整備計画の柱である目標流量は、6,200m³/s と設定された。</p> <p>度の推移によるRCPシナリオでは、降水量の変化が四国では1.1倍になるとある。</p> <p>今回、新たに河川整備計画の変更をする計画変更があるのであれば、整備計画目標流量を基本方針目標流量の6,300t/s に変更するのは勿論の事、気候変動を踏まえた治水計画のあり方として、目標流量を基本方針の×1.1 倍≒6,930t/s 7,000t/s とする目標流量の設定を行うべきである。</p> <p>その目標流量の設定こそが、100年後の良い肱川にする為の目標であると信じます。</p>
			40	大洲市	<p>気候変動対策</p> <p>平成30年豪雨災害は、地球温暖化による気候変動が起こったものと考えます。今後は平成30年豪雨災害以上の気候変動をあり得ると考えます。この整備計画案では、平成30年豪雨災害を基準に計画され、目標流量6,200m/sでは今後の気候変動に対応出来ないのではないかと考え、目標流量の見直しが必要だと考えます。</p>
			41	大洲市	<p>今回の変更原案では「流域治水への転換」についての記述が新たに増えましたが「気候変動」も今後検討が必要ではないでしょうか。整備計画流量の6千200m³/sは、平成30年7月豪雨の出水規模であり、昨今の異常気象を考えるとこれ以上が起こり得ると想定する必要があります。その為にも、気候変動を想定した条件を加算した計画を是非検討して頂きたいと願います。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
9	流域治水・気候変動の取組	野村ダム上流圏域の整備について	42	大洲市	<p>意見 3(整備計画に上流圏域が含まれないことについて)</p> <p>肱川の治水について河川整備計画に野村ダムから上流の圏域が含まれないことは、筆者は当初から気になっていた。野村ダムから上水道給水やミカン農家の農業用水が導水されているにもかかわらず整備計画から対象外とされていることであった。</p> <p>西日本豪雨による洪水・氾濫も、肱川上流圏域の総雨量が野村ダムに流入したことによる肱川中下流圏域の大きな洪水要因となっている。それについて考慮の外に置いていることである。上流圏域の宇和盆地の水は、すべて野村ダムに流れ込むのである。一方、平時には南予圏域の上水道、農業用水として導水されているのである。洪水時には内水を排水するためにポンプ車を出動させ緊急時に大きなホースで排水を行ったり、あるいは内水を排水するためのポンプ場を建設、巨大な排水ポンプを稼働させたりするが、洪水時において肱川上流域の宇和盆地の水を宇和海に排水するため「宇和海放水路」のような考えもまた幾度となく耳にしている。</p> <p>宇和海周辺の南予用水路に沿って新たな導水路、あるいは人工の河川やトンネルをつくりながら宇和海に洪水を逃がすことは考えてはどうか。河川整備計画を上流まで広げ中国四国農政局と連携しながら考察すべき課題と思われる。</p>

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
9	流域治水・気候変動の取組	超過洪水に対応した対策	43	大洲市	気象予測を踏まえた早めの操作など、予測を踏まえた柔軟なダム操作を実施して欲しい。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
10	河川環境の整備と保全	流量の確保	1	大洲市	また、山鳥坂ダムは、洪水調節量による全川の水位低減効果に必要なものであるが、その下の環境容量も必要な容量である。市民は洪水に目を奪われがちであるが、一方で年間を通じた安定的な肱川の流量確保も重要である。実際、昨年秋から雨量が少なく鹿野川ダムの容量は減っていった。しかし、鹿野川ダムの環境容量を使ったおかげで、肱川本川の大きな水位低下とはなっていない。このため、年間を通じた肱川の安定的な流量を確保するには、鹿野川ダムの環境容量だけでなく、山鳥坂ダムの環境容量も絶対に必要なものである。
			2	大洲市	肱川の洪水は恐ろしいが、一方で、平時にもたらされる豊かな水は、飲料水、農業用水に利用され、水辺の環境、鶺鴒、花火大会は、地域文化の象徴であり、私たちに安らぎを与え、欠かせないものとなっている。山鳥坂ダムは渇水時に放流することによって水量を確保することができる施設であり、早期に建設して欲しい。
			3	大洲市	肱川は大洲市の中心を流れまさに大洲市のシンボルです。今年は渇水で肱川の水量が少なく、川の景色が寂しいと感じるとともに、川の生き物への影響も心配しています。そのためにも鹿野川ダム、山鳥坂ダムの環境容量は必要不可欠であり、早期の完成をお願いします。
			4	大洲市	肱川の水量は、冬期には非常に少量となっているため、山鳥坂ダムの位置が変わっても環境容量に変更がないことはありがたいことと思っている。 大洲城下流の河道堰を通年、起立状態(魚道の改修や漁協との調整が必要ですが…)にできるくらい、冬期における流量の確保を期待する。
			5	大洲市	山鳥坂ダム建設事業の推進について 肱川漁協肱川支部組合員として、ダムサイトを上流側に変更することにより、約300万m ³ 貯水量が減少し、河川環境容量に食い込む形で洪水調節が実施されようとしているが魚の生息環境への配慮はあるのか。夏場の高水温時の対応等考え方を伺いたい。総貯水量を少しでも増やす対策が必要ではないか

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
10	河川環境の整備と保全	流量の確保	6	大洲市	平水流量について ダム建設により、平水流量の減少につながる 平水流量を増加する為にダム建設は、貢献できている。 しかし野村ダム・鹿野川ダムの建設後、平水流量が減少している。 ダムの無い小田川においては、平水流量の減少は無い ダムによる流量減少について再検討ねがいます。

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
10	河川環境の整備と保全	水質、景観、生態系等の保全	7	内子町	ただ・・・やはり、故郷の景観は大切ですので、魚が住む川！なるべく自然に！をお願い致します。
			8	内子町	肱川の河川敷には、多種多様な生物が暮らしています。画一的に河道掘削するのではなく、動植物に配慮をお願いします。
			9	大洲市	山鳥坂ダム建設にあつては、環境への配慮もお願いします。
			10	大洲市	環境に十分配慮しながら、肱川の河川整備の推進をお願いします。
			11	その他愛媛県内	しかしながら、環境に与える影響が大きい事も事実であります。ダム建設工事にあつては、自然環境や生態系に対し最大限の配慮する事を念頭に置き、自然と共存できる事業の推進をお願いします。
			12	大洲市	水害の後に昔大洲の道の駅、”あさもや”あたりに住んでいた80歳を過ぎた老人から聞いた話ですが、「昔は、川の流れに無理がなかったように思う。今はそうゆう風にできないものか」土砂の体積などが原因？で水流に変化に出ているのでは？そのあたりも参考にいただければ、思います。
13	内子町	ダム建設や改良にあつては、環境への配慮も必要であると考えます。			

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
10	河川環境の整備と保全	水質、景観、生態系等の保全	14	大洲市	ただ、やはり河道掘削による河動内の樹木伐採は、動植物の生育環境の破壊につながらないか？環境保全についての表記が「努める」から「図る」へ修正された意図に期待する。
			15	大洲市	また、堤防の強化についても、もちろん強く願うが、堤防が造られる予定地が通学路になっている場合、通学路に変更があるのか、今ある河川域の景観は変わってしまうのかな等、日常生活がどのように変化するか気になる気持ちもある。
			16	大洲市	肱川の河川敷には、多種多様な動植物があり肱川の景観を作っています。それらにも配慮した整備計画の策定を望みます
			17	その他愛媛県内	動植物の生態系への対策を行った上で、山鳥坂ダムの建設を早くしてもらいたい。
			18	その他愛媛県内	景観を損なわない堤防の建設をお願いします
			19	その他愛媛県内	山鳥坂ダム建設に当たっては、環境への配慮も願います。
			20	伊予市	自然と共生できるようなダム造りを目指してほしい。
			21	その他愛媛県内	堤防設備に関しては治水安全度が最優先なのは当然だが鶴飼いが行われる区間等は流域にとって重要な観光資源でもあるので景観にも十分配慮した護岸整備をお願いしたい。
			22	その他愛媛県内	また、肱川流域の歴史、文化を受け継ぎながら豊かな自然も大切にして、流域の外の地域と交流を深めてさらに住みやすく豊かな流域になることを期待しています。そのためにも、河川の改修やダムの整備や管理につきましても歴史、文化を活かし、自然や景観にも留意していただければと思います。以上です。
			23	大洲市	将来子供たちと川辺で遊びたいと思っているが、アユ等の水生生物の生育や水辺の環境が悪くなる等、ダムの影響で問題が発生しないのか心配している。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
10	河川環境の整備と保全	水質、景観、生態系等の保全	24	大洲市	<p>山や川に出かけることが多く、肱川には愛着がある。遊びに出かけて思うことは、ダムができる山の中だけでなく、山里にも注目してほしいということである。</p> <p>山里には、そこにしか生息しない動物や植物があり生態系がある。ダム建設によって、その山里と生態系が失われてはならないと思う。ただ、人の生活を脅かす水害を止めるために、ダムの建設は必要だとも思う。ダム建設に向けては、生態系への負荷を減らすために、たくさんの意見を参考にした上で、より良い方法を選択して、共存できる道を探してほしいと願っている。</p>
			25	大洲市	<p>肱川の洪水は恐ろしいが、一方で、平時における肱川は、ゆったりとした流れで、流域住民の自慢の川である。</p> <p>豊かな水は、飲み水や農業用水に利用され、水辺の環境、鶺鴒飼、いもたき、花火大会、カヌーやサップなどは地域文化の象徴です。</p> <p>山鳥坂ダムは、渇水時に放流することで川の水量を確保することができるかと聞いています。安定した水量が確保できるよう、早期のダム完成を望みます。</p>
			26	大洲市	<p>一級河川である肱川は、大洲市の中心部を流れており、昔も今も地域の人たちの生活を見守ってきた河川である。現在進められている堤防整備等に伴い、自然を見失うことになるため、肱川を身近に感じられる場所や貴重な水生生物への配慮を怠らないで欲しい。肱川かわまちづくり計画や大洲市景観計画とのバランスを保ち、風情ある大洲を維持して欲しい。</p>
			27	大洲市	<p>肱川流域の人々は、肱川と共に独自の文化を育ててきました。前述のとおり事業の速やかな実施をお願いすると共に、その際には肱川の持つ何処か懐かしさを感じさせる景観・文化に拝領しながらの施工をお願いします。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
10	河川環境の整備と保全	ダムへの環境への影響	28	大洲市	ダムによる水質汚濁 ダム建設により、森からの栄養豊かな水を長期間貯める事により、底泥体積とアオコ発生を引き起こし清流肱川を将来的に引き継ぐ為のおおきな障害となる。 (将来、誰かが喜んでくれることをしたいものである。) 森と海を分断し漁業者にも多大な影響をおよぼす。
			29	大洲市	ダムによる水質汚濁とダムの寿命 ダム建設は、森からの栄養豊かな水を長期間貯める事により、底泥体積とアオコ発生を引き起こし、清流肱川を、将来に引き継ぐ為の大きな障害となる。 森と海を分断し漁業者にも多大な影響をおよぼす。
			30	大洲市	野村ダムの改造事業では環境影響評価はしているのか。
			31	大洲市	野村ダムの新たな放流設備は、既設ダム再開発事業の一つである。鹿野川ダム改造(トンネル洪水吐増設)事業では山鳥坂ダム建設事業と抱き合わせとはいえ、鹿野川ダム改造事業として環境影響評価が行われたことになっていた。野村ダム放流設備の事業では環境影響評価は実施しないのか。もっとも専ら山鳥坂ダムに関する環境影響評価のみで、鹿野川ダムトンネル洪水吐に関する環境影響評価は実際的には行われていないことである。 環境に与える影響は、どのような運用操作を行うかによるが、鹿野川ダム本体のゲート操作とどのような関係操作が行われるかについて説明を聞くことはなかった。

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
10	河川環境の整備と保全	樹木の伐採	32	大洲市	肱川の樹木が工事で切られていますが、長い年月をかけて巨木なったのにもったいないと思います。何とか巨木だけでも残す事は出来ないのでしょうか？

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
11	河川空間の適正な利用	川に親しむ取組	1	大洲市	肱川の良さを活かした「かわまちづくり」も期待している。
			2	大洲市	肱川で安心して遊べる所を作って欲しい。 内子の河原には大勢のキャンプする人がいるのに大洲城前の河原ではキャンプする人を見かけません。気軽に行けるキャンプ場を作って欲しい。
			3	大洲市	肱川の平時における、親水も同時進行で考えてもらいたい。 子ども達が遊べる親水公園等新設・設備など。
			4	大洲市	川に子供が遊べる施設が欲しいので肱川の河川の整備をして欲しい
			5	大洲市	環境への取り組みも進めて欲しい。人々が肱川に触れ、共存していく環境が必要である。子供たちへの教育を考えると、肱川が憩いの場となることが重要であり、河川公園等の整備を進めてもらいたい。

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
11	河川空間の適正な利用	水辺へのアクセスの確保	6	大洲市	趣味でアユ漁をしております。築堤により、水辺へのアクセスが出来なくなるのではと危惧しております。ご配慮願います。

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
11	河川空間の適正な利用	ダム周辺の環境整備	7	大洲市	また、ダムが一つの観光資源となるよう、ダム周辺の環境整備に努めるなど地域振興にも配慮いただきたい。
			8	大洲市	山鳥坂ダムはどうやって利用するのか。親水性を高めるものは作らないと以前言われた。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
12	危機管理への対応	ソフト対策の推進	1	内子町	また、動画の「つなごう肱川、未来へ子どもたちへ」も見ました。情報の発信方法など苦労されていると思います。あらゆる関係者が協働して行う総合的かつ多層的な治水対策を推進するならば、引き続きユニバーサル社会の観点から、文字だけでなく、音声や映像など伝わる発信を引き続きお願いしたいです。
			2	大洲市	<ul style="list-style-type: none"> 整備計画が出来ても、整備完成までには長期間を要することから、すぐに安全になるわけでは無く、当面危険な状況が続くと思われる。今後、段階的な整備状況に応じた避難のためにソフト対策にも今まで以上に力をいれて欲しい。 気候変動により堤防だけでは守り切れない出水が来る。市民への防災教育や防災訓練を徹底的に実施して欲しい。
			3	その他愛媛県内	まず、一般の住民が整備計画の変更内容を理解しやすいような説明が必要。専門的なフレーズは極力避けて、お年寄が聞いても理解できる説明が必要である
			4	大洲市	緊急時の避難について大洲市広報に載っているが、文字が多く読むのを躊躇ってしまう。文字を出来るだけはぶき、マンガなどを取り入れた方が興味を持って読むと思う。
			5	大洲市	防災無線は普段でも何を言っているのかわからない。 大雨や強風とかの時はなお更だと思うので工夫してほしい。
			6	大洲市	通信についての変更は無かった様ですが、30年当時も防災無線が聞こえなかった様ですし、今でも聞こえなかったり聞きとりにくいので対策は必須だと思う。地域独自の防災アプリ開発など使える方策を示してほしい。
			7	その他愛媛県内	避難に役立つ情報をもっとわかりやすく詳細に提供して欲しい また、情報発信にあたっては、関係機関と連携して欲しい
			8	大洲市	豪雨時に限らず防災無線が聞こえづらく、的した行動が取れない。情報発信などソフト対策にも積極的に取り組んでもらいたい。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
12	危機管理への 対応	ソフト対策の 推進	9	大洲市	ソフト面ではダム管理者(野村ダムと鹿野川ダム等の相互の情報の共有化、また肱川は河口狭く潮の満ち引きの影響が大きく、上流の雨量等を勘案した樋門の開閉のマニュアル化なども徹底していただきたい。災害を0にはできないが、最小化するためには過去の事例やデータ、気象予報、潮目などをもとに現場がどう対処すべきか情報発信ができればいいと思います。住みやすい街になって、肱川が昔「筏流し」があったような風情のある風景がみたいものです。
			10	内子町	その際、官民一体となり、治水への関心を高め、行政が行なおうとしている事業への理解と認識が必須であると思う。今後を担う若い世代(小中高生)への出前講座や勉強会の開催をしてはどうか。
			11	大洲市	災害時に求められる整備として最も重要なのは、命を守るための整備である。平成30年7月豪雨では、自分の家族や親族の命が危険にさらされる経験をした。水害から身を守ること、水や食料を確保すること、道路を通行することなど、私たちは、普段様々な便利な生活に頼っているのだと思いしった。当時普段あまり使用されていない公共施設が解放され避難所となったり、集会所や学校などが炊事場として利用されたり、災害時において無駄に作られたと思う施設は無いのだと感じた。 現在、持続可能なまちづくりの観点から、公共施設の再編やコンパクト化が進められている。今一度、流域に住む住民自身が避難する施設や行動を確認するとともに行政が避難に繋がる情報を発信すべきと考える。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
12	危機管理への 対応	避難所等の 設置	12	大洲市	<p>河川整備計画(肱川水系)変更に対する意見及び要望書地区の課題(岩津地区) 2018年7月西日本豪雨災害にて当地区の全世帯(2軒を除き)床上浸水の被災地となりました。地区住民の協力で人的被害には至らず避難(祇園神社)することが出来ましたが問題点も多数散見され課題となり改善が必要と考えます。</p> <p><問題点> 1.増水速度が速く指定避難所へすべての行く道が冠水し孤立した。 2.祇園神社は旧来より地区の避難所だが老朽化が激しい。 3.コロナの発生で従来の避難所での安全な間隔維持が難しい。</p> <p><問題解決策の要望> 全世帯車での避難が基本であり堤防強化に伴い堤防内の空き地(テトラ、グリ石の置き場になっている)に盛り土し避難駐車場にすることにより地区の問題点1~3が解決出来、安心安全の避難の要望といたします。</p>
			13	大洲市	<p>岩津行政区(大洲市八多喜町)の区長を勤めてるものです。 この地区は西日本水害の時に避難場所として、祇園神社に避難しました。(避難した氏名は八多喜公民館へ報告済み)</p> <p>市指定の避難場所(公民館・粟津小学校)に避難できなかった大きい理由として</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 当日の早朝にはすでに上須戒線(県道)は水没していた 2 祇園神社下道路(市道)も水没していた 3 他に避難指定場所へ向う道路無し <p>上記の理由があります。(1世帯については前日の内に避難済)</p> <p>(国交省肱川水系河川整備計画「変更原案」28・29ページに対する要望) 非常事態発生時の「避難場所の建設」を切にお願いするものです 建設場所の例としては現堤防の「防水資材置き場」や2重堤防の大面積場所</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
12	危機管理への対応	避難所等の設置	14	大洲市	河川整備計画に対する要望書 私は農家です。西日本豪雨の際に多大なる被害を受けました。 現在、岩津地区には避難場所が無く、当時、冠水の為、祇園神社へ避難しました。八多喜地区の避難場所の公民館へは、道路冠水の為、避難することが出来ません。 そこで、岩津地区への避難場所の設置をお願いしたく、撰に要望致します。
			15	大洲市	地域の避難所になっていた小学校・中学校・公民館がH30年7月豪雨にて多数、浸水被害に遭ってしまい、避難所がきちんとその役割・機能を果たせる様、肱川水系河川域の再構築し、リスクの低い地域への移転を検討していただくことに賛同したい。

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
12	危機管理への対応	防災情報の確実な周知	16	大洲市	<ul style="list-style-type: none"> ・ケーブルが切れてできなかった。防災の車がでたけど雨がひどくて聞こえなかった。放送設備をちゃんとしてほしいとお願いしてもう3年がたつが防災ラジオしかない。 ・避難所を作ってほしいと言ったが、水が浸かったところに住宅が建っている。そこに支所も作って防災拠点にしようとしている。おかしいのではないか。 ・ダムが壊れるとかの話はしていない。東京の品川区は自治会長がタブレットを持っており、避難情報等の情報が入っている。 そういった人命救助に使ってほしい。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
13	その他	学識者会議 への住民参加	1	西予市	2018年の西日本豪雨の水害は、地元の声が届いていないまま会議が進んでおり、検証といえるのだろうか。今の時点で「皆様の意見をお聴ききしながら進めてまいります」と言っているが、河川整備計画の審議に直接市民や市民が選んだ専門家などが参加できるようにしてもらいたい。
			2	大洲市	あらゆる関係者が協働して、流域全体で行う、流域治水への転換を推進するために、新たに流域住民とダムによらない治水を提唱する有識者等の参加の流域委員会を！ 原案の流域治水の考え方は、既定のダムを中心とした河川整備計画に、文言や項目を加筆・追記したにすぎない。国や県が主導する本来の流域治水とは、流域住民やダムによらない治水を提唱する有識者も含む、公明正大な治水が検討できる、新たな肱川流域委員会の設置が不可欠である
			3	大洲市	ほかにも様々な理由がありますが、以上の理由から変更原案の策定中止を求めます。そして新たにスタート時点から住民参加の流域委員会を開催すべき。
			4	西予市	私は現在公表されている肱川水系河川整備計画についていくつか質問がある。この計画には最初から住民参加の会議で進んでいないことが問題であると思う。
			5	大洲市	住民参加の流域委員会を設営して議論して治水対策を決めていくべきだ。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
13	その他	整備計画を ゼロから見直し 要望について の意見	6	大洲市	<p>先日、2月3日の愛媛新聞で、西日本豪雨の被害者らでつくる大洲・西予市の住民団体から、国土交通省に要望書が提出されたと報道がありました。内容は、現在の整備計画について、作業を一端中止してゼロから見直すことについてでした。私はこの要望については疑問があります。整備計画の内容については、個々に異なった考えがあるかもしれません。しかし、ゼロから見直すとなると、相当な年数は必要でしょう。また、見直された場合、多数の賛同が得られなければなりません。その保証もありません。そんな時間はあるのでしょうか？大洲市は平成30年に大被害を受け、全国的にも気候変動で毎年多くの被害が出ています。そんな悠長な時間は無いはずで</p> <p>日本は民主主義です。多数の賛同をもって物事を進めていきます。この団体の要望どおりに進めるとすれば、多くの人から、遅れても見直すべき、との理解を得なければなりません。また、進捗が遅れ被害が出た時の大洲市民の覚悟も必要となります。</p> <p>このようなことから、私は現在の計画を着実に進めていくべきだと思っています。現に堤防整備は目に見えて進んでいます。整備計画の内容は難しくわからない部分もありますが、ただ着実に進んでいる治水事業を、あえてストップをかけるやり方には疑問を感じます。よって、現在の整備計画を着実に進める事を希望します。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
13	その他	整備計画を ゼロから見直し 要望について の意見	7	大洲市	<p>肱川水系河川整備計画(変更原案)については、平成30年の西日本豪雨災害の被災状況などの検証は、ダム直下における八名の犠牲者の死因と真摯に向き合った内容になっておらず、正しく検証されたとは言い難い。</p> <p>真因は、想定を超える雨量の流入量に、通常の放流では追い付かず、満水を待てず、緊急放流(異常洪水時安全操作)を行った結果、ダム津波とも称される異常な洪水を生じせしめ、下流の橋や市街地を破壊し、人命を失ったのである。</p> <p>ダム管理者の安全操作は、ダムの安全を守るための緊急操作であった事。</p> <p>更に、緊急放送や避難誘導の遅れなど、地元自治体の無策や不作為などが、深刻な被害を大きくした(肱川流域の住民のダム神話を妄信したのも遠因である。)</p> <p>肱川は、上流域は比較的急峻な山間にあり、中下流にて曲折し、下流域に勾配が少ないなど、肱川固有の特質がある。(緊急放流は、他の河川でも頻発しているがダム直下や中下流の条件が、肱川流域と異なり、影響は相対的に小さい。)加えて、川沿いに、集落や市街地があるなど、極めて親水性の高い市民生活を享受している。</p> <p>これらを前提に、肱川流域の住民の生命や財産と国土を守る治水や治山を含むいわゆる、広域・高次元の流域治水の計画策定が必須であると考えます。</p> <p>異常気象が深刻化する昨今、西日本豪雨を超える線状降水帯や集中豪雨は、どこで発生してもおかしく無く、肱川固有の特質と、ダムの加害リスクを勘案し</p> <p>直ちに、肱川水系流域委員会を発足し、開かれ公正な検証と新計画の策定を求めます。</p> <p>併せて、新設計画の山鳥坂ダム建設の即時停止と野村ダム及び鹿野川ダムの耐越流工事の計画と早期の実施を求めます。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
13	その他	整備計画をゼロから見直し要望についての意見	8	大洲市	<p>今回の肱川水系河川整備計画変更原案は、今までの整備計画を補完し、将来を見据えた内容となっており、この変更計画に沿って今まで以上にスピード感を持って事業を推進していただきたい。</p> <p>先日、国土交通省大洲河川国道事務所に「過ちを繰り返さないために、ゼロから策定を」とした要望書が提出されたという新聞記事を見ました。</p> <p>私の意見としては、現在進められている河川整備事業は、正規の手続きを経て住民の意見を聞き、国県市が同意し進められている事業であり、加速することはあっても、ゼロから見直すなど到底考えられません。</p> <p>治水事業の遅れは、災害リスクに直結します。国県市においては、肱川の河川整備事業が遅れることの無いよう事業推進に努めていただきたい。</p>

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
13	その他	住民説明会について	9	西予市	資料をこの場で渡されても考える時間が無いので、できれば事前に提供して欲しい。
			10	西予市	今日の説明では十分分からなかった。水害から3年もたって、みんなの関心も少なくなっている。もう少し進め方を考えて欲しい。

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
13	その他	下水道、道路の整備	11	大洲市	併せて下水道の整備、松山道の二車線化(→緊急時の物資援助等対応のため・・・)についても早めに検討が望まれる。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
13	その他	H30.7水害の 検証について	12	西予市	今回の河川整備計画変更原案は、一番被害が大きかった2018年の肱川の水害を検証しているはずだが、今回の説明では2018年の7月豪雨のダム運用について、検証の結果が詳しく出されていない。これでは、説明として不十分ではないか。

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
13	その他	緊急放流時の 補償について	13	西予市	<p>(質問②) 今回の野村ダム改良事業の説明ではこう言っている。</p> <p>「この図はH30年と同規模の洪水が出た場合を表しているが、H30.7月には緊急放流という事で緑色の線を見ると横に1000トンの放流をしても上がっていった、これが緊急放流という事になる。H30年の7月豪雨と同規模の雨であれば、今回の改良で多くの容量を確保することにより1000トンの一定放流で 緊急放流をせずにやることができるという事業効果である。緊急放流と言うのは、どんな洪水が来るか分からない、H30年より多くの洪水が来るかもしれない。住民が心配しているのは、このような緊急放流になったときに新しい放流設備ができることでもっと多くの放流になるのではないかという事だと思うが、緊急放流とは、1000トンの一定放流の時これ以上の計画規模以上の洪水の時のダム操作になるが、ダムへの流入量と等しくなる放流操作である。今の放流設備でも同じようにすり付けるようになり、新しい設備ができるからと言ってこのすり付け操作がもっと急激になることはない。無いに越したことは無いが、計画規模以上の洪水が来たとして緊急放流は起こりうる、この時に新しい設備が下流に悪さをするという事は決してない。」</p> <p>緊急放流時に新たな設備が下流に悪さをすることは決してないと言うのなら、あった場合の保障を確約してください。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
13	その他	事業効果の周知・広報	14	大洲市	また、自分が大洲市外に生活していた際に、大洲市では河川氾濫が頻発するというイメージを持つ方が大勢いた。このようなイメージが先行していると企業誘致や大洲市への移住も難しくなる可能性があると感じている。現在は、国交省などの事業により治水安全度の向上が図られている。この事業を周知するために広告等を進めていただきたい。若者が自信を持って帰ってこられる街であり続けることを願っている。
			15	大洲市	ダムはどういう場所に造られているか等の情報が自分たちまで届いていない。学生にも理解できる情報を提供してほしい。

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
13	その他	山鳥坂ダム事業費等監理委員会のあり方	16	大洲市	山鳥坂ダム事業費等監理委員会の規則で、傍聴はできない、議事録は出さない、とされているが、この委員会により事業が決定されていくことに疑問がある。

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
13	その他	計画対象圏域全体の国土交通省直轄化	17	大洲市	現在、肱川下流区間は国土交通省、中流区間は愛媛県、上流区間は国土交通省の管理となっているが、できるならば一体化して、国土交通省管理で早急に整備を進めてもらいたい。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
13	その他	その他	18	大洲市	H30年7月の豪雨災害後野村町の被災状況を目の当たりにした。野村ダムの操作規則に対して批判が多々あるが、下流域を守るために必要な操作であった事が知られていない。
			19	その他	<p>私は、「洪水調節ダムのゲート操作」を主題とした論案で技術士を取得したものです。その経験をもとにして「操作を容易にする方法」を提案します。</p> <p>洪水調節は、「①流入量を把握して・②計算式により放流量を把握し・③貯水位とゲート開度の関係よりゲート開度を決め・④ゲートを操作する」という4つの段階が必要になります。貯水位が上昇している中で、これらの4つの行程を行うことは大変な作業です。また、この作業が夜中になる場合もあり、神経を使う作業になりストレスとなります。</p> <p>私の技術士論案は、上記の4つの行程を1つにした案です。それは、「貯水位に応じたゲート開度別放流量表を用意しておき、この表に従って操作」する案です。</p> <p>ゲートは通常1回の操作で最大30cm開きます。これを逆に利用し、1回の操作開度を30cmとします。放流量は貯水位とゲート開度の関係より求められますので、貯水位別ゲート開度別放流量という一覧表を洪水調節前に用意しておき、この一覧表でゲート操作を行います。操作する貯水位の変化はダムによって異なりますが、野村ダムは10cmおきに設定するのが妥当です。ただし、放流量が下流の安全放流量を上回る場合は安全放流量(野村ダムの場合1000m³/s)とします。</p> <p>貯水位が上昇し、サーチャージ水位を超えた場合は、設計洪水位に向かって徐々にゲート開度を大きくしていきます。野村ダムの場合、サーチャージ水位(EL170.2m)と設計洪水位(EL171.5m)の差1.3mが小さ過ぎます。サーチャージ水位をEL168.0m程度に下げれば余裕のある操作ができると思います。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
13	その他	その他	20	大洲市	<p>意見 1 (河川整備計画策定の過程について)</p> <p>全国で策定されている河川整備計画の中で肱川水系河川整備計画はひととき異様な策定過程を持つものであることである。</p> <p>第1に、河川法が規定する「住民参加」の理念を真っ向から否定し、河川整備計画策定の肱川流域委員会の委員構成も、他の河川における整備計画策定の委員構成とは異なり、<u>1名の住民代表も入っていないものであり、</u>言わば、憲法ともいべき戦後河川法を公然と無視し、憲法違反に比すべき河川法違反であることである。</p> <p>この河川法の問題について、二つの事実を指摘しておきたい。</p> <p>第1回肱川流域委員会で、このような流域委員会開催について抗議したある市民を国は公務執行妨害罪と暴行罪で告訴した。その事実内容は委員会に事前に刑事が張り込み写真撮影をしていたが、それを使わず警察当局はテレビ局に映像提出を求め、断られたという一幕があった。なぜ刑事が事前に張り込んでいたか、事実は究明されていないことである。倒れ後頭部を強打したという国交省職員は柔道の有段者であり、その程度は加療2日であった。不可解である。</p> <p>さらには住民参加否定について、日本弁護士連合会も「意見書」を公表するという河川整備計画策定過程であったのである。古代ローマ帝国はイギリスからトルコまで領土を広げた。中国は三国志の時代、日本は卑弥呼の時代である。紀元後212年、ローマ帝国は「市民権」を与えることを宣言した。当時、奴隷階級もいたとはいえ、古代ギリシャ・ローマ市民社会を髣髴とさせる。</p> <p>住民参加否定とは、大洲市民などの「市民権」を公然と奪うものであった。</p> <p>当時の流域委員会の学識者や、現在の学識者会議の学識者はどう考えているのか。国や行政当局者、学識者に「市民権」という考えはないのであろう。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
13	その他	その他	21	大洲市	<p>意見 2(変更案の学識者会議の委員構成について)</p> <p>西日本豪雨後、学識者会議設置の委員構成を見て卒倒した。愛媛大学を中心とする県内関係の学識者だけであることであった。先ず西日本豪雨においてダム放流の洪水による死者という異例の水害に対して検証する場であった学識者会議の委員構成は、最初から公平性を疑わせるものであり、適格性を欠くものであったことである。</p> <p>当時の石井国交大臣は肱川流域を視察した際、第三者委員会ということ語った。ダム放流を直接の要因とする肱川洪水だったからである。国交省が進めるダム建設やダム再開発事業の河川工学者である角哲也氏など3人連名による論考でも、いち早く野村ダム・鹿野川ダムの異常洪水時防災操作の放流について論じられていた。</p> <p>平成 30 年 7 月豪雨災害を踏まえた超過洪水時のダム治水操作手法の検討 野原大督・竹門康弘・角 哲也</p> <p>https://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/hapyo/19/pdf/A10.pdf</p> <p>元国交省職員の石井国交大臣の問題意識であったと思われる。現在の学識者会議がこのような問題について到底検証しうる学識者の選任でないことは明らかであろう。そしてまた、二度とこのような危機を回避する具体的な方法について考察できるとは到底思えない委員達である。事実、他の既設ダム再開発事業では新規ダム建設なみの委員会・検討会が設置されていることである。肱川水系河川整備計画には鹿野川ダムトンネル洪水吐建設が含まれ、変更案では野村ダムの新放流設備が含まれているが、他のダム再開発事業では、複数大学の河川工学教授による「基本設計の了承」というプロセスがとられているが、肱川水系河川整備計画では、そのような検討会や段階は排除されている。肱川流域学識者会議はそのような任にたえ得る公正な、全国的複数大学の河川工学者による構成、選任とはなっていないことである。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
13	その他	その他	22	大洲市	<p>意見 5(昭和18年洪水と西日本豪雨の平成30年洪水) 自宅は床上浸水80cmであったが、ずっと念頭にあったのは昭和18年洪水と比べてどうなのかということであった。肱川中流の大洲市中心部は肱川の両岸に分かれ、肱南、肱北地区の商店街・住宅地を形成している。肱南、肱北地区の中心部を囲み、上流には菅田地区、柚木地区が、下流には久米地区、東大洲地区がある。</p> <p>昭和18年洪水と比べて、菅田地区は1m以上洪水水位が高く、柚木地区は約1m水位が低かったのである。久米地区は昭和18年洪水より高く、東大洲地区は反対に低かった。昭和18年洪水よりも高かった菅田地区、久米地区はいずれも暫定堤防ができています。いずれも遊水地帯と考えられてきたところである。堤防の整備によって遊水池の面積が減少したのではないかと私は考えていた。</p> <p>しかし、それだけではないことが分かってきた。菅田地区や久米地区のそばを走る肱川本流の河床が上昇していたことも要因と考えられる。というのは、平成16年、17年洪水では鹿野川ダム1800m³/s放流にも浸水しなかったが、平成23年洪水では鹿野川ダムは半分の925m³/s放流にもかかわらず、肱川沿いに並ぶ久米地区の只越区の住宅は床下浸水となった。一方、菅田地区では西日本豪雨平成30年洪水について地元の方は肱川本流の河床が3mは上がっていたと語っていた。</p> <p>しかし、菅田地区の下流の肱川本流のすぐそばの柚木地区では昭和18年洪水より約1m低かったのである。柚木地区は肱川本流に無堤防のまま接し、肱南地区のすぐ上流に当たる。西日本豪雨の平成30年洪水は昭和18年洪水より小さいのである。せいぜい洪水規模は4500～4800m³/sレベルと思われる。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
13	その他	その他	23	大洲市	<p>意見 6(平成7年洪水と肱川下流の河道掘削・浚渫) 平成7年洪水は霞堤の越流によるものであった。霞堤から下流に流れなかったから越流したのである。普通に考えれば、霞堤から下流の河川の掘削が考えられなければならなかったはずである。ところが、肱川では二つの上流ダムの事前放流量を絞るという操作規則改正を行ったのであった。上野鉄男氏の国土問題研究会報告から、</p> <p>ダム操作規則の改正は、肱川流域で進められてきた山鳥坂ダムの計画・建設と関係があるものと推察される。改正後のダム操作規則は中小洪水に対応できるとして、国はダム下流の河川改修を放置してきた。その上で、大規模洪水に対しては、山鳥坂ダムが加わることによって対応するという方針で山鳥坂ダムの建設を強引に進めてきたようである。肱川の下流部で適切な河川改修をしておれば、ダム操作規則の改正は不要であったと考えられる。2018年の大水害はダム操作規則の改正によって惹き起こされた人為的な水害であったと言える。ダム操作規則の改正がなければ、このように大きな被害は出なかったと言える。(2019.6.15)</p> <p>河川整備計画の変更案でも肱川の蛇行部分の堆積物の掘削計画は行われているが、肱川下流・河口の狭窄部の河道掘削・浚渫を望む地元の強い要望にも行わない。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
13	その他	その他	24	大洲市	<p>意見 7(計画河床高の抹消と低水路内平均河床高への算出方法の変更)</p> <p>筆者は肱川の河道掘削をめぐって「肱川河床掘削禁止浸水甚大化損害賠償請求」を提訴した床上浸水80cmであった。西日本豪雨肱川水害以前から鹿野川ダムトンネル洪水吐放流差止訴訟を提訴していた。肱川漁協乗っ取りを契機とするものであった。案の定、漁協総代会は国・県・市長を来賓に迎えるという異様なものであった。</p> <p>被災を契機とする河床掘削禁止とは、肱川水系河川整備計画原案にはなかったが、「河道内掘削を行わず」と挿入、「放流施設」には「放流施設(トンネル洪水吐)」と書き込まれていた。数行の説明だけで議論はなかったのである。</p> <p>裁判に問えば、何か新しく見えてくるものがあるだろうと思ったのである。事実、たんに「河道内掘削を行わず」だけでなく、計画河床高は抹消され、平均河床高の算出方法は低水路内平均河床高に変更されていたことが明らかになった。</p> <p>アメリカは911テロを受け、国土安全保障省への再編を行ったが、日本は同時期国土交通省への省庁再編の中で、フロンティア堤防と呼ばれた堤防強化工法の技術基準からの削除、そして、計画河床高の抹消、低水路内平均河床高への算出方法変更の骨抜きを行っていたのであった。日本の技術官僚の退廃であった。</p> <p>昭和39年、戦後河川法改正と同時に全国の河床掘削規制、禁止が始まっていた。過剰採取があったとはいえ、時限立法ではなく、海砂利利権や砕石利権が形成され、ダム建設にも河道掘削は不利であり、河道掘削は事実上禁じられてきた。ダム建設の計画のない河川では河道の掘削が取り組まれてきた。その効果は1.3～2.3m(加古川・西脇市)というものであり、ダムの洪水調節効果より大きいものがある。</p>
			25	大洲市	<p>意見 8(平成13年と16年の二つの「肱川縦断面図」)</p> <p>上の図は、平成13年『肱川洪水防御図』として作成の「肱川縦断面図」である。下の図は、平成16年の肱川水系河川整備計画策定とともに作成の水位縦断面図では、平均河床高は低水路内平均河床高に変更し、河床は「おおむね安定」とされてきた。計画河床高も抹消、下の図の太い線は上の図の平均河床高を書き入れたものである。</p> <p>図 縦断面図</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
13	その他	その他	26	大洲市	<p>意見 10(変更案における河道掘削の問題)</p> <p>肱川における掘削は実際的には浚渫というべきで、新たな掘削を行うような場所はないと言ってよい。平成30年洪水の後、「肱川流域治水プロジェクト・国土強靱化対策工事(5か年加速化対策)」として肱川の大規模な河川工事が行われているが、愛媛県管理区間は、肱川をトレースするように小田川流域から掘削が行われている。国管理区間は部分、部分の区間であるように思われる。これまで淵であったところや河川中央に中洲ができていて、手つかずである。特に問題は住民説明会でも複数の住民からも声が出ていたが、肱川河口・赤橋上流の河川中央の中州、浅瀬であろう。</p> <p>上記の堤防整備が完成すると、洪水水位が約1.1m上昇すると国は言っているが、河口の浚渫は行わないのかという地元沖浦地区から質問状が提出されたことがある。その後、新たな堤防整備区間を計画、さらに洪水水位は上昇することが懸念される。しかし、国は河口でも目標流量を流すことができ、浚渫する計画はないと回答した。</p> <p>肱川河口の沖浦地区を囲む防波堤は昭和18年洪水にも浸水することはなかった。防波堤には開口部があるが、浸水はなかったという。5000m³/s級の洪水に開口部から浸水することはなかったが、3000m³/s級の平成16年洪水では開口部から浸水、道路が冠水。平成30年洪水では開口部を締め切っていたので浸水はなかった。</p> <p>肱川河口の赤橋中央上流の中州は干潮時には異様な姿を現すことが知られている。水面直下に防潮堤があるようなものである。洪水時には洪水の波を堰き上げることとなる。1.1m以上の波になることは必至であることである。肱川町の住民説明会では矢落川合流点で段差50～80cmのダム津波を目撃したという重要証言があったが、肱川最下流の河口でも水面下の防潮堤？による津波が起きる可能性はあるのである。</p> <p>これは地元住民だけの心配だろうか。近畿地方整備局の熊野川は平成23年洪水後、ただちに河口の河道掘削を施工、平成29年洪水では1.5mの水位低下を発表した。肱川河口の中州の掘削が行われないことは肱川治水の致命的問題であることである。のみならず、二つのダムの操作規則を制約し歪め、ダム放流水害の要因でもあった。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
13	その他	その他	27	大洲市	<p>意見 11(変更案でも新操作規則は東大洲氾濫に制約されている)</p> <p>☒ 野村ダム・鹿野川ダムの新操作規則</p> <p>注目したのは「流下量増加は東大洲が溢れない〇〇m³/s」という語句が野村ダムに1か所、鹿野川ダムに2か所見えることである。「東大洲が溢れるので流下量をこれ以上増加させることができない」と言っていることである。また、野村ダムは元々は500m³/s放流だったが、平成8年の操作規則改正で300m³/sの事前放流とされ、平成30年洪水で大+S168問題となったが、新操作規則でも300m³/s放流のままである。</p> <p>東大洲が溢れるのなら、なぜ東大洲から下流の、すなわち矢落川合流点の霞堤から下流河川狭窄部のきちんとした計画河床高に基づいた掘削計画が立てられないのか。</p> <p>以下は、「土木学会西日本豪雨調査報告(四国地区)」の報告書からである。 <u>「また、河川改修の推進も必要である。ダムの洪水調節開始流量は下流河道で安全に流すことができる流量で決定されているため、現在のダム洪水調節機能を活用しきれていない。下流河道の流下能力が向上すると、野村ダムや鹿野川ダムの洪水調節における初期のダム放流量を増加させることが可能となり、両ダムはより大規模な洪水に対して効果を発揮することができる」</u></p> <p>執筆者は学識者会議の委員でもある。他にも在野の技術士などダム操作をめぐって提言がされている。在野の研究者も招き『肱川治水検討会議』を設置すべきである。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
13	その他	その他	28	大洲市	<p>意見 12(変更案でもタブーにされている「河道掘削行わず」) 変更案では一見河道掘削が行われているように見える。しかし、肱川沿いに走ってみると分かるが、県管理区間は掘削がきれいにされているが、中下流の国管理区間は堤防整備が主で、掘削は目立つところだけの一貫した掘削計画の工事には見えない。計画河床高がなければ、建築で言えば地盤面の高さ・GL(グラウンド・レベル)も出さず仕事しているのと同じである。河川勾配に応じた計画河床高も決めず恣意的に掘削と言いつつ工事をやっているのではないか。下流狭窄部の疎通能力は十分だろうか。</p> <p>そもそも肱川水系河川整備計画において、そうした河川の流下能力を確保する河道掘削計画が将来的に立てられているならば、前述したような「流下量増加は東大洲が溢れない〇〇m³/s」との文言が付記されるはずはないし、また、土木学会調査報告の文言も特記されるはずもないことである。まさにこの河川整備計画の中で検討され、盛り込まれていなくてならない課題ではないか。なぜ変更案でもそうならないのか。</p> <p>それにつけても想起されることは、繰り返し繰り返し山鳥坂ダム早期完成を求める申し入れが行われることである。なかでも西日本豪雨直後、大洲市の有権者数に近い約3万人の署名が集められていたことである。これほどの水害であれば、政治的にはすぐに手が打たれるであろうことは分かることだ。なぜダムの早期完成を入れてまで署名を集めようとしていたのか、不思議である。「ダムと堤防で」とはよく言われる言葉である。しかし、その言葉の裏には「ダムや堤防のためには掘削をやらずに」という圧力でもある。掘削をやれば「ダムはいらない」「高い堤防はいらない」ということになりかねないからであり、だから、積極的な掘削はやらないことなのだろう。</p> <p>速やかに河道掘削計画を優先させ、流下能力を拡大、本来のダム操作規則に改正、住民が納得、安心する治水対策を立てるべきだろう。熊野川の治水対策とは正反対の狂気であり、政治的タブーに隷従するような治水計画に治水対策があるわけがない。ダム放流操作でも津波を起こし、河口でも津波が起きることを住民が心配しなければならないような肱川水系河川整備計画とは、その本質とはいったい何なのだろうか。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
13	その他	その他	29	大洲市	<p>意見 13(西日本豪雨・肱川氾濫のダムゲート連続操作)</p> <p>表 野村ダムのゲート操作</p> <p>「河川法第二章第三節第三款(ダムに関する特則)等の規定の運用について」の第22条(1)で「急激な変動を生じないようにしてすること」、野村ダム操作規則の(放流の原則)第23条では「放流によって下流に急激な水位の変動が生じないように努めるものとする」と定め、さらに、野村ダム操作細則の第18条において「クレストゲートの一回の操作の開度は、30センチメートル以内とする」と規定している。</p> <p>野村ダムは超過洪水操作の最初の20分間で極めて急激な放流操作を行っていた。下記の表から$1409 - 439 = 970\text{m}^3/\text{s}$ は約$1000\text{m}^3/\text{s}$であり、ゲート開度は$473 - 64 = 409\text{cm}$で20分間に一気に4m水位を低下させるものである。ダム下流では20分で約$1000\text{m}^3/\text{s}$であるから、1分間では$50\text{m}^3/\text{s}$、野村ダム下流の川幅が約50mとして1mで$1\text{m}^3/\text{s}$である。これは氾濫がなければ1分に1m水位が上昇し続けたことを意味する。そして、急激な水位上昇が20分も続いたのであり、避難する余裕もなかった。なぜ、こんな「急激な変動を生じる」操作を行ったのか。</p> <p>下流の八多喜地区で初めて段差のある洪水を見た話は聞いていたことであったが、肱川町住民説明会では鹿野川ダム下流の矢落川合流点付近で落差50cm～80cmあるダム津波の目撃の発言があった。鹿野川ダムでも「急激な変動を生じる」ダム操作が行われていたのではないかと疑問を持つ。明らかな河川法規定違反であり、異常洪水時防災操作開始後、ダム操作はどのように行われたか、検証されていないことである。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
13	その他	その他	30	大洲市	<p>意見 14(超過洪水のシミュレーション訓練は行われていたか)</p> <p>ある時期、私は自主防災組織の役をしていたことがある。その関係もあり防災士の資格をとった。何かをしなければならないと思い、「DIG」(ディグ)と呼ばれる災害図上訓練を地元の地区で実験したことがある。そして、自治会でも報告したが、地区によって関心もさまざまであった。洪水に関係ない地区の関心は小さい。</p> <p>ところで、肱川の二つのダムでは異常洪水時の防災訓練を行っていたのだろうか。鹿野川ダムでは平成16、17年の2年連続「ただし書き操作」となったのである。</p> <p>その後、鹿野川ダムはもとより野村ダムでも当然、超過洪水のシミュレーションによる「ただし書き操作」(異常洪水時防災操作)訓練が行われていなければならないはずである。どのような超過洪水を想定し、訓練が行われていたか知りたいと思う。</p> <p>原発事故避難の訓練にも参加、想定された避難先の松山市まで行ったことがある。国交省主催の水防訓練に防災ステーションや若宮河原の催しに参加したこともある。</p> <p>しかし、ダムの洪水調節能力を超えた超過洪水は起こり得るものである。超過洪水の複数事例のシミュレーションにはどのようなモデルのもとに行われているだろうか。</p> <p>実施資料を知りたいと思うのである。それなくして防災などあり得ないからである。超過洪水(異常洪水時)の防災操作が行われたとは決して言えないであろう。</p> <p>西日本豪雨被災時、昭和18年洪水と比べてどうだったか、超過洪水という言葉を知るかどうか注視していた。遂に超過洪水という言葉を知ることにはなかった。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
13	その他	その他	31	大洲市	<p>意見 15(平成30年洪水・ダム放流操作の事故要因)</p> <p>平成30年水害について、業務上過失致死罪に問うべきだという意見を耳にした。業務上過失致死罪という視点から、すなわち事故であったとの想定に立って見ていくことも必要だろう。航空機事故、鉄道事故の事故調査委員会報告と同じである。</p> <p>今回の異常洪水時防災操作に至ったことについて3つの要因があると考えられる。平成8年の操作規則改正について、今回の異常洪水時操作の原因として多くの学者や住民が指摘していることである。そして、なぜそのような改正を行ったかについては下流河川の改修、河道掘削を長年にわたって忌避してきたことが挙げられるだろう。その操作規則を固守したが故に「急激な変動を生じる」放流操作になってしまったと思われる。第1に、河道掘削の否定、第2に、操作規則の改変、第3に、急激な放流操作の三つの要因が連鎖、連動して起きた災害であり、その不可解というべき経緯は政治的なことであったと考えるしかない。科学を否定するものは政治しかない。</p> <p>生命の危険に関わる業務における業務上の過失について、危険予見義務、危険回避義務が問われる。端的に大規模洪水に対応しない操作規則の改変は危険予見義務が、急激な放流操作は危険回避義務の、業務上過失致死罪が問われるのではないか。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
13	その他	その他	32	大洲市	<p>意見 16(異常洪水時放流では団地直撃・使えないトンネル洪水吐) 平成16年5月13日、肱川水系河川整備計画策定。その3か月後、8月31日、平成16年洪水となった。翌17年も2年連続の超過洪水ダム操作を余儀なくした。 平成30年、鹿野川ダムトンネル洪水吐が完成、運用は可能だったが、開所式以前で使わなかった。7月7日、二つのダムの異常洪水時防災操作となった。肱川水系河川整備計画や鹿野川ダムトンネル洪水吐のことをまるで嘲笑うように放流水害が起きていることは自然現象とはいえ自然も意思を持っているかのように不思議でならない。 考えてみれば、山鳥坂ダム建設を位置付けた河川整備計画も、鹿野川ダムトンネル洪水吐も異様な経過をたどっていることだ。山鳥坂ダムはもともと小田川富郷付近に計画されていた。肱川支流の小田川は肱川本流と流域面積を二分し治水効果もあると考えられる。しかし、その計画がダメになり河辺川の山鳥坂ダム建設計画となった。 河辺川は流域面積も小さく治水効果はなく分水目的とされた。その分水も山鳥坂ダムから最短距離で結ぶのではなく肱川下流で取水、海岸をポンプアップしながら送るという噴飯物であった。その後、分水目的が潰れ、治水目的となったものの治水効果がある社長は「20cmでも治水効果は治水効果だ」と言った。ある元市長の「ゼロとは言わないが」との名言がある。400m上流にダム建設が移転するという。建設費も当初費用より増大している。費用対効果の実態はとっくに破綻していると思われる。 鹿野川ダムトンネル洪水吐も噴飯物である。当初、直径は13.8mと報道された。当時世界最大のシールドマシンの直径は14.8mであり、壁厚は50cmと投稿した。結局、洪水吐の直径は11.5m、壁厚は2mであった。流域委員会の委員長であり、環境検討委員会の委員長は直径を初めて聞き「大きいですねえ」と驚いた。大きさを知らなかった。洪水吐について市民は誰も知らなかった。説明会をする予定はなく、急遽行われ、説明会と同時に工事が開始された。完成した洪水吐の放流口の真正面は川の中央でなく、対岸の団地の擁壁を直撃する。なぜ放流口の角度を少し振ることができなかつたのか。減勢工はへの字に曲げられ、考えられない基本設計ミスである。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
13	その他	その他	33	大洲市	<p>意見 17(河辺川流域にダム建設はむしろ治水を阻害) 西日本豪雨の野村ダム放流操作についてダムの空き容量を確保するため事前放流が不十分であったことが指摘されている。他のダムでは事前放流を行い放流操作に成功している。以後、全国的に事前放流を十分行うことを国は指示しているようである。</p> <p>山鳥坂ダム建設地が予定されている肱川支流の河辺川の場合、地形は急峻であり、河川勾配があり降った雨は山間に滞留するのではなく、すぐに下流に流れてしまう。ダムに例えて言えば早く自然に事前放流を行っていることになる。そのことによって下流に氾濫をもたらすほどの流量ではなく、ダムで貯める必要性はないことである。むしろ、ダムによって自然に行われる事前放流を阻害してしまうことになる。</p> <p>もう一つの大きな問題は河辺川流域の場合、流域全体が地滑り地帯のようなものであり、ダムの上流には砂防ダムがいくつも必要になることが予想されることである。ある地元出身者から話しかけられたことがあった。「山鳥坂ダムは上流に砂防ダムが十も、それ以上も必要になる」というのである。かつてある議事録で「山鳥坂ダムの上流に砂防ダムが必要になるのではないか」との質問に「ダム下流に砂防ダムの予定はない」という答えに失笑した。砂防ダムがいくつも必要になることである。</p> <p>肱川町の住民説明会で、ダムの推進、反対の立場からではなく、「ダム建設に長く翻弄されてきた。また建設予定地を上流に変更するというが、ここで河川整備計画とダム建設を切り離して、もう一度議論し直してはどうか」との意見があった。</p> <p>大洲市長と議会はダム建設の申し入れを繰り返し行っているが、予定地先行買収が動機という噂もある。建設地元住民の声とは異なるのではないかとと思われる。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
13	その他	その他	34	大洲市	<p>意見 18(鹿野川・野村ダム放流設備の操作規則のリスク)</p> <p>鹿野川ダムはトンネル洪水吐が完成、野村ダムでも新たに放流設備を作るといふ。いずれも治水容量をさらに拡大、より低水位から洪水調節を開始するためだといふ。そもそもダムの洪水調節量はどれくらいのものだろうか。鹿野川ダムでは治水容量は1650万m³とされ、治水効果は70cmとされてきたようである。これは最大洪水量5000m³/sの時である。戦後、昭和18年年、20年の5000m³/s洪水を除けば4000m³/s級はなく、多くは3000m³/s級であり治水効果は50cm程度だったと考えられる。ダムの治水効果は小さく、破綻すれば数m水位が上昇することになる。新たに放流設備をつかったからといふ、大きく治水効果を発揮するものではなく、山鳥坂ダムでも「ゼロとは言わないが」といふ名言がその本質を表わしている。</p> <p>それだけではなく、治水容量を増やし、低水位から洪水調節を開始するといふが、初動操作の時点だけ放流量が足りなくても、流入し続けているのだからすぐに十分な放流量に達するのではないか。車を停止状態から加速することに似ている。わずかなダム初動操作のために費用対効果のない設備を作ろうとしているように見える。</p> <p>他の河川のダム再開発事業では別に委員会を設置、複数大学の河川工学教授による「基本設計の了承」といふ段階を踏んでいる。鹿野川ダム、野村ダムではそのようなプロセスはない。肱川流域の市民を軽視しているだけではなく、鹿野川ダムトンネル洪水吐も、野村ダム放流設備も、設置に値するような設備ではないからだろう。</p> <p>鹿野川ダムトンネル洪水吐について、暫定的とはいえ事前に明らかにしなかった。私の提訴した鹿野川ダムトンネル洪水吐放流差止訴訟の地裁判決に付けられた別紙で初めて操作規則を知ったのである。中小洪水にも常に洪水吐を運用、操作する。操作規則について市民に説明はない。流域自治体には説明が行われているのだろうか。</p> <p>今年の肱川のアユはひとときわ大きいといふ。前肱川漁協組合長は「ヘドロ吐き」と言われていた。富栄養化のダムの低層水がアユを生育させたのかもしれない。これは喜んでいいのか、悲しんでいいのか分からない。肱川流域の悲喜劇なのである。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
13	その他	その他	35	大洲市	<p>意見 19(大洲城直下の床止堰とパイピング現象)</p> <p>大洲直下の堤防でパイピング現象が起き問題となっている。大洲城のお堀が肱川とつながっていた所である。鉄板の矢板が打ち込まれたが、それでも岩盤に達せずもう1枚打ち込まれたという。ちょうどパイピング現象が起きた場所は床止堰の裏法面に当たっていることである。堰き止められた水が堤防に浸透していったのではないか。というのは、川の流れが急ならば防波堤の開口部であっても浸水しないという。</p> <p>この床止堰については、観光鵜飼のためだと思っていたが、そうではないという。肱川大橋の橋脚基礎の洗堀を防ぐためであった。この3月12日、新しい肱川大橋が完成、開通する。新肱川大橋の橋脚は完全に新しいものである。旧肱川大橋の橋脚はさらに古い肱川大橋の橋脚を補修したものであり、問題となっていたのだろう。</p> <p>床止堰の名の通り橋脚の基礎部分を保護するための河床を維持するためであった。むしろ、床止堰は鵜飼船の水位を維持することよりも、如法寺河原から大洲城対岸の河原まで大きく河床が上昇、鵜飼船の航行を阻むものとなっていたように思われる。橋脚の洗堀を防ぐための床止堰の役割を終えたのだから床止堰を撤去してはどうか。そして、河原の堆積している砂利や淵にできた以前はなかった中洲を浚渫、鵜飼船の航行区間はより深さの深い河川に掘り下げ、観光鵜飼を行っていったらどうか。</p> <p>言うまでもなく、カヌーなど一貫して肱川上流から河口まで川下りが可能になる。坂本龍馬の脱藩ルートでもある。新たな観光、スポーツの振興にもなるだろう。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
13	その他	その他	36	大洲市	<p>意見 20(肱川水系河川整備計画が破壊した地域振興策)</p> <p>山鳥坂ダムを位置付けた肱川水系河川整備計画によって失われたものは計り知れないものがある。国家犯罪でさえある。鹿野川湖のヘラブナ釣りは全国に知られていた。ある年から平常貯水位が下げられた。ヘラブナの産卵を奪い、ヘラブナ釣りは壊滅。鹿野川湖漕艇場も全国に知られ北海道大学が合宿、50人から100人へ。しかし、ブラックバス・モーターボートの危険性になくなった。漕艇場の安全確保は要望にもかかわらず放置された。県内の黒瀬ダム湖は漕艇場ではないがモーターボート規制が行われている。河川整備計画の環境影響評価書の現況図にも鹿野川湖漕艇場はない。遂に日本ボート協会の公認漕艇場からも外された。鹿野川湖の存在はFISA(国際ボート連盟)にも知られ、1500コースができればマスターズ世界大会ができる。2000mコースができれば世界大会を開催、国際的な合宿地ともなる。鹿野川湖は奥が深く、ボートもカヌー・コースもとれる。いまだ日本に国際漕艇場はない。</p> <p>何よりも合宿地として期待されていた。プロ1チーム200人が1か月合宿する。毎年世界大会に出かけFISAのトップ3とも友好を深めていた故堀和明氏は韓国の世界大会誘致にも尽力し、感謝状を贈られた。しかし、日本は弾圧をもって報いた。その陰にダム建設に狂った行政や政治家、議員の姿勢があったという他はない。</p> <p>河辺川はヤイロチョウやクマタカ生息地として知られる。高知県はヤイロチョウの森があるが、見るのは稀である。しかし、河辺川は多く見られる。他にも河辺村では航空会社の協力も得て振興策が考えられていたが、潰れてしまったようである。</p> <p>旧建設省時代、鹿野川湖漕艇場の2000mコースの原図が引かれたことがある。当時、流域全体がダム建設反対であり、国は鹿野川湖漕艇場2000mコース整備を地域振興策とも考えていたようである。しかし、地元政治家、議員らによって隠微に潰すという事態となった。考えてみれば、体育館の天井を10cm低くし公式大会をできなくし、テニス・コートを手数少なくし全国大会ができなくするような町だった。幅を利かす政治家や議員にとって国際漕艇場などもっての他だったのであろう。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
13	その他	その他	37	その他	<p>現在の野村ダムに必要なことは、二度と西日本豪雨のような災害を起こさないことで、ダムの改修や新しいゲート設置ではありません。操作方法(操作規則)の見直しで十分なのです。操作の一案として表-1を検討してください。</p> <p>これには工事費を必要としません。工事費に使う費用があるならば、被災者の支援に使って下さい。それでも、どうしても工事をしたいならば「皆田地点から宇和海に向かったバイパス」を造って下さい(下図参照)。これで、野村ダムへの流入量が少しでも軽減できます。</p> <p>(地図添付あり) (表-1、表-2 添付あり)</p>
			38	大洲市	野村ダムについて早くから放流量を上げなかったとの批判が多いが、大洲市の被害軽減のためのダム操作であり、大洲市の洪水被害軽減の為に必要な操作だった事を大洲市民がもっと声を上げないといけないと思う。
			39	大洲市	野村ダムの操作規則に関する批判が多いが、大洲市の被害軽減のため住民が要望して改定した規則であり、これまでも被害軽減に役立って来た事を大洲市民として声を上げる必要があると思う。
			40	大洲市	<p>ダムを造る場所は何を基準にどうやって決めたのか？</p> <p>ダムの役割やダムを造るメリット、ダムを造ると今の社会がどのように変化し、どのような影響があるのか？</p> <p>ダムについて、仕組みがよくわからないので、私たち学生が身近に感じられるように教えてほしい。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
13	その他	その他	41	大洲市	<p>肱川をはじめとして川については、ずっと身近に感じてきた。</p> <p>一方、ダムについては、鹿野川ダムは知っていても、ダム建設に至る経緯や必要性がわかりにくく、鹿野川ダムや山鳥坂ダムについて自ら詳しく知ろうとする人は少ないと思う。川と比較するとダムは身近な存在だとは言い難い。</p> <p>ダム建設の理解を深めるためには、地域住民の利用が多い施設(道の駅等)やイベント、ブログやSNSを利用して、積極的に情報発信する必要があると感じる。</p> <p>ダムのサイトを覗いてみれば、有意義な情報が豊富にあるが、私たち学生がわざわざそのサイトを見るのかと言われてればその可能性は少ないと思う。もう少し地域に密着した情報発信があり、わかりやすい内容であれば、若い世代の目にも留まり、ダムの重要性などの理解も広がり深まっていくように思う。</p>
			42	大洲市	<p>ダムを造る計画を聞いてからずいぶん時間がかかっているので、現在どの段階まできているのかわかりにくい。</p>
			43	内子町	<p>小田川でも土石流危険の表示があったりで、気になることもあります。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
13	その他	その他	44	西予市	<p>2月9日の乙亥会館の説明会で、①野村ダム・穴開き工事期間中に、一時的に満水状態になる期間が生じると思うが、それが出水期と重なった時に、緊急放流の可能性が出るのではないか？</p> <p>②同じく穴開き工事期間中、ダム本体に穴を開ける事により、南海トラフ大震災が重なった場合、強度は保たれるのか？ この2点を質問させて頂いた者です。 これに関連して、先日聞き切れなかった事を質問させていただきます。</p> <p>①に対しては『ダム下流(野村側)から穴を掘り進めるが、基本的には、ダムの運用は通常通り行う。但し冬場などの非出水期に限っては、「その時にしか出来ない工事」と言うものがあるので、一時的に満水にする期間も出て来る』との回答でした。でも、これはあくまでも予定の話であり、何か突発的な出来事が重なってきたりすると、工期が半年くらいズレ込む事は、よくある話だと思います。野村ダムを満水にさせなければいけない期間と出水期が偶然にも重なった場合、緊急放流の可能性も出て来るのではないのでしょうか？</p> <p>そうなった場合、野村の許容量1300m³で本当に耐えられるのでしょうか？現に、野村町大西地区は「西日本豪雨直前、鹿野川ダム穴開き工事で満水の影響を受け、旧・大和田小学校付近の川の水位はかなり上がっており、7月7日の朝は、予想以上の水が上がって来た」との証言を得ています。</p> <p>②に対しては、「確かに、穴を開ける事により、ダムの強度は一時的に弱まるが、そこは学識者や専門家の人達を招集して、ダムの強度についても議論している」との回答でした。そこで質問です。学識者の方達を招集して工事決行に至った議論のプロセスを、具体的に公開して頂く事は可能でしょうか？</p> <p>例えば、西日本豪雨後に公開された資料『野村ダム 鹿野川ダムの操作に関わる情報提供に関する検証等の場』の様に、議論に参加された学識者の具体的なお名前や議論の中身など、どうやった経緯で工事にGOサインが出たのか？公開して頂けたらありがたいです。又、工事期間中に大地震が起きて、万が一不測の事態が起こった場合、補償を含めた責任の所在は何処にあるのか？事前にお示し頂く事は可能ですか？</p> <p>南海トラフの問題は現実的に十分にあり得る話なので、野村町民の不安を少しでも和らげる為、回答をお願い致します。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
13	その他	その他	45	西予市	ゼネコンへの大規模発注ではなく、地元業者も参加できる治水として、河道掘削や堤防整備に力を入れて欲しいところであるが、現在の緊急対策の後も地元業者が参加できる治水対策をどう考えているか。
			46	西予市	<p>今回の野村ダムの改良計画については、現行の野村ダムには放流能力が不足しているため、新たな放出能力が必要だと公表されている。新たな放流設備が無いから事前放流が十分にできないので、せつかく確保した空き容量を維持することができないとの説明である。</p> <p>平成30年7月豪雨の時、せつかく確保した空き容量が何故満杯になったのか。その時の検証を元に今回の改良事業が計画されるのであれば、豪雨実績からの比較を表した説明図も追加すべきだ。</p> <p>写真添付あり</p> <p>今回の計画で、761万トンを確保し水位が160.2mまで下げることができるなら、平成30年7月豪雨の時の一定量後一定開度方式から元に戻った規則の「一定率一定量調節方式」を使うとどうなるか、既存のコンジットゲート、クレストゲートではどうなるかのシミュレーションを公表してほしい。</p>
			47	西予市	2018年7月豪雨では、大きな水害が発生しております。この主な原因は当初のダム操作条件を守らなかったことが主な要因と思います。まずは当初に設計した中での、ダム操作を含め検証し、その結果問題があれば、改善すべき問題と思います。2018年の水害が発生した主な要因を確認しないで、新たにダム本体の一部を改善する話が先行するのか、順序が逆です。何故に、野村ダムの当初のダム操作で対応できなかったのか、問題あったのか確認すべきことを先行すべきです。ダム管理者は話題をそらさずに、先のダム下流の大水害の原因を早期に明らかにして、これからの野村ダム操作に携わってほしいです。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
13	その他	その他	48	大洲市	<p>河川の流下能力による洪水防止能力と、ダム洪水調整力について 河川整備計画で目標流量を$6200\text{m}^3/\text{s}$としている。 このうちダムにより、$1600\text{m}^3/\text{s}$、河道への配分流量を$4600\text{m}^3/\text{s}$にしている。 ダムの$1600\text{m}^3/\text{s}$は、洪水の調節能力であって、河川の洪水を防止する能力とは、全く違っていると思います。</p> <p>ダムの調節能力とは、雨量を河川に流す量と、タイミングのコントロール 流す量とタイミングは、雨量予測から判断する為、判断をまちがうと被害を増加させます。 雨量ピーク時にダムの洪水貯留容量を100%使用するのがいいと思いますが、雨量を予想しダムの洪水調節容量をコントロールすることは大変な事とおもいます。</p> <p>しかし、最適にダムの洪水調節能力発揮できたとしても、$40\text{mm}/\text{H}$の雨量が続けば、貯留容量を使い切り、異常洪水時防災操作開始になります。</p> <p>ダムでコントロールした洪水も最終的には、河川に流れていきます。 ダムの機能が100%発揮されていれば河川の負荷は減りますが、ダムの機能を100%発揮することは不可能と思います。(雨量を100%予想する事は不可能)</p> <p>河川の流下能力$4600\text{m}^3/\text{s}$は、100%発揮されます。</p> <p>不確実なダムの機能に頼るのでなく、河川の流下能力を向上することが大切と、思います。 山鳥坂ダムの洪水調節能力$400\text{m}^3/\text{s}$に要する費用を、河川の流下能力$400\text{m}^3/\text{s}$向上に使用すべきとおもいます。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見
13	その他	その他	49	大洲市	<p>今回見直したという肱川水系河川整備計画は、平成16年5月に策定された。この計画における目標は、具体的には「①河川整備計画の目標流量：5000m³/s(大洲地点)と、清流復活：正常流量の確保と自然な流れの回復」である。「この計画の整備期間は概ね今後30年間とする」とある。</p> <p>この計画の整備効果と発現の時期もきめてある。計画中期には、治水効果については「山鳥坂ダム建設完成、鹿野川ダム改良完了、既設野村ダムとで、治水効果1100m³/s、河道改修(下流河道の一部)3100m³/sで対応可能流量4200m³/sとなる。清流の復活については、「水量の維持、自然な流れの回復を達成」とある。</p> <p>ところが、計画中期の今、砂の色に見えていた水面下の砂州は黒く見え、大雨のたびに大きな浸水被害がおき、ダムの放流で8人の死者まででるに至った。</p> <p>山鳥坂ダムについて 「山鳥坂ダム建設は中予分水と一体のものであり、分水がなければダムもない」といつも建設局大洲工事事務所から聞いていた。これは流域住民に周知の事実であった。</p> <p>しかし、昭和12年与党3党が中止勧告をし、建設省が見直しをするダムにもなった。その後中予側が水はいらないといい特定多目的ダムでなくなったこのダムは法的に建設できないことになった。にもかかわらずこの分水ダムは肱川河川整備計画の中に入れられた。を実現させた当時の愛媛県知事、中予広域水道企業団企業長、四国地方建設局河川部長の三者三様の思惑は明らかにされているが、その思惑はダム建設が決まるまでくどくど聞かされていた「流域住民の安心安全生命財産を守る」というところにはない。</p> <p>山鳥坂ダムの洪水調節 平成6年8月建設省告示の基本計画ではダム地点における基本高水の流入量620m³/sのうち440m³/sをダムに貯留し、下流へ180m³/sへ流すことにより大洲地点では240m³/sの軽減効果があるとされている。治水のためのダムといわれるようになったら流入量880m³/sのうち750m³/s貯留し下流へ130m³/s流すことになり、大洲地点の軽減効果は400m³/sとされている。なんと基本計画の時には流れてこなかった大きな量を貯留することになっている。今回変更した整備計画のこれらの数字はいくら聞いても返答がないので不明である。</p> <p>山鳥坂ダム建設地の地質 地質についても問題が大きすぎる。環境検討委員会は地質の専門家が入られず、当然検討もされない。意見書でこれを指摘すると、「地すべり箇所等は環境影響評価では扱っておりません」という返答である。そして地質の項目で検討すべきは遺跡であるといって、カラ岩谷遺跡を掲載している。環境影響評価準備書には事業実施区域内に地すべりや崩壊危険箇所など全くない地図を掲載していた。大変な隠しようであったが、環境影響評価書には「対象事業実施区域及びその周辺の区域における土砂災害危険箇所の状況」という図面があり、その図面には事業実施区域内に、急傾斜地崩壊危険箇所が22か所地すべり危険箇所が7か所あった。最近になって、これまで決めていたダムサイトは基礎岩盤、地すべりなど課題が多いから400メートル上流へ変更するという。事業費が850億円から1320億円に、工期が令和8年度から令和14年度になった。その他まだまだ問題は多い。建設するに値しないダムである。山鳥坂ダム建設は中止すべきである。</p> <p>肱川水系河川整備計画は既に破綻している。平成16年の整備計画の「補足資料」の中に整備内容と所要年数という表がある。5000m³/sの後の残事業として、河道は「築堤+掘削」「3900→4700m³/s」とあり、洪水調節施設は「なし」[1600m³/s]とある。ダムで1600m³/s調節するというのは不可能なことである。変更した整備計画の説明会でもそれぞれのダムの流入、放流、調節量など聞いたが返答はなかった。トンネル洪水吐完成後の説明会でもトンネルとダムからどのように流すというのか聞きたかったが、流し方どころかトンネルから流すということさえも言わなかった。</p> <p>ずっと前のことであるが「トンネル洪水吐から水をどう流すか説明してほしい」とダムの職員に言ったら、「自分たちがいいように流すのだから説明しなくてもいい」といわれたと聞いた。</p>

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
13	その他	その他	50	西予市	ECIが全国で初適用ということも今日の資料には書かれていない。パンフレットから最大放流能力が消えている。記載すべきである。
			51	大洲市	H30.7豪雨の6,200m ³ /sで既存ダムでどれくらい効果があったのか。
			52	大洲市	ダムは越水しても壊れないようにできていると前の所長から言われた。壊れないなら、鹿野川ダムも越水させておけばよかった。ダムを放水したから、本川から逆流してきた。時間を稼いで避難誘導に使える時間を増やせなかった。
			53	大洲市	・山鳥坂ダムが越流すると、時速100キロとなり、河辺の町が壊れる。 ・ダムがなかったら、3,000m ³ 流せるので、もっと低い水位ではなかったか。
			54	大洲市	・H30.7豪雨のとき、野村ダムと鹿野川ダムを同時に放流するから肱川本流の流量が大きくなった。別々に放流しておけばよかったのではないか。 ・鹿野川ダムは古いダムであるが、県の発電所から放流すればよい。野村ダム含め操作規則は実情にあってないのではないか。
			55	大洲市	原案④30年7月7日、野村ダム、鹿野川ダム連係プレー事前放流当たりまえの事。一般の川制御不能、ダム放流自由自在、3年半前小潮で下流地区あまり雨売らず
			56	大洲市	③既存のダム(野村・鹿野川)の越水耐性強化事業への着手を求めます。
			57	大洲市	ダムの異常洪水時防災操作の危険性 ダムの高さ90mから放流した場合の地面におけるスピードは、時速100km/H、程になり平成30年と同様な水害になる。特にダム直下において、不安がのこる。
			58	大洲市	堆砂によるダムの寿命は100年、将来に負の遺産を残してはならない。
59	大洲市	私は西日本豪雨より前に鹿野川ダムトンネル洪水吐の放流差止を提訴した。地裁判決の資料としてトンネル洪水吐の操作規則が付けられていた。中小洪水の時も常にトンネル洪水吐が運用操作されることを初めて知ったのであった。今年は肱川のアユがひとときわ大きいことを聞いた。トンネル洪水吐による低貯水位、低層水の富栄養化が原因ではないかと思われた。			

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
13	その他	その他	60	大洲市	いま肱川地域全体で堤防の設備が行われているが、堤防が完成すると、河口で河道内の水位が1.1メートル上昇するという。ダムや洪水吐による水位の低下より大きいことである。熊野川では平成23年洪水を受け、河口の掘削を5か年で施工。平成29年洪水では1.5メートル水位を下げたと公表している。
			61	大洲市	山鳥坂ダム建設 野村ダム改造について 先の豪雨災害において、ダム下流は激甚な災害を受けました。それにより物的な損害のみならず、尊い生命も失われた。その原因は、ダムの緊急放流(異常洪水時防災操作)です。そこで私は耐越水堤防を提案します。既存のダムは緊急放流でダム下流へ甚大な損害を与え続けてきましたが、これが実現すればダム直下の住民は安心して暮らせます。 山鳥坂ダムはたかが百数十トンの洪水調節を行うために850億円+470億円が投入されようとしています。突然、建設場所の移転が発表された。国交省は、地盤の危険性を指摘する地域住民に対し大丈夫と説明してきた。新たな場所は本当に安全な場所なのか。たかが百数十トンの洪水調節であれば、一千億円を超える巨額を投入しなくても、知恵と工夫で対応できる。
			62	西予市	流域治水の考え方として、ダムが破たんした時どうなるのか、そして1番は緊急放流をしないことを強く願う。 今、肱川河川整備計画は水害を体験した者が加わって将来の子孫まで安全に暮らせるように、私達がしっかりと国の説明を聞いて理解して一緒に計画を進めたいと思っている。それが水害を経験した者として二度と同じことが起こらないようにするためにできることである。
			63	大洲市	河辺川は流域面積も小さく治水効果はなく分水目的とされた。その分水も山鳥坂ダムから最短距離で結ぶのではなく肱川下流で取水、海岸をポンプアップしながら送るという噴飯物であった。その後、分水目的が潰れ、治水目的となったものの治水効果がある社長は「20cmでも治水効果は治水効果だ」と言った。ある元市長の「ゼロとは言わないが」との名言がある。400m上流にダム建設が移転するという。建設費も当初費用より増大している。費用対効果の実態はとっくに破綻していると思われる。

1. 関係住民の意見

◆頂いたご意見

分類 No.	テーマ	要旨	No.	市町 名	意見
13	その他	その他	64	大洲市	鹿野川ダムトンネル洪水吐も噴飯物である。当初、直径は13.8mと報道された。当時世界最大のシールドマシンの直径は14.8mであり、壁厚は50cmと投稿した。結局、洪水吐の直径は11.5m、壁厚は2mであった。流域委員会の委員長であり、環境検討委員会の委員長は直径を初めて聞き「大きいですねえ」と驚いた。大きさを知らなかった。洪水吐について市民は誰も知らなかった。説明会をする予定はなく、急遽行われ、説明会と同時に工事が開始された。完成した洪水吐の放流口の真正面は川の中央でなく、対岸の団地の擁壁を直撃する。なぜ放流口の角度を少し振ることができなかったのか。減勢工はへの字に曲げられ、考えられない基本設計ミスである。